ENGEKI BOOK

演劇ぶっく

1989 2月号

Entertainment Photographic Magazine No.17

600yen

ロングインタヴュー
つかこうへい
M.M.M. SKIN
飴屋法水　嶋田久作
石川成俊　他

みんなでえらぶ
えんぶちゃ～と'88
投票券つき

舞台デビューのすすめ'89

Interview
松澤　一之
五十嵐いづみ
麻路　さき
大輝　ゆう

Contributed by
安西　水丸
サエキけんぞう
まついなつき

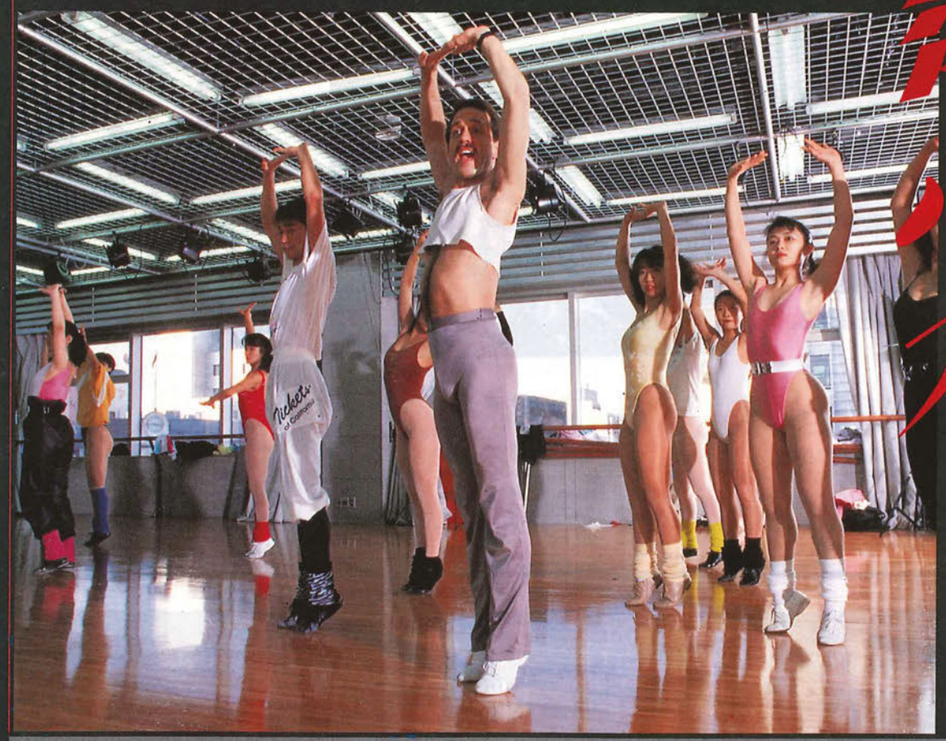
CB Culture box Shinsai-bashi

OSAKA MUSICAL SCHOOL

大阪ミュージカルスクール"STAGE21"は、大阪で初めての舞台人養成スクールです。

あふれる可能性やエネルギーを、
内に閉じこめてしまうなんて、もったいない。
夢の翼を思いっきり広げて、ステージへと翔びたとう。
演劇にかける情熱が強ければ強いほど、
舞台は君たちを大きくしてくれる。

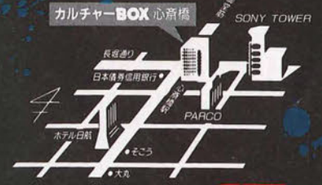
演心力。



1・29㊐ 2・11㊏ 2・12㊐
特別公開レッスン＋学校説明会

2・25㊏ 2・26㊐ オーディション

※特別公開レッスンは人数に限りがありますので、電話にてご予約ください。



STAGE21
大阪ミュージカルスクール

学長　寺崎　要

■特別講師(50音順)/小井戸秀宅(振り付、演出)
鴻上 尚史(第三舞台主宰)　島田 歌穂(ミュージカル女優)
夏木 マリ(女優)　山田 卓(振り付、演出)

■カリキュラム/●ジャズダンス　●クラシックバレエ
●演劇　●声楽　●タップダンス　●日舞
●パントマイム　●アクション　●特別講義他

■クラス/昼間部(各クラス30名)・夜間部(各クラス30名)

■研修期間/昼間部・夜間部とも2年制

〒542 大阪市南区鰻谷西之町38-3 カルチャーBOX心斎橋 お問い合わせ ☎06(241)0770㈹〈担当：田中、松本〉
※学校見学も受け付けております。電話にてご予約ください。

案内書無料
請求券
E-1

サンシャイン劇場開場十周年記念公演／松竹・文学座提携

女の一生

杉村春子

「布引けい」800回のメモリアルステージ！

作＝森本薫　補訂・演出＝戌井市郎
出演＝杉村春子　北村和夫・江守徹(交互出演)他

「誰が選んでくれたのでもない。自分で選んで歩き出した道ですもの」……激動の時代を生きぬく布引けいの半生。杉村春子畢生の名舞台、上演回数800回のメモリアルステージとなる今回は、まさに〝決定版〟の公演となります。

★前売開始 1月9日(月)
2月4日(土)→26日(日)

■御入場料、S席6500円、A席5000円、B席3000円

二月	昼	夜
4土		6:00
⑤日	2:00	
6月	2:00	
7火	1:00	6:00
8水	2:00	
9木	1:00	6:00
10金		6:00
⑪土	1:00	6:00
⑫日	2:00	
13月	2:00	
14火	2:00	
15水		6:00
16木	2:00	
17金		6:00
18土	1:00	6:00
⑲日	2:00	
20月	2:00	
21火	1:00	6:00
22水	2:00	
23木	1:00	6:00
24金		6:00
25土	1:00	6:00
㉖日	2:00	

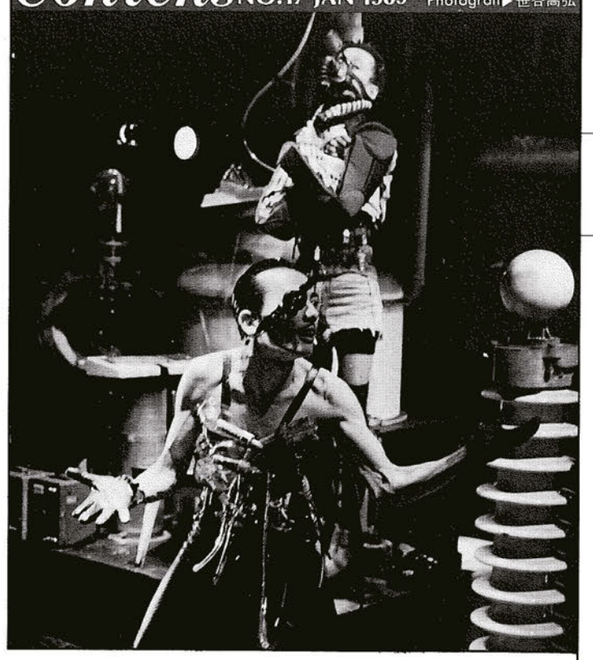
■お問合せ・電話予約 03(987)5281

サンシャイン劇場

Contens

ENGEKI BOOK
NO.17 JAN 1989

表紙＝M.M.M.
Photograph▶笹谷高弘



M.M.M.公演「SKIN」 6

アイソトニックシアターポカリ公演
「勇気100点 イオンザウルスの緑」 12

銀座セゾン劇場公演「ドン・ジョヴァンニ」 まついなつき 14

自転車キンクリート公演「MIDNIGHT UPRIGHT」
サエキけんぞう 18

マシュマロ・ウェーブ公演「Hattrick」劇団健康「問題あり」 20

ネヴァーランド・ミュージカル・コミュニティ公演「Zの熱血」 22

プリキの自発団公演「好奇心の強い女」 23

め組プロデュース公演「新雪之丞変化暗殺のオペラ」 24

THE・ガジラ公演「曾根崎心中」 25

風の旅団公演「黒くぬれ！」「武装天使打令」 26

劇団ビタミン大使「ABC」公演「パラノイア」 27

カクスコ公演「MEN AT WORK3」

JOE Company「星屑のレクイエム」

小劇場発掘調査隊・関西版 28
劇団G表　プロジェクトDA-A!　劇団POTATO倶楽部　劇団第2劇場　立身出世劇場

パフォーマンス・ファイル№16
「ロバート・ウィルソンの"フォレスト…」 30

つかこうへい
信用ある芝居ってのを見せてやる 32

PREVIEW TALK
松澤一之・山下容里枝 38
五十嵐いづみ・鈴木完一郎 40

上杉祥三プロデュースチーム公演「赤穂浪士」 42
「赤穂浪士」稽古場レポート 44

特集 はじめの一歩—Part1
舞台デビューのすすめ'89 45
Q&Aフォーラム Heroin Version
私たちのプレ・デビュー
東京壱組・余貴美子　キャラメルボックス・大森美紀子　MODE・篠倉伸子
鎧川スタジオ・松田かおり　EDメタリックシアター・西山水木
Audition Version
MAKING of 6 オーディション—山の手事情社編—
さえぐさゆき 50
School & Study Version
タイプで選ぼう、養成機関 52

演ぶINFORMATION 58

Main Dish ひさうちみちお 59

初級演劇講座
演劇ぶっく選定 冬のすいせん課題図書
～教養娯楽編 60

カブキ白書 64

プランニングニュース 66

みんなでえらぶ
えんぶちゃーど'88 68
投票方法詳細発表

フロム・リーダース 70

藤田まこと特別公演「忘郷の詩」笑いながら泣けなくっちゃ
大人の仲間入りはできない 橋本克彦 71

ババ・タラフマラ公演「海の動物園」 74

Pappa TARAHUMARA PRESENTS 76

宝塚バウ・ミュージカル「ミッドナイト シティ ロマンス」 78

麻路さき　大輝ゆうインタビュー

追いかけて大恋愛 80
渡辺育子・山下裕子・渡辺いっけい・池田成志インタビュー
オフィス・ザ・サードステージ大阪公演「大恋愛」 82

劇団青い鳥公演「サイコロの責任」 84

パルコ＋第三エロチカ公演「帝国エイズの逆襲」 86

月蝕歌劇団公演「若草物語—マックスウェルの悪魔」 88
安西水丸演出ノート

二十一世紀歌舞伎組
甲吹山のヤマトタケル
作・梅原 猛
台本・演出●市川猿之助

——大好評につき、早くも再演決定！——

歌舞伎を超える新たな地平を
切り拓く、大胆な演出。
未来への大きな可能性を
予感させる、清々しい力演。

絶賛の拍手の中、早くも
凱旋する若き俊英たち。
——21世紀歌舞伎組

1989年新春を飾る熱き競演！!!
今、彼らはヤマトタケルを超える。

ヤマトタケル 市川 右近
帝・尾張の国造・伊吹山の山神 坂東弥十郎
大雄命・タケヒコ 中村信二郎
弟橘姫・みやず姫 市川 笑也

美術・朝倉 摂
照明・吉井澄雄
衣裳・毛利臣男
企画制作・パルコ
㈱おもだか

1989年1月16日(月)→26日(木)
開演＝平日6:00pm 土・日・祭12:00pm/5:00pm
(但し、水曜はマチネ＝1:00pmがあります)
入場料＝5,000円(全席指定) (スチューデント・スタンバイ 当日 学生 3,000円)
電話予約＝チケット・セゾン5990-9999／チケットぴあ237-9999
お問い合せ＝パルコ劇場477-5858／㈱おもだか358-8064

はじめまして。
明日、
君と出会う
僕です。

作・演出＝成井 豊

銀河旋律
GALACTIC SYMPHONY

このタイムマシンの有効期限は４５分です。
CARAMEL BOX Special Presents
『HALF TIME THEATER』
2/28 TUE　3/1 WED　2. THU　3. FRI　4. SAT　5. SUN
平日 6:00/8:00　土・日 1:00/3:00/6:00/8:00
1・29 ON SALE
FREE SEAT ¥1000　RESERVED SEAT ¥1500
お問い合わせ■(565) 2732 演劇集団キャラメルボックス
[演劇集団キャラメルボックス ＋ シアターモリエール 第1回提携公演]

理科室のパンクスはキメラマウスの夢を視る。

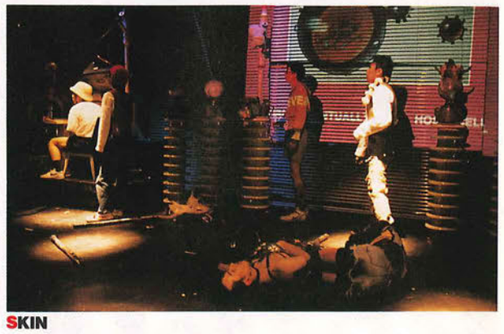
PARCO＋M.M.M.プロデュース

SKIN

DEPART・MIX

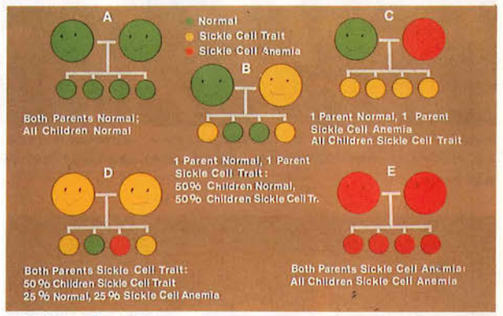
Photographs▶笹谷高弘　落合星文　高橋理

SCIENCE & STUDY:



SKIN

KING OF MONSTER:



CROSSBREEDING:

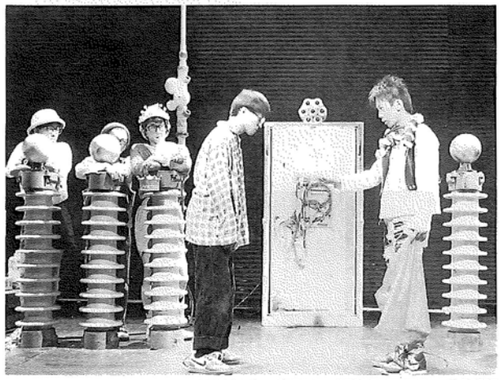
PUNX WAS BORN:

S・Fが空想科学と言われていた頃を想わせる舞台は、
ホセとドロシーの登場により歪んだ現実となって爛れていく。
BC兵器の研究がAIDSを生んだと言われる今でも
僕らは科学に夢を視たい。

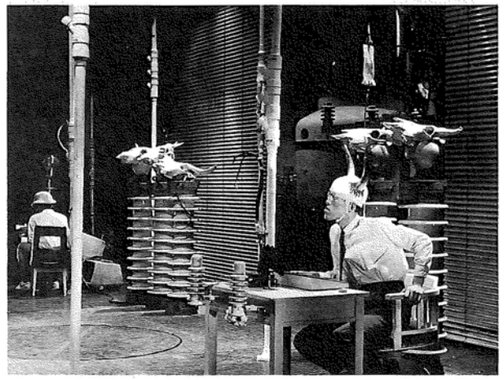
どこから話せばいいのだろう。
……話は1964年にさかのぼる。
この年、突然変異によって出来た、体に全く毛の無いマウスが発見された。
ヌードマウスである。
…今でこそラボアニマルとして無くてはならない存在となっているが、当初、このマウスに着目した人は、非常に少なかった。
ヌードマウスの特徴は免疫機構に重要な働きを持つ、胸線が無いことにある。
つまり、先天性無胸線マウスである。
その為、他の生物の細胞を移植しても拒絶反応を示さないのだ。
私はこの事実に、異様な興奮を憶えた。
ツメガエル…ナミウズムシ…マーモセット…ヤギ…様々な生物の様々な細胞を移植することに没頭し、さらに、それらの交配をくり返した。
それらのキメラ達は、一世代ごとに急速な変異をくりひろげ、私は研究所のテーブルの上に、何十億年という進化の様を見ている思いにかられたものだ……。

BIO MEDICAL KRANKE:

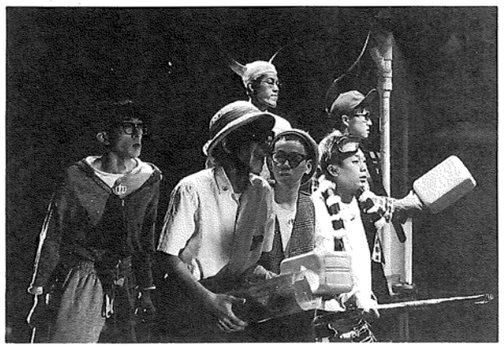
ROUX「これが誰の骨だかわかるか、こいつは、お前の骨なんだよ。」 JOHANNES「でもこれケンタッキーだよ。」 ROUX「いいかヨハネ、こいつはな、何ていうか、つまり解釈の問題なんだよ。そりゃ…これは鳥の骨だよ、あたりまえだよ、お前はそこに居るんだもん。だけどな、お前そんなあたりまえのことばっかり言ってると脳ミソ腐るぞ。だからなー。だから、たとえば自分の体をちょっとでも軽くしてーなとか思ったらこいつを自分の骨にするんだよ。」



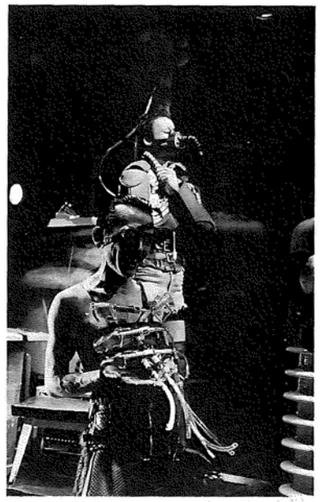
RICA NENDO BOB JOHANNES ROUX



ProfessorSHIMADA



TEN

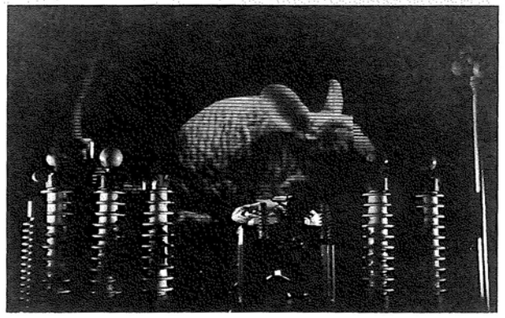


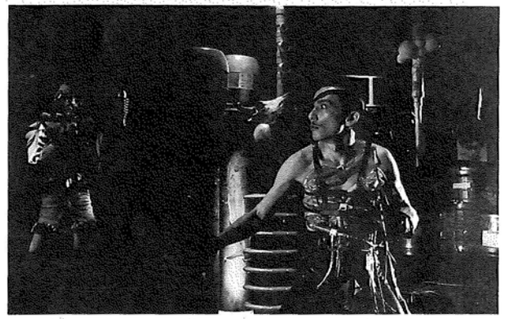
HOSE&DROSIE

DATA
演出：飴屋法水
脚本：飴屋法水＋大橋二郎
衣裳：田口貴郎
音響：飴屋法水＋浜里堅太郎＋山道晃
照明：鈴木浩
美術：飴屋法水＋M. M. M.

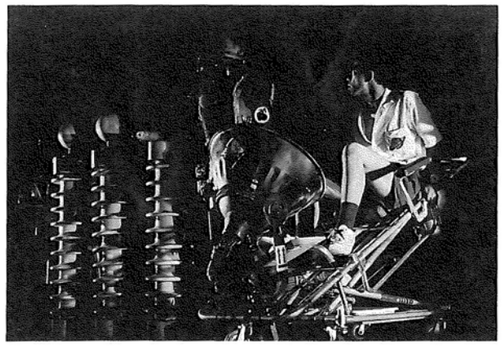
CAST
嶋田久作　斉藤聡介
飴屋法水　大橋二郎
石川成俊　山道晃
上野　仁　伊藤雄春
棚橋ナッツ　近野正人
有田睦美　佐野領域

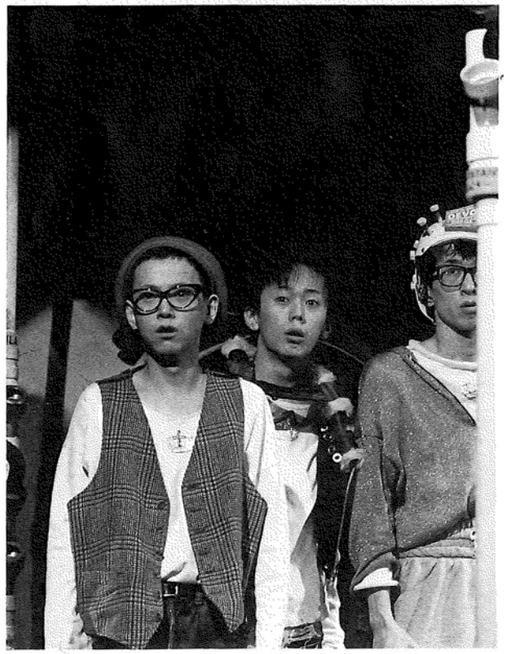
'88年11月11日〜11月20日　パルコ スペース パート3



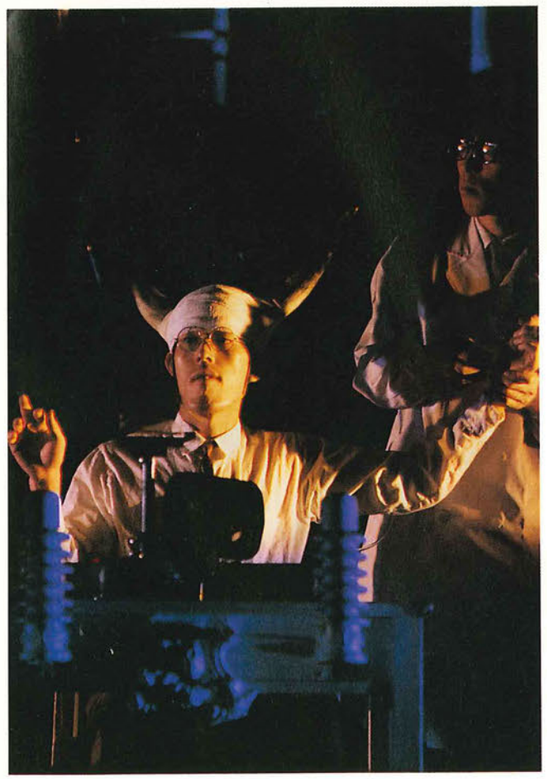


HOSE「ひでえ事故だった。助からねえ事故だった。真っ先に運び込まれた病院で、とんできたのが嶋田先生よ。虫の息で頼んだぜ。Help me…Please Help me…Please…そん時サインしたんだよ悪魔に魂売りとばすみてえによ。この舌シリコンだぜ。腕の骨はセラミック。腹ん中はほとんどポリ袋だ。そんだけじゃねーぞ、目ん玉よ、オオミミズクの水晶体なんだってよ。夜でも見えちゃってしかたがねーよ。それから、この皮はありがてえことにミンクなんだってよ。」





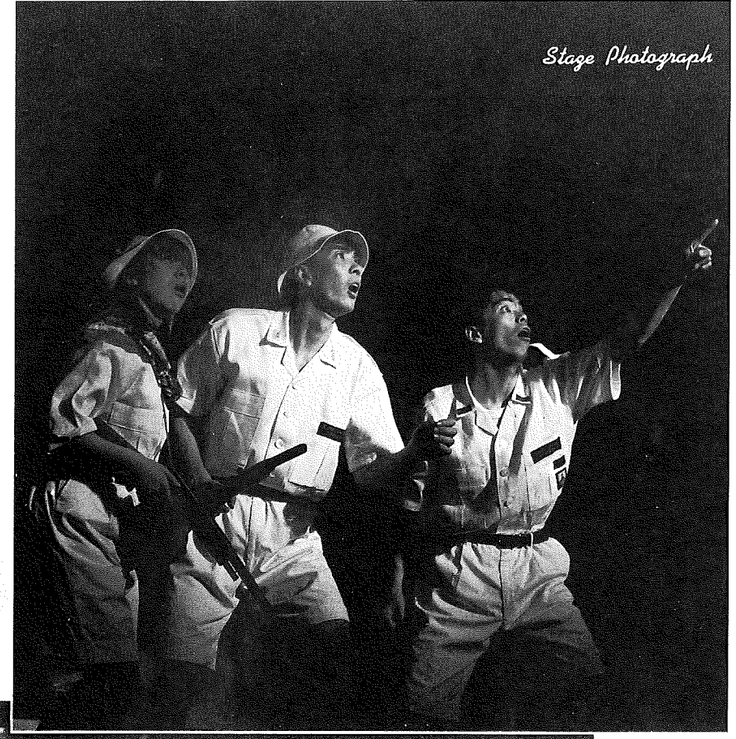
体の中で…
様々な生物の細胞が
さざめきあうのが
聞こえる。
とても、
静かな気持ちだ。



劇団名は伊達じゃない！勇気りん りん、浜っ子ポカリの健康演劇！

志半ばで倒れそうになったら、もどってみようか、イオンザウルスが歩きはじめたあの一歩に…
夢みる少年たちにも夢をはたせなかった少年達にも、心にやさしいポカリの芝居は100点マンテンの勇気をくれる。

アイソトニックシアターポカリ
『勇気 100点 イオンザウルスの緑』

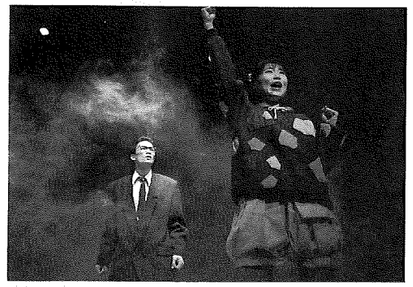


初めてアイソトニックシアターポカリの芝居を見た日、私は睡眠不足だった。そして再び、睡眠不足の日曜日にポカリと出会った。これは、「疲れたらポカリの健康演劇を見なさい！」という神のお告げなんじゃないだろうか？

編集部で夜中まで働いてしまった土曜日は哀しい。酔っぱらいに囲まれて帰る終電車は途中の駅で止まってしまった。しょうがないから乗ったタクシーの運転手さんが、「すいぶん遅いですね、忘年会の帰り？」などと言うものだから、おそろしく早く上がっていく深夜割増し料金のメーターの赤い数字とともに、私の怒りのボルテージも上がっていく。そんなわけでおかえた睡眠不足の日曜日に、芝居のハシゴは冒険だ。マチネの芝居の暗転で、私はもののみごとに眠りこけてしまうのだった。そのあと見たアイソトニックシアターポカリの芝居は暗転がなかった。舞台装置は細かい材木をたくさん組み合わせて作った大きな桜の木だけ。ラストで吉祥寺バウスシアターの天井一面にちりばめられた淡い小さな光たちは、クリスマスに降る粉雪のように、春の宵の桜の花びらのようにたいへん美しい。私の好きなSF作家レイ・ブラッドベリの短編小説を下敷きにした『勇気100点 イオンザウルスの緑』で何度もくり返されるセリフは、「決意ひとつで、志ひとつで、たったの一歩でどこへだって行ける！」 ひとあし先の自分と、夢みる頃の自分が出会うやさしきラストシーンで、私はもののみごとに涙ぐんでしまった。

アイソトニックシアターポカリの役者は、全員不快指数が0%だ。イヤミのなさがすごく気持ちいい。女性が演じたはずの恐竜博士を夢みるミドリノサブローくんは、本当にカワイイ中学生の男の子のようだったし、難しい話を聞くと、「ポンノ」と叫んで倒れてしまう、好きな時代へとタイムトラベルさせてくれるサファリハンターの隊員くんも、サブローくんの人生のドミノを倒してしまっているような、やたらとクライ霊柩車女さんも、志半ばで倒れてしまうひと足さきのサブローさんも、みんなみんな好きになってしまった。私は人の顔を覚えるのがひどくニガテなのだけれど、アイソトニックシアターポカリの12人の役者さんたちは、全員覚えてしまったよ。もし街でポカリのみんなと出会ったら、私はうれしくて、うしろからコブラツイストをかけてしまうかもしれない…。きりがやなおみ

〔DATA〕
作・演出▼山下 哲
12月1日～4日◉吉祥寺バウスシアター
出演▼久保和也 林陽子 石原久 鈴木浩之
三浦雅志 工藤時紀夫 他



ジーン・ハーローにメークアップ指導をするマックス ファクター I世

MAKE-UP

メークアップとは、その人のもっている美しさを
さらに引きたたせるという意味で
マックス ファクター I世が化粧用語として
はじめて使いました。

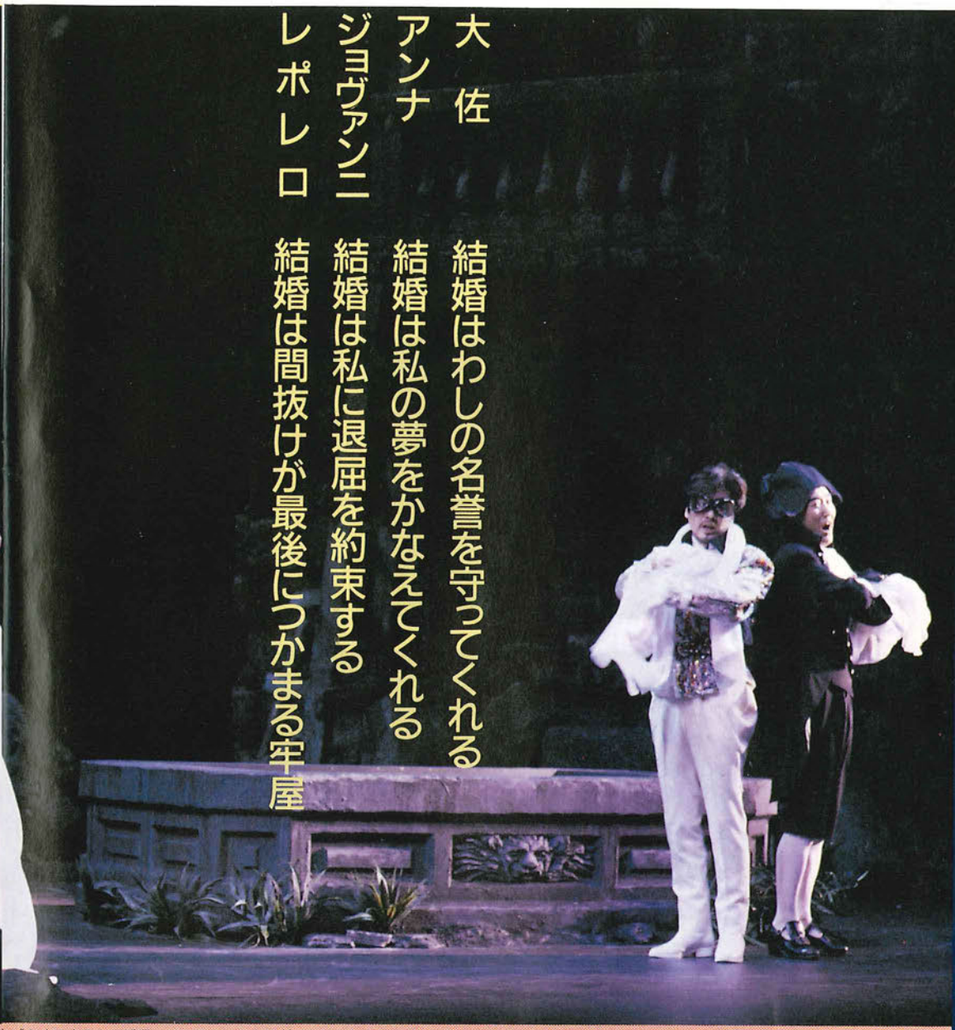
マックス ファクター
映画・演劇用化粧品

映画・舞台に賭けた美しさへの情熱を、あなたに。
MAX FACTOR
〒141 東京都品川区西五反田2-12-3
TEL.03-492-9838

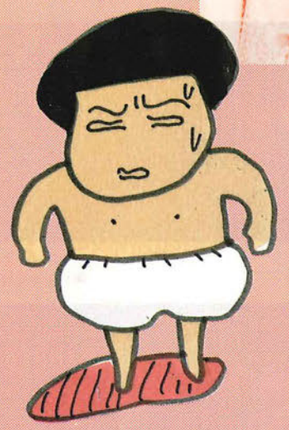
音楽劇 ドン・ジョヴァンニ

超人のつくり方

大佐　結婚はわしの名誉を守ってくれる
アンナ　結婚は私の夢をかなえてくれる
ジョヴァンニ　結婚は私に退屈を約束する
レポレロ　結婚は間抜けが最後につかまる牢屋



わーっ!!　オペラってこーゆうんだったんかあ♡　とクソクするような四重唱。ハモるのってカラダのシンからきもちよい。それでテーマのなんとわかりやすくてうれしいことよ。わかんないことチャゴチャハモられてもねえ…。芸術から遠くはなれて、演芸の域で感想言ってるんだけどね。いいじゃん、別に上流階級じゃないし。みんなそうでしょ？　社交界したけりゃ、そっちへ行けってなもんだ。



構成・文
まついなつき

マゼット役、佐戸井けん太さんと村娘（現代娘）ツェルリーナ役、松浦佐知子さんだ。もう本当、このふたりが今回一番。遊眠社ってやっぱスゴイんだわねえ。

遊び人ドン・ジョヴァンニ、ただ一人の妻、エルヴィラ役、汀夏子さん。この人るとなんかギュッとしまってて、舞台劇観てるなという満足感がある。でもこれいい役だよねえ。

プリマドンナッ！　アンナ役の秋吉満ちる嬢最初、セリフをとちるこいつは何だろうと思ったけど（かつらがヘンなんだもん）歌い出すと私は客席にひれ伏した。後半の衣装はすごい、ダイナマイトな純白だ。

〔DATA〕銀座セゾン劇場公演『ドン・ジョヴァンニ』作・演出▼加藤直　作曲・音楽監督▼林光　出演▼沢田研二　汀夏子　秋吉満ちる　斎藤晴彦　松浦佐知子　佐戸井けん太　他　12月3日～26日

この作品は大衆演劇なの！

●最初にクギさしておくけど●

オペラって楽しいんだあって思えたの（これは『音楽劇』だけどね）当然のようにカッコイイ沢田研二ッ！ 歌いまくりのスイート甘い歌声は、もはやジュリー裏ヒットメドレーッ！ いっそのこと処女のアンナには、斉藤由貴の歌を歌わせて、3日で棄てられる奥方のエルヴィラには、中島みゆき、現代嬢ツェルリーナはネオG・Sでぶっとばすんだ、きみはヘーンな女のチォ♪好きさ長〜いまつげがァ♪ それじゃ、吉本新喜劇のポケットミュージックだよ。

そーだ、クギクギ。「ドン・ジョヴァンニ」は、悪いかいいかでいえばいいの。マルかバツかというとマルなの。

●いいものはいいッ!!●

でもさあ、他の人に、よかったから行きなよお、観ていて損ないよおーっておすすめできないんだよねえ。私、もしかしたら、お芝居ってそんなに好きじゃないのかもしれない。今話題の『銀座セゾン劇場』で今評判の『ドン・ジョヴァンニ』が観られる単なるラッキーでこのページひき受けた私がまぬけのまの字のまついてすとか、ヒクツになったりして…。よかったものに対して、よかったからみんなも観なよッ！ってドンとすすめられないのってすごく悲しい。

だって私って評論家でも演劇マニヤでもないごく普通の一般的お客さんだから感想文書くしか、このページ埋める手だてがない。すごくおもしろかったものに対しては、おもしろくてヨカッタ♡みんなもトウゾ♪観逃がした人は残念ね♪ って書きたいじゃない。それができない理由って本当、ささいなことなんだけどね、ささいが私にはけっこうでっかい荷物なんでした。

ちょっとお芝居そのものとは離れて長くなるけどつきあってください。

●お下劣が宙に浮いて居心地が痛い●

『昨今流行のお行儀のよい観客のための贅沢の限りをつくした芸術オペラはどうでもよろしい。内容も形式も荒唐無稽を前提とするボクのオペラは現実と帳尻を合わせることから逃走し続け、あらかじめ制御された美学から遠く離れていく。どうやら未開の耳・無知な耳を兼ね備える共働者にして観客を探してウロチョロしているらしい。はれやかな開かれた素朴な無知こそ、驚異を生むそもそもの根源であると信じて。』

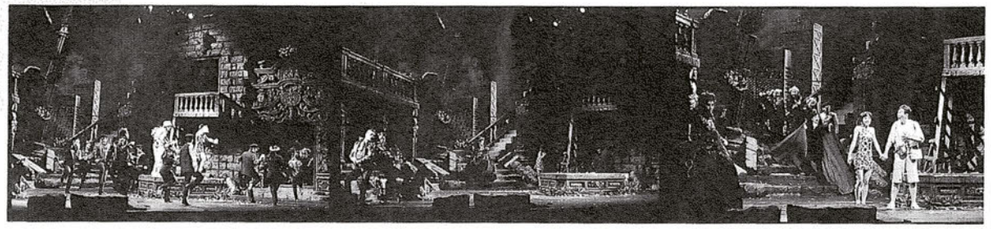
パンフレットの巻頭で作・演出の加藤・直さんがこういってんでした。ひらたくいえば、これは一部の人種のための特権的芸術じゃないんだもんってことですね。ちなみに脚本読んだら、ほんとーにおもしろかった。私みたいにマンガしか読まないバカ頭でも、なんらさしさわりなく一気だもん。その語呂のよいこと語感のそういう風に見えた。つらい。

●ささいなことの根本は…●

あの3人は、下品じゃないんだろうな、根本的に。そう思いました。もうこれは脚本や演出や、ましては役者さんたちのせいじゃ絶対にないぞ。学生服にペンキ（だと思う、そう見えちゃう）ぬって作った衣装のせいでもないぞ。（ああこれはアリモノの学生服にペンキぬって作ったのね、お金のバランス感覚うたがっちゃうわと客席で思っちゃうの―別にどうでもいいけどね）その奥行きと質感の美しさに息をのむ、一見の価値有りの完成度高いセットは、私の想像力を受け入れてくれないほど完成しちゃってて、てくてくしていってのも意味はたぶんない。（中央の井戸のセットはよかった。やっぱり私って下世話だから仕掛けがあるって楽しいのよね）。

●心地悪さの理由●

さて、『ドンジョヴァンニ』には、しっかりマルをあげようと思っているのにもかかわらず、なぜかすっとひっかかっている心地悪さが何かって考えると、劇場っていう入れ物のせいかなって思う。どうも「本物のオペラ劇場みたいにボックス席もあるし、スタンドバーでお酒もめるし、ピカピカの文化の香り高き劇場で、ご観劇」ってカンジ。客層もそういう方々みたい。そういう客層って、松浦さんの良さとか、ジュリーのエラさとかを楽しめたんだろうかって思っちゃう。私個人の希望としては、どっかの空地にハデーなテントでも張って、オバサマもOLも学生もフツーの社会人もみんなゴチャ混ぜで、そん中で思いっきりドン・ジョヴァンニをおやり、お代は一律ギョOOOだッ！って思った。そーいうエアングラ振向だとかいうおやじとかいるんだよな。そーじゃない、ハンパは嫌いなんだい、きもちわるいからっていってるだけよ。劇場っていうのはさ、その時の芝居によって入る客層が変わるもんなんじゃないかなあ。ちゃんといちいち様変りできるってことが、ポリシーのある劇場ってことなんじゃないかな。そういうアングラ振向だとかいうおやじとかいるんだよな。そーじゃない、ハンパは嫌いなんだい、きもちわるいからっていってるだけよ。劇場っていうのはさ、その時の芝居によって入る客層が変わるもんなんじゃないかなあ。ちゃんといちいち様変りできるってことが、ポリシーのある劇場ってことなんじゃないかな。そういう劇場がうまく育って盛り上っていかないようじゃ一体どこが文化なんだろうねっ。



ツェルリーナ登場の踊りまくりシーン。私はここが一番楽しくって忘れられない。彼女は本気で最高でした。

クライマックス。大佐の石像は巨大化して現われると笑えたとかフキンシンなこと考えるのは私だけですね。

召し使いレポレロ役の斎藤晴彦さん。歌う歌う。やっぱり黒テントで最初に観た時の衝撃は薄れたけど、いいものはいつ観てもよい。これも演芸の域の感想だけど。

ドン・ジョヴァンニは恋人だったドンナ・アンナから逃げている。アンナの父、大佐は、責任をとって娘と結婚するようドン・ジョヴァンニに迫るが、彼は拒み、もみあううちにピストルが暴発、大佐は死んでしまう。

三日間だけドン・ジョヴァンニと結婚し、逃げられたドンナ・エルヴィラは彼を追い求める。ドン・ジョヴァンニは召使いのレポレロと服をとり替え、自分はエルヴィラの召使いを誘惑し、かわりにレポレロにエルヴィラの相手をさせる。

ドン・ジョヴァンニはレポレロの服装のまま、今度はマゼットという婚約者のいるツェルリーナに言い寄るが、マゼットが現れたため彼を殴りつけて去る。そこへレポレロが通りかかり、入れ替っての悪企みがばれて、怒った人々は2人を捕えようと追う。

相変らず色事の相談をしているドン・ジョヴァンニとレポレロに、死んだ大佐の石像の復讐を予言する声が聞こえるが、ドン・ジョヴァンニは恐れず、石像を晩餐に招待する。晩餐時に石像は恐ろしい。炎と共に食卓を突き破って現れ、彼に悔い改めよと迫るが、ドン・ジョヴァンニは動することなく、狂ったように笑いながら炎の中に飛び込むのだった。

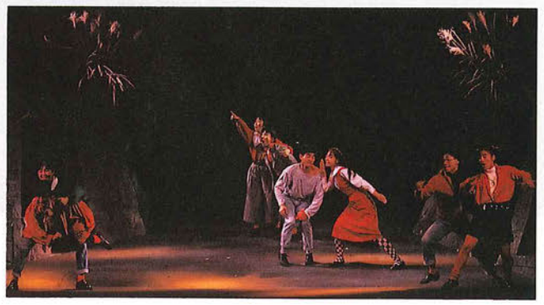
ジュリーファンの姉に「ジュリーどうだった？」ときかれて「いやあ、ジュリーはよかったよ」としか答えようがありませんでした。お話のつくり、キャラクター、ドン・ジョヴァンニは沢田研二です。沢田研二はドン・ジョヴァンニの王様です。夢見る気分にきっちりなれます。そーか一他のことグダグダ考えず、ジュリーだけ観てりゃよかったのかもなあ、なんてそんな失礼なことできるわけないでしょ、わたしはまじめなA型だい。

女の子の視覚で、都市(まち)で浪漫を探した日。

あなたは私を好きですか。ちょっとこわいキーワードを手がかりに〝じてキン〟の時間旅行がはじまった。渋谷のホテル街から、幕末の長崎まで、心中思わず同行してしまった客席の男、パール兄弟サエキけんぞうのレポート。

自転車キンクリート『MIDNIGHT UPRIGHT』

Photographs▶伊東和則



〔DATA〕作▼飯島早苗　演出▼鈴木裕美　出演▼青居空子　池田貴美子　歌川椎子　柳橋りん　京晋佑　徳井優　久松信美　樋渡真司　他　11月2日～10日◉紀伊國屋ホール

自転車キンクリートは、未知の荒野を走り続けていると思う。全員が日本女子大（ボン女）出身ということだが、そういった出身の特殊性が劇団の個性にモヤモヤとしたオーラを放っている。といっても某テレビ番組のように「女子大」をチープに企画化し、厚顔に安売りするのではない。むしろその弱みを限りなく自覚し分析することによって、何かを言おうとしている、アッパレに自立した表現集団であります。公演を見終って心に残るのは、お嬢様のハシャギぶりでも、ナウ志向のセンスでもない。等身大に生きる学生以後・社会人以前の女子生命体である。お嫁に行かない、バイトでもする、適当に遊ぶ、学歴もある程度ある、というのは都市の女の子の最も一般的な像であろう。しかも変動していく産業国家日本のアキレス腱なのであります。なぜなら、結婚↔バイト人口、就職↔遊興は、真面目さとふしだらさの境で、国家の行方をにぎっているからであります。

そうした状況の中で、従来の劇団に求められなかった役割を彼女達がになうことになるのだ。人間関係的にいっても、テーマ的にいっても、彼女達のみがもつ機能に注目すべきなのです。

今回の公演は「あなたは私を好きですか」というキーワードを軸に、バカバカしくも哀愁のあるストーリー進行。ちょっとこわいキーワードだが、ギリギリでおしつけがましさをクリアーしてるのは、くりひろげられる男女劇がリアルタイムだから。渋谷のホテル街のカップルのシーンなどもはさんで、（これがえらくおもしろかった）時代劇とタイムワープさせながらの脚本は手なれたもの。鬼才飯島のセンスが光るウィットにとんだ笑いの数々。数名の男性が客演しているが、どういう男優であろうが、少女コメディのキャラクターのようになるのは、女性のみの女性による演出であるからだろうか。カワユクなっちゃうんだよね。それが現代。男の子達がみんな。全1時間45分、ダラダラせずにスッパリ終る小気味よさは、演出担当のエンジンガール鈴木の力量だろう。

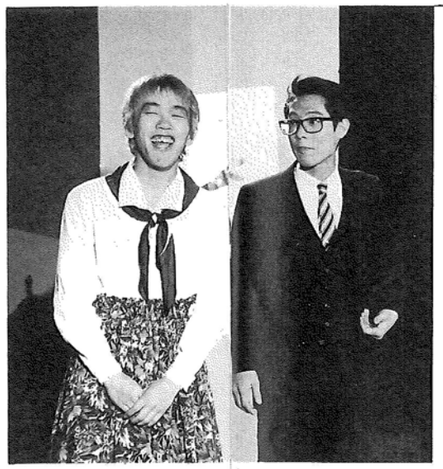
とにかく何かにとりつかれたがごとくハードな公演をこなし続ける彼女達には脱帽する。社会と家庭の真空地帯に花咲いたこの奇妙な集団がさらなる使命を感じることを祈りたいものである。

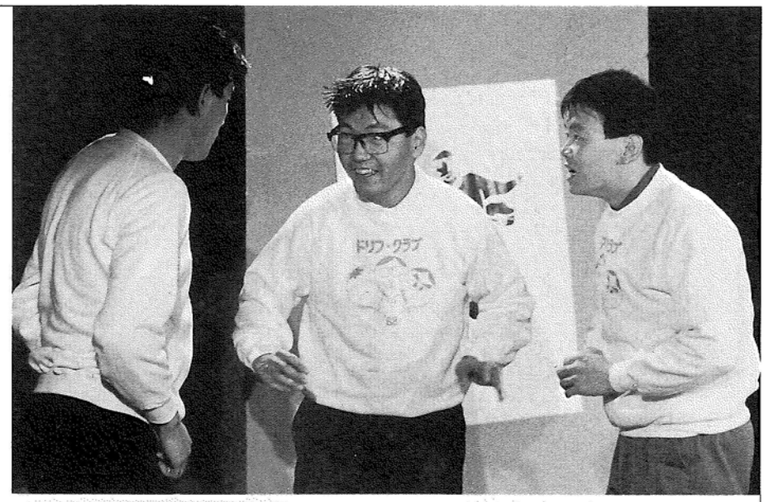
サエキけんぞう

オーソドックスは爆走する。思い出しても笑い出す2つのユニットの美技。

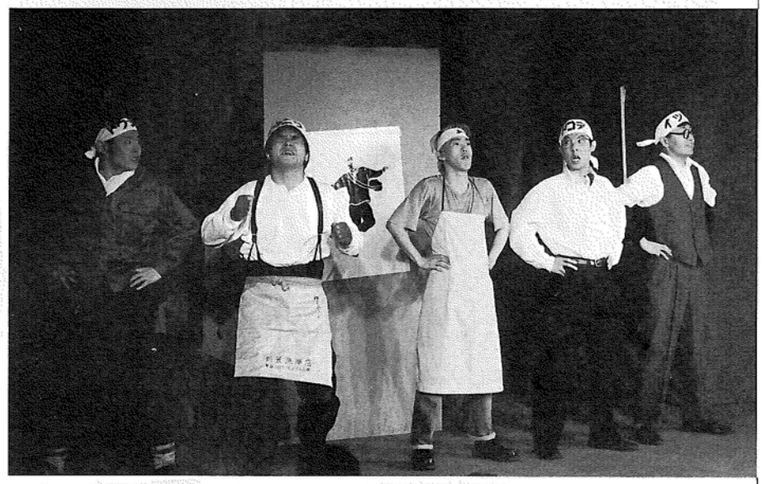
自粛自粛で笑う機会がめっきり減った昨年末をわかせた「マシュマロ・ウェーブ」と「劇団健康」。思いきり破天荒なギャグを強力に支えるのは、正攻法の生真面目さだった。

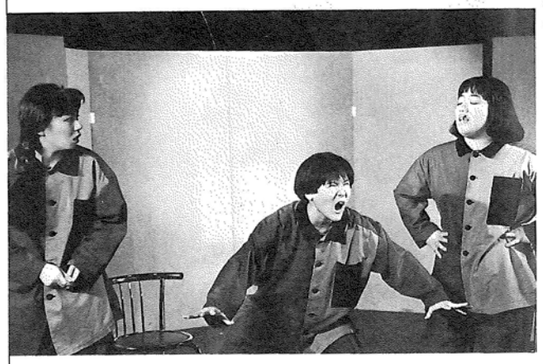
マシュマロ・ウェーブ『Hattrick』
劇団健康『問題あり』





〔Data〕劇団健康
作・演出▶ケラリーノ・サンドロヴィッチ＋健康
出演▶犬山犬子　大堀浩一　手塚とおる　立野みちよ　まつおあきら　新村量子　みのすけ　藤田秀世　ケラ　他
11月26、27日ラ・ママ
○次回公演「後ろ姿の素敵な僕達」1月19日～27日新宿シアタートップス





〔Data〕マシュマロ・ウェーブ
出演▶爆弾小僧　小橋豊　木村健三　和久田理人　近藤芳正　久松信美　吉田紀之　他
11月11日～13日●246クラブ
11月25日～27日●ラフォーレエスパス
12月16日～18日●ジアンジアン

「笑い」というのは、基本ラインのはっきりしている芸能で、ロックなんかとよく似ている。ただ、流行に大きな影響を受けることはあまりなく、作り手の感性でシュールなものになったり、オーソドックスなものになったりするのだ。どんな芸人（ユニット）でも、この〈オーソドックス――シュール〉という図式の中での〝ゆらぎ〟が必ずといっていいほどある。

さて、マシュマロ・ウエーブ。彼らの小気味良く飛び出すショートコントの数々はスタイルとしては一見オーソドックスなものが多い。例えば、3人の男が防音された部屋に集まっている。彼らは半径一㎝ほどに小さくかたまり、小声でギャグを言い合っている。「ちょっとだけよ。」エヘヘ…。「うんこちんちん…。」フフ…。3人は往年のドリフネタを周囲を気にしながら続ける。「じゃ、またね…。」「歯磨けよ…。」「ババンバ、バンバンバン…。」そうして解散していく3人。〈ドリフターズCLUB〉。ドリフファンはここで、愛すべき被差別者となる。周囲の一般人に臨する閉鎖的なグループを〝可愛いく〟見せるのは、オーソドックな手法だろう。しかし、これだけでは欲張りな観客達は笑わない。観客達が思わず吹き出してしまうのは役者のなんとも言えないキャラクターとギャグの可愛さが上手くマッチしているからだ。このキャラクターを文章で表すのは最早不可能なので賢明な読者は劇場でカクニンを。何がヘンだか分かないほど、どっかヘンだから。

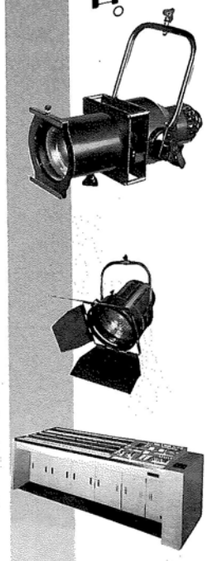
そして、ほぼ同時期に番外公演を打った健康。彼らは旗上げ以来、アブない（シュールな）ギャグを得意としてきたユニットで、そのスタイルは「カイカイデー」あたりで完全に観客と遊離するまでになった。みたいなことを主宰ケラ自身が言っていた（事実僕は笑えなかった）。こうなるとイったまま帰ってこれずに終ってしまう人がいるくらい「笑い」とは奥のふかーいものなのだ。だが、健康は帰ってきた、これはケラ自身の「笑い」に関する引き出しの多さゆえのことだと思う。一見シュールに見えるギャグもオーソドックスな手法に裏うちされている。今回、ショートコント集ということも手伝ってそれが顕著に出てきたみたいだ。

マシュマロ、健康という異なった方向性をもつユニットが、ショートコントの中で非常に近いスタンスをとっていたということは偶然にせよ面白い。そして、そのどちらも観ることのできた幸せでしばらくは思い出し笑いがおさえられない。

落合星文

MARUMO ELECTRIC CO.,LTD.

創造力にあふれた劇場。
感動につつまれた舞台。
あらゆる劇場、舞台でMARUMOの光が活躍しています。



スポットライトからシステム調光まで
丸茂電機株式会社
〒101 東京都千代田区神田須田町1-24 ☎(03)252-0321
大阪(06)312-1913・1922/名古屋(052)263-7425
福岡(092)741-4762/広島(082)252-1600

スパイ大作戦・OL編

ネヴァーランド ミュージカル コミュニティ『Zの熱血』

女スパイがOLに化けるという話は珍しくないけれど、OLがスパイに化けるという話は、めったにない。26才・キャリア充分、世の中のこともかなり見えてきちゃったOLヨシカワカナコが、そそっかしいスパイ、ベッケンバウワーの早トチリで、いつのまにか世界を股にかけたスパイ合戦に巻きこまれるというのが「Zの熱血」。Zというのはアルファベットの26番目。カナコも26才のOL。言ってみればアトが無い。そんなOLに、人違いからとはいえ、血湧き肉躍る大活躍をさせてしまう作者の堤さんは、なかなかの慧眼。

スパイになるには、本当は専門的な技術が山ほどいるのだけれど、それ以上に大切なのは捨て身の度胸と覚悟。不倫も見合いもあったけど、もしかしたらないんじゃないかと思っていた〝恋〟に巡り合った、そんな女ならではの鮮やかな闘いぶりを、竹内晶子が軽やかなフットワークで演じて、26歳の女ならではのりりしさ。しっかり見せてくれました。

柳原和子

Photographs▶笹谷高弘

〔DATA〕作・演出▼堤泰之　出演▼小西崇之　岡島啓介　竹内晶子　前川嘉宏　他
10月27日～11月6日◉吉祥寺パウスシアター

円形劇場が大島弓子のSFマンガのような世界に…。

Photographs▶笹谷高弘

〔DATA〕作・演出▼生田萬　出演▼銀粉蝶　山下千景　小田豊　川相真紀子　片桐はいり　朝日由美子　沖田乱　生田萬　他
12月4日～15日

ブリキの自発団『好奇心のつよい女』

レハールの「金と銀」の曲と共に舞台の上の人々が円形劇場の客席の外周を歩きだす。夢の遊眠社の「彗星の使者」と同じ曲だから、ついつい遊眠社の舞台を思い出してしまう。だが、ここはブリキの世界／やっぱり違うのだ。そこには一年ぶりに『ブリキの自発団』の舞台に復帰した銀粉蝶がいる。6月に出産したなんて思えない。その姿は美しく不思議な魅惑でいっぱいだ。銀粉蝶演じる鶴田永遠子・通称モタさんはとても不幸な人、結婚詐欺に騙されたあげく宇宙人に入れ込み、お金のためにソープランドで働き、ネズミ講にまで手を出してそしてまた騙される。何だか日常の事件みたい。でもそれも生田萬の手にかかればSF風のお話に大変身／大島弓子（山下千景）が出てきたり、彼女のマンガ「綿の国星」のチビ猫（川相真紀子）が出てきたり…それはもう大さわぎ//なんと言っても結婚詐欺にあった女達「赤ずきんの会」のメンバーの楽器を弾きながらの大合唱は迫力満点でおかしかった。円形劇場の外周をふんだんに使った、客を包み込んでしまう演出は圧巻//

やぎひさえ

ダイナミックな変身への願望を、妖しく体現する2人の人気。

め組プロデュース公演『新雪之丞変化暗殺のオペラ』

〔DATA〕原作▼三上於菟吉　作・演出▼白石征　出演▼加納幸和　篠井英介　芳ヶ野恭子　原川浩明　松本文彦　水下きよし　溝口健二　他　12月7日〜11日◉新宿シアタートップス

▼加納幸和　篠井英介▲

気鋭の女方、加納幸和と篠井英介を起用した話題のプロデュース公演大当り。シミュレーションゲームの時代の雪之丞と浪路は、クールな変身で迫る。

'60年（昭和35年）ごろまでに生まれた人なら、『雪之丞変化』の映画を見て胸をときめかせた覚えがあるだろう。女方の美男役者が父の敵を討ち果たす勧善懲悪の時代劇で、長谷川一夫の当たり役のひとつだ。なんてあんなに喜んで見たのか、やっぱり「変身」のカッコ良さだったんだろうと思う。変身の中でも一番手近で、かつまたダイナミックなのが男女のケース。これはスーパーマンに変身する新聞記者よりずっとワクワクする。

〈花組芝居〉の評判の女方、加納幸和も60年の生まれ。いつかやりたかった雪之丞、だった。

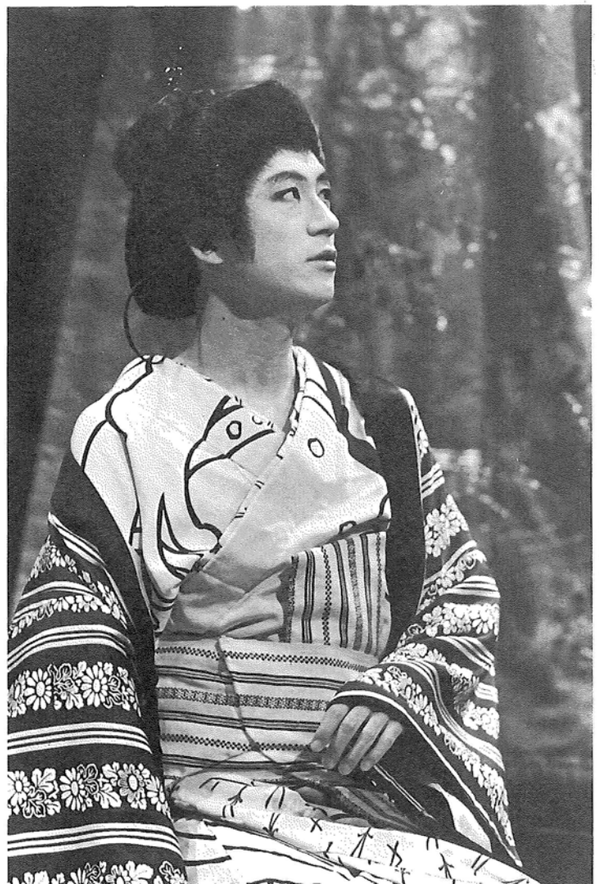
「いろんな方がおやりになってる役だけど、僕の好みを言わせて貰えば美輪明宏さんがやったみたいな、こってりした女方が好きなんだ。…なにかこう、オシロイのにおいがしそうだったり、目尻のシワが妙に気をひく、みたいな。今回は役者一本ということで、そのへんを少しは意識した。でも『雪之丞変化の見せどころはまず男↓女（女方の雪之丞と男に戻った時の闇太郎）の変わり身の妙な変化』にある。だから早替りをやらせてもらったのは嬉しかったよね。それと、もともとは闇太郎という男性役だから、重点はそちらになった。気っ風のいい江戸の男の型をつくるのには苦労した。やっぱり馴れてないのかね。」

雪之丞と絡む美女・浪路も同じ〈花組芝居〉の女方篠井英介だった。

「これまで浪路役は若い新進女優がやることが多かったから、篠井の起用は斬新だよ。演出の白石征さんも、そこを狙ったわけだよね。実際に舞台で絡んでみると……やはり相手が男だという意識があるから醒めてるところがある。それに彼の女方も、清楚で理知的な色っぽさだったしね。でも醒めてるからこそ、感情に溺れずにフィクションがつくれるんだ。と思ったよ。ま、感情のことで言えば、もう一人の女・お初（芳ヶ野恭子）の方に心がスムーズに動いた。やっぱり女性だからね。」

女方の色気で女性（女方）を籠絡するかと思えば、男役に戻って、別の女性（女優）に恋心をうちあける――倒錯的な変身ぶりを丁丁発止に見せてくれた加納の演技。それを支えるのは醒めた役者の緊張感だ。劇団にしばられないプロデュースの舞台が増えつつあるが、ようやく、役者がお客さんを呼ぶ時代が小劇場にも来たのかもしれない。満員の客席からは、そんな印象もうけたのだった。

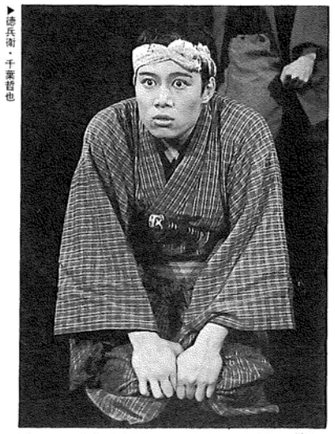
井上三郎



Photographs▶青木司

Stage Photograph

Stage Photograph



▶徳兵衛・千葉哲也

Photographs▶青木司

〔DATA〕構成・脚本・演出▼鐘下辰男　出演▼千葉哲也　河野牧子　高田裕司　光岡湧太郎　文月遊　鐘下辰男　12月6日〜12日◉銀座小劇場

お初・徳兵衛の熱い愛を宿す現代人の体が、近松に勝負、と叫ぶ。

THEガジラ『曾根崎心中』

恋への不信もあれば、ステイタスの屈辱もある。絶望と愛を抱えたお初・徳兵衛の心中行は、降りしきる雨の中で美しく終る。天才近松門左衛門を下敷きに、THEガジラが突っ走った「曾根崎心中」。

▲九平次・光岡湧太郎、お初・河野牧子

新撰組の時は「誠」の文字だった。特攻隊を演じた時は、確か「日の丸」だった。THEガジラ公演では、いつも大きな垂れ幕がプロローグを飾る。今回も、暗い闇の中から浮かびあがったお初・徳兵衛が心中への決意を胸に見得を切ると、パン、と上から垂れ幕が落ちる。「曾根崎心中」、始まりでございます。

のっけからいきなり、原作では名前すら出てこないお春さんが紹介される。徳兵衛が心中へと追いつめられていく原因の一つ、縁談の相手。原本では主人の姪としか出てこないから、かえって不気味で圧迫感のある存在なのだけれど、ガジラのお春さんは可愛くて、なんでこの人と結婚するのがイヤなんだろう、なんて思わせる。実は、それも脚本の鐘下辰男のテなのだ。

大体、考えてみれば、いくら近松のドラマツルギーが凄くたって、金と浮世のしがらみと恋の意地だてだけで死んでゆくなんて、なかなか理解しにくい。想像力がついていかない。そんな今の時代の観客を「心中行」へと連れだすためには、それなりのディテール、それなりのファクターが必要だ。その一つがお春さんで、実は、徳兵衛は、過去にすでに彼女から手痛い傷を受けていたのだ。と同様に、金が万事の世の中を代表するような油屋の与兵衛（これが同じ近松の「女殺し油地獄」の放蕩息子と重ね合わせてある）のお初への横恋慕、友人九平次の悪どい裏切りとその裏にあった二人の恋への妬み、など、さまざまな要因をはりめぐらして、いやおうなく二人を絶望へ、心中へと追いたててゆく。

とこんなふうに書くと、シリアスばっかりのドラマみたいにみえるけれど、なんといってもガジラの芝居は、コスチュームや時代設定が昔でも、登場する人間たちの考え方や生理は現代人のもの、私たちと同じ、というところに面白さがあって、鋭く書きこまれた心理のアヤや言葉のニュアンスのセンスに、思わず笑わせられたり、泣かされたりしてしまうのだ。だってマイク並べたショータイムがあったり、お嬢様VS庶民の娘の闘いにユーミンVSはるみ・ひばり問答が出てくるし。そんな感覚で一気に近松を見せてしまうのだから、これは相当したたかと言うしかない。

したたかさといえば、お初・徳兵衛の最期に、「近松、おれたちの勝ちだ」と叫ばせた作者の戯作者根性。これからもますます期待しとよさそうなTHEガジラです。

榊原和子

▶与兵衛・高田裕司、お初・河野牧子

昭和の終り、ボーダーを越えて叛風（バンパラム）の風が吹く

Photograph▶羽鳥直志

桜井大造

風の旅団公演『黒くぬれ！』『武装天使打令』

燃えさかる火の中、たいまつ片手に唄い出すとそこはつかのまの解放区。風の旅団がまきおこす叛風は忘れられた人人への勇気の風。「再びテントでお会いしましょう」そんなメッセージを伝える修羅達はしんしんと冷えこむ寒空の下で清烈な水をたたえていた。

昭和の終りが実感となり「Xデー」はもはやそこまで来ていた秋から初冬にかけての風の旅団の二本の芝居、「黒くぬれ」と「武装天使打令」はお客を意識しての軽さ芝居流行の中で、共に天皇崩御とその後の血の継続という天皇の間題に、骨っぽく真向うからいどんだ作品であった。

「黒くぬれ」ではかつてこの国が戦争中皇軍の名のもとに侵攻した東南アジアの国から国境を越えて、忘れられた人々の集う、ミッシングリンクともいうべき夜のすきまにやってくる少女達を逆侵攻ととらえ、戦争をターニングポイントにした前の昭和と後の昭和の切れない環を浮かびあがらせる。そして廃船の中で、ウオーターフロント開発の起工式、天皇の葬式、天皇の孫の花嫁の結婚式が三つ同時にとりおこなわれる。天皇の死＝昭和の終りと新しい年号、つまり「葬」と「祝」とが同時にとりおこなわれるという奇妙な場面は、その花嫁がかつての皇軍兵士と現地の女性との間にできた子供だから天皇の血をひくという痛烈な風刺で戯画化してみせた。

「黒くぬれ」が難かしそうな言葉を噛みくだいて「君が何かをするなら動かす為の風になる」といったようなメッセージを客席に投げかけてくるとすれば、「武装天使打令」は三種の神器や神社、崩御の提燈行列など具体的なものをだしてストレートに、勢いでグイグイとせまってくる。

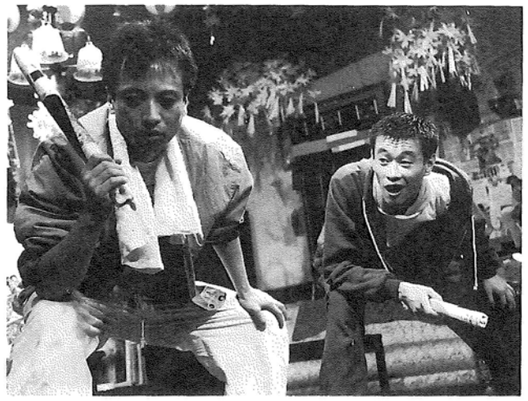
昭和の初めに生れ、終戦前後に死んだ未婚の女性達をこの世に呼び出して、結婚式をさせる「死者の結婚式」。それも昭和の天皇の御霊（みたま）を持つ花嫁として皇室に入れようとは何とも大胆な発想だ。おもしろおかしく話は展開するが、強烈なのはラスト、二回にわたって焼く日の丸。「一切の迷いを捨てよ、あらゆるものを疑え」というこの劇団のあるべき姿を見る思いがする。

役者達もかつてのアングラ劇の「テンション」、「ボルテージ」を相言葉にしたような発声ではなく、自分のキャラクターの投影であるかのようにりきみがなく、それでいて根源の力強さを秘めて、役者個個が持ち味を挨拶する。桜井大造の力強さ、絶妙の間合い。大谷蛮天門の訛を残すひょうひょうとした味わい。かつてのたこ八郎を思い出させる根岸良一、一人淡々と語りかける小間牙允、少年のような人の良さがそのままといったいむたこうじ、二枚目の呉一郎など、旅団の役者達は底辺労働者への熱いメッセージと優しい眼差しに満ちていた。　日吉真仁

〔DATA〕「黒くぬれ！」作・演出▼池内文平　「武装天使打令」作・演出▼桜井大造　出演▼鶯宮テル子　香乃カノ子　水野慶子　大谷蛮天門　水畑功　根岸良一　呉一郎　他　11月1日～27日◉法政大学・東京大学　他

Stage Photograph

カクスコ
中村育二を中心として87年10月旗上げ。男たちの日常をコミカルに枠にしたてた舞台が好評をよぶ。



カクスコ『MEN AT WORK Ⅲ』
切れた玄人、爆笑とともに浮上

〔DATA〕作▼MEN　演出▼中村育二　11月17日～20日シアタートップス　出演▼中村育二　岸博之　井上隆志　山崎直樹　原田修一　近藤京三　○次回公演「MEN AT WORKスーパーエディション」3月16日～19日新宿シアタートップス

暁荘というすす汚れたアパートに住む六人の男たちの物語。独身男性のばっちくもけなげな日常がそのままギャグとして立ち上げられている。

オープントースターで暖をとり、安いウイスキーを回し飲みしながら映らないテレビを聞く男たち。けしてミジメではなく、この場（暁荘）に至福を感じている。

それは舞台に立つことに至福を覚える役者の姿にダブる。

彼らのキャリアは長く現在もCMやラジオのパーソナリティなどで活躍中なだけあって表情や身体の動きそのものにセンスがある。ただ舞台で佇んでいるだけで魅せられてしまうのだ。劇中脈絡なく始まるアカペラも玄人はだしだ。

「MEN AT WORK（労働者）」シリーズを続けている彼らのステージは、S・Fも子供も老人も世紀末も女性すら登場することはないが、劇場でお腹をかかえて笑わせることは保障してくれる。絶対に!!　落合星文

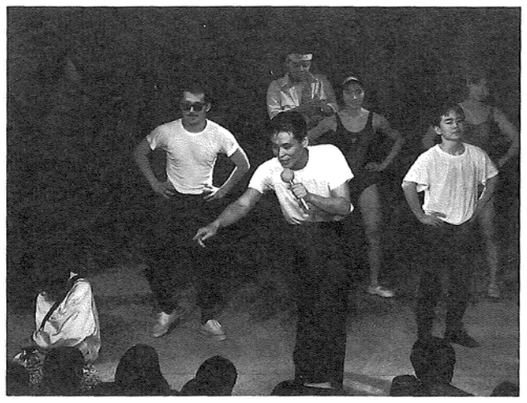
劇団JOE Company
86年7月旗上げ。当初のラブロマンス風の芝居から、最近はSFタッチのスピーディーな芝居に転換しつつある。

暗闇に青白く光るガイコツ！
JOE Company『星屑のレクイエム』

〔DATA〕作・演出▼小野寺丈　11月23日～27日タイニイアリス　出演▼植松洋　新井つねひろ　奥田武　須藤健　寺西史剛　田村恵　久長琉江　山本りつ子　他　○次回公演「新作」3月17日～21日新宿タイニイアリス

ヘビーメタルの曲が流れ、真っ暗な中をサタン（悪魔）がまるで宙を舞ってるようにステージ上を飛び回る。そしてステージが明るくなると、ギーガーをイメージして作ったというものものしい装置。こんなふうに書くとホラーっぽい芝居のように聞こえるけど、ディズニーランドのホーンテッドマンションを思い浮かべるとわかる。（ディズニーランドに行ったことない人はゴメンね！）ぜんぜん怖くなくって、次に何が観られるのかワクワクしてくるのだ。ただ、ブラックライトの効果を利用しただけの誰でも考えつきそうなアイデアなのに、今までこれをやった劇団を観たことがなかったし、実際にびっくりした。だって、本当にガイコツが飛んでるように見えたんだよ。目が慣れてきたら種も見えちゃったけど……。まだ弱冠22歳の主宰者小野寺丈くんは「これも、うちの売りのひとつなんです」と言っていた。自分の色を見つけた劇団がまたひとつ出てきた。　佐々木秀隆

劇団ビタミン大使「ABC」
劇団「白書」と「一発勝負」が合体して88年4月に結成。劇団全体の実力は今一つだが分後の活動が楽しみなのだ。



劇団ビタミン大使「ABC」『パラノイア』
妙だけど真面目な芝居…？

〔DATA〕作・演出▼宮川賢　11月10日～13日　出演▼谷田和久　立川郁　五十嵐規晋　加藤正一郎　内田義典　田上良一　新井久子　宮川賢　他

「パラノイア」とは偏執狂。精神病の一種。ここにも当然何人ものパラノイア患者が出てくる。患者と先生の物語と秋輪会と称するヤクザ達の物語が同時進行していく。でもヤクザ達の物語は一人の患者の妄想、それとも現実？　ヤクザに扮する宮川賢と立川郁の絶妙のコンビに大笑いさせられ、そこへ二メートルの長身の谷田和久が加わりより一層おかしくなる。そして時々でてきては場を盛り上げる「非科学警備隊ラベンダー3号」と名乗るパラノイア患者の一人、五十嵐規晋が妙でイイ！でもこのパラノイア患者はヤクザの闘争に自ら巻き込まれて命を落す。このシーンが何とも言えず悲しかった。一見すごくバカバカしい感じなんだけど、本当はすごく真剣で…それをうまくミックスさせて悲しみを倍増させてしまう。こういうのを創らせたらたぶん小劇団内では宮川賢の右に出る人はいないような気がする。旗揚げ公演ながら、初初しさがないのもまた妙でイイ!!　やぎひさえ

芝居って、元気が出るおまじない

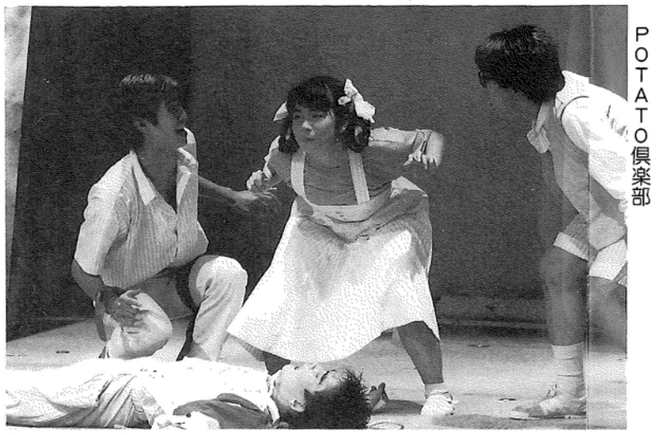
文・田中さゆり

ちょっと台詞が聞こえへんでも
思いっきり楽しんでる顔があればいい
ちょっとわけわからへんでも
ときめくシーンがあればいい
いま ハ・ズ・ン・デ・ル
かろやかな元気発信人
関西5劇団をピックアップ。

プロジェクトDA—A!

プロジェクトDA-A! 「この指とまれ」小学生の頃のタイムカプセルたし状がみつかる。作供する彼と、本物のヒ元ガキ大将のユキの対ない20才の彼女は、自この指とまれのおまじ'88年10月15、16日 スペース・ゼロ

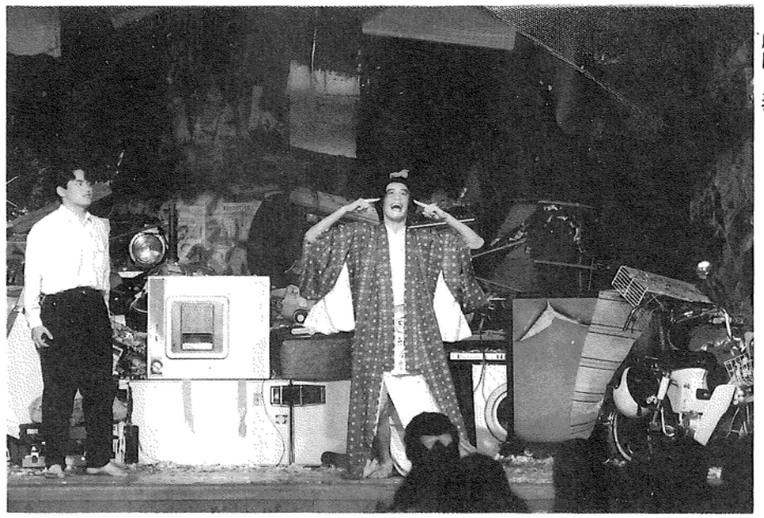
から弱虫のイサムの果りもののヒーローを提ーローを探そうとする決。何者にもなりきれらヒーローになろうと、ないをやってみる。



POTATO倶楽部

POTATO倶楽部『黄昏革命団』 眠りを奪われ、夢見ることを忘れてしまった近未来。子供達は、眠るなと励まし続けるマリコの声に育てられる。だが、彼らは、眠りを奪い返すため、黄昏革命団を結集し、超管理社会に操られたコンピューターのマリコを壊す。さて、眠りについた子供達はいつ目覚めるのか。'88年10月29、30日 オレンジルーム

Photograph▶岸田 淳



劇団G表

G表『翔—TSUBASA』主人公の少年トキは、不治の病に侵されても翔ぼうとする少女未来を助ける。それをはばむのは、鏡こと。ミラテキス。死をつかさどる神こそ、彼の分身である。お前と俺をたちきる闘い。機械にたより初め、翔べるという力を置き去りにしたガラクタ置場から、傷ついた翔でトキはとび立つ。'88年10月3、4日 甲南大学学生会館

第2劇場&立身出世劇場

第2劇場&立身出世『ハッスルヒロリン危機一髪』 京都御所からヒロリンじいさんが蘇る。孫のヒロちゃんことウサギを巡る大国主命と天照大神の冒険。陰で操る感電。「第2」のカルイ感電が、「立身」のマジな大国主命を、「僕、感電です」とビリビリして遊んでしまう。両劇団のミスマッチが大成功。'88年11月4～6日 厳町ミュージアムスクエア

タダでも、エェーモンは、ええねん。「ゼニとるんやったらプロ並みにとる。学生やからゆうてチマチマとるぐらいやったら、スパッと出血無料大サービス。」甲南大学の学生会館で行なわれた劇団「G表」の旗上げ公演「翔—TSUBASA」。翔ぶことを忘れてしまった人間がもう一度翔ぶことに挑戦する。オープニングは、ダンス・ダンス・ダンスで、オシャレ。カーテンコール、観客の男子学生のひとりが、あらゆる女優へ次から次へと花束攻撃。声援がとんで、大ウケ。最後には、その学生にピンスポットが当たって、ピースサイン。よお、アンタも役者！ やるやん照明さん。役者も観客も舞台を超え、学生のノリで芝居を思いっきり楽しんでる。究極の身内のノリをショーアップしてしまうカルサに比べて、テーマも翔んでくれたら、もっと一緒に翔べたのに、ネ。

「今度もカワイイ子でてますよ。」アマーイ誘いについフラフラと座長の指にとまってしまったのが、「プロジェクトDA-A!」の第2回公演「この指とまれ」。劇団の枠に縛られず、他劇団で光っている役者をそのつど抜擢していくユニークなプロジェクト。えっ、前回の公演でその他多勢の悪ガキ高校生でしっかりチェックしていた矢頭勲が、主人公ユキの相手役イサム。ヒーローになれなかったイサムの役だけど、矢頭イサオ君はもうばっちりヒーロー。スルドイ、座長土居奈央美の目。関西でまれにみる女の子の座長として、作・演出も手がける彼女の世界は、ベタベタの少女趣味に終わらず、「前向きな」メルヘンを描いている。作りもののヒーローを待つのではなく、自らヒーローになることを決心する「この指とまれ」は、2度目の公演のため、ひとさし指を高く上げた彼女自身の元気がでるおまじないだったのかもしれない。

アニメチックなフシギな名前のさつまぽてと率いる「POTATO倶楽部」。前回の「夜明けのスキャット」では、若いのに何故か哀愁のお父さんぴったしのさつまぽてと。かっこええけどズッコケヒーローのボウイ。突然居直るキャピキャピギャルの空野あを。女性として目覚めるフンワカ母さんの奥村あつこ。リズミカルにはじける彼らは、バリバリのアニメキャラクター。マンザイ聞いてるより、ほんま、しゃれてんねん。今回は、関西大学の劇研、展覧劇場10周年に、「黄昏革命団」で参加。物語は、眠りを勝ちとった子供達が、夢に溺れてしまう不安を残しながら終わっている。アニメのノリで、ちっーと、マジなテーマでいざ勝負！ 2年目で、初の名古屋公演に挑む赤マル劇団は、今、夢を勝ちとったあの子供達の顔に似ている。

イマを遊ぶ達人四夜原茂の作・演出による「ハッスルヒロリン危機一髪」（第2劇場&「立身出世」）は、過去の発掘により、みえてくる未来を描いている。台本を書いていたのが、ヒロリンじいさんではなく、京都御所に三種の神器として原発を作ろうともくろむ感電であったというのがキメ手。「思わぬ展開についていけないボク」と、重要な役の感電がカルーク開き直る。棺桶から這い出た感電がカリフォルニアに忍び寄るコワーイラストも、「月」のってけ、のってけサーフィン、太陽にほえろ、ガオー。の替え歌に、思わずあはは。笑ってる大きな口で、オモーイテーマも呑みこんじゃった感じ。ムチャとんでしもたこの芝居は、遊ぼうとしても遊べない時代のコワサで、思わずゾクッ。

自称ルックスが売りモンの「G表」は旗上げ。女の子の前向きメルヘンの「プロジェクトDA—A!」は2度目。アニメのノリでマジにきめる「POTATO倶楽部」は約2年。イマを遊ぶ「第2劇場」は約10年。時の流れの中、ヒカってるイイ顔、メチャ好きやねん！

劇団プロフィール

①旗上公演年月日 演目 ②主宰者
③メッセージ ④次回公演予告
⑤住所・電話番号

劇団G表

①'88年10月「翔—TSUBASA」
②今関住克
③われわれ劇団「G表」では芝居の中の演技をどうとか言うのでなく、こちらが真剣になってやっている姿をお客さんに見て貰いたく、又、一緒に芝居を楽しんでいくことを基本に考えています。そして、それと打ち上げの酒をより楽しむ為に芝居してます。そうです、みんな芝居が好きなんです。酒が好きなんです。お客さんの笑い声が好きなんです。こんな劇団でごめんなさい。こんな劇団好きですか。これがうちの劇団です。
④来春予定
⑤〒658神戸市東灘区岡本8—9—1甲南大学学生会館3F ☎078・441—715

プロジェクトDA—A!

①'88年4月『月うさぎ—あふげば尊し学びの窓』
②土居奈央美
③桜が咲いて嬉しかったからとか、蝉時雨がうるさかったからとか、落ち葉の音が寂しかったからとか、雪が降るのを眺めていたからとか、月が奇麗で夜ふかししたからとか、そんなことは、遅刻や欠勤や責任逃れのどんな言い分にもならない、偉大な普通の人々へ。明日もまた、ラッシュアワーの人ごみに揉まれながらも笑って暮らせるように、ささやかな、元気の出るおまじないを手渡せたら、と思います。試しにご覧下さい。
④3月に、オリジナル新作予定。
⑤〒658神戸市中央区中山手通り6丁目7—8 ☎078・341・2102

劇団POTATO倶楽部

①'87年2月『BOXER〈スモウ編〉—冬に別れのくちづけを—』
②さつまぽてと
③タカシくんは某ハンバーガーSHOPでアルバイトをしています。時給は650円です。2時間働くと、ポテクラの芝居を1回観ることが出来る計算です。休日、チケットを握りしめ劇場にやってくるタカシくんに対して僕らがすべきことは、彼がアルバイト中に流す汗の量の、少なくとも2倍の汗を舞台の上で流すことです。だから今日も思いっきり舞台を駆けまわります。—それが、ポテクラの芝居です。
④2月11、12日 厳町ミュージアムスクエア 18、19日七ツ寺共同スタジオ「ステアウェイ トゥ ヘブン —Remix—」
⑤〒565吹田市千里山西5—33—15千里山西コーポ#102 ☎06・384・7946

劇団第2劇場

①'77年11月「あーぶくたった、にいたった」
②阿部茂
③劇団第2劇場は明日なき劇団です。つまり、公演が終ると毎回燃え尽きているわけです。その後、みんなでゆっくりと新聞など読みつつ時代の流れをさぐり、次回の公演日に起こるであろう事件を予測します。それを座付作者の四夜原に伝え、彼がじっくりと脚本を書き、トリックスターがしめく役者群は日々の鍛練を始めます。四夜原の少々頭の固い（やや社会的）脚本から、どういうふうにギャグを導き出し、笑いとばしてしまうか。それが役者群の企みなのであります。また道具方は、脚本ができる前に企画を練り上げ見せ場を先に決めてしまう。そう、毎日がサバイバルなのです。
④明日なき劇団です。
⑤〒583大阪府池田市石橋1丁目12—6サンイースト石橋501「DNG」☎072・761・2495

立身出世劇場

①'87年8月『今は昔、栄蓮映画館』
②阪本武雄
③立身出世劇場は、'87年夏に元演劇群「翔」の関秀人と阪本武雄の2人によって結成された、まだ新しい劇団。緊張感のある舞台を創りたいと言いながら、ギャグを連発して少しエッチなこともするヘンな劇団。笑顔会場を出て、夜眠る前にふと切なくなるようなそんな芝居を創りたいと思っています。
④5月に予定
⑤〒535大阪市旭区高殿4—16—1—206 ☎06・956・3762

PERFORMANCE FILE

from NEW YORK

大竹秀子
HIDEKO OHTAKE

形という問い ―ロバート・ウィルソンの〝フォレスト〟

〝私はいつも問わずにはいられない。自分がしていること、これは何だ？一体何だ？グラスを手にとるとはどういうことなのか？それがわかっているならやめたまえ、やる理由がない。これは一体何だ、それが問題だ――ロバート・ウィルソン〟

こんなはずではなかったという形で〝フォレスト（森）〟は上演された。

ロバート・ウィルソンとデヴィッド・バーンが同じテーマをもとにそれぞれまったく別の芝居と映画を作り、舞台上でジョイントするという、もともとは大層ダイナミックな企画のはずだった。初演はベルリン。バーン監督の映画のためにはヴィム・ヴェンダーズがプロデューサーになったが、これだけの名がそろっても充分な資金が集まらなかった。

BAM（ブルックリン・アカデミー・オブ・ミュージック）で上演された〝フォレスト〟はだからウィルソンの芝居のみのいわば片肺飛行。最初の企画から参加したバーンは目に見える形では作曲担当にとどまった。とはいえ芝居と映画はそれぞれ独立した作品として製作される予定だったのだから、ここで不足を言いたてる筋合いでは無いのかもしれない。それでも鳶に油揚げをさらわれたようなやるせなさが残ってしまったのは、すでに私がウィルソンの手になる途轍もなく美しい舞台を幾度か見ており〝フォレスト〟が惜しいところでそれを乗り超えられずに終わっているからに違いない。

〝フォレスト〟の下敷きになったのは、古代アッシリアの大叙事詩〝ギルガメシュ〟。神と人間の血を共に引く英雄ギルガメシュと獣人エンキドゥの友情に自然の破壊という近代的テーマを読みとったウィルソンとバーンは19世紀産業革命期ドイツにこの英雄譚を重ね合せる。だがウィルソンの芝居作りは例えばブルックの〝マハーバーラタ〟などとはまったく異なる。〝ギルガメシュ〟の話を少しも知らない観客が〝フォレスト〟を観て筋を追うことなど不可能だし、おそらく無意味だ。

ウィルソンの芝居はご馳走を食べるのに似ている。口に入れた時、おいしいかおいしくないかがまず問題で、絶妙な味と香りがひろがったら、さて調味料には何がどう使われていて隠し味は何かなどと思いめぐらすのが次の楽しみだ。グルメはレセピーを見ただけで実際に料理を食べるのと同じくらいの想像上の満足感を得るものだ。ウィルソンが語る製作過程はそういう意味で実に面白い楽しみを与えてくれる読み物だ。

〝フォレスト〟の魅力を語ろうとして私は例えばオープニングのシーンのような――真白な光が満ちた荒涼とした風景の中に岩があり黒づくめのピロードの衣裳を着た白い顔の老人が砂色の髪を逆だてその上に腰かけている。かたわらには黒々とした鳥。小し離れたところでは鰐と鯨がないまぜになったような海の怪物が断末魔の喘ぎで身をよじらせている――凍として美しい活人画を舌足らずに並べてあげていくか、プログラムのインタビューの中で語られている素敵にエキサイティングな、料理人ウィルソンの料理の秘訣をお伝えするしか手がない気がする。

内容ではなく形式からスタートする、演技も心理学ではなく型が自分はほしいのだとウィルソンは語る。細部をふくらませていくのではなく全体の構成をまず考えてそれに合せて内部を埋めていく。場面のヴィジュアルな対応やつながりがむしろ物語以上に作品に統一感を与える。

答が無いことは作家ご本人がはっきり宣言している。形という問いがあるのみだ。それでも青写真片手に結局は解けない絵解きに精を出す、それがウィルソンの舞台に笑いうなった後のもうひとつの楽しみだ。

Data:"The Forest". BAM Opera House. 1988年12月2日―10日。

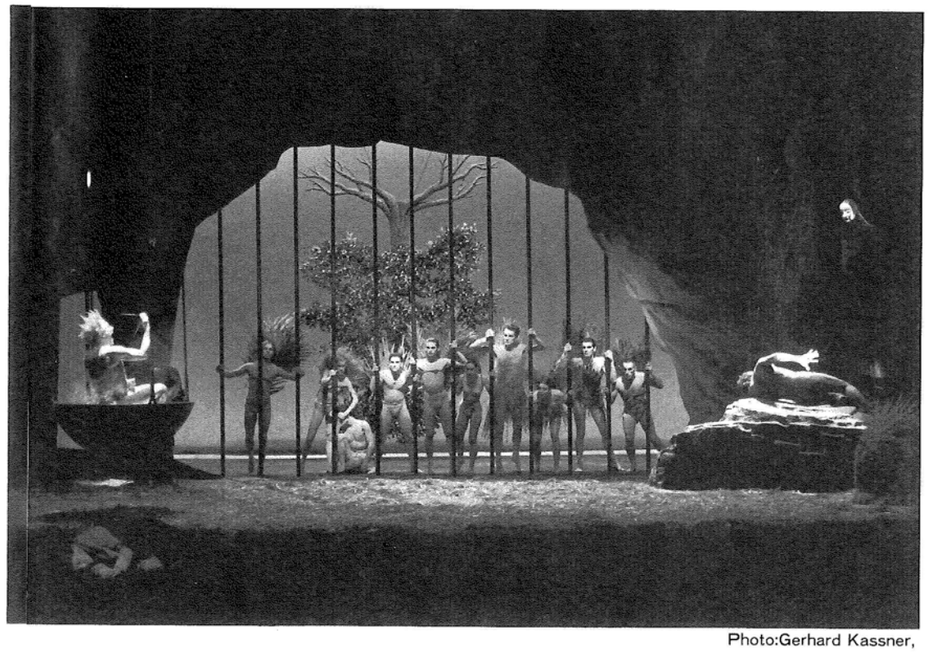


Photo:Gerhard Kassner,

★スタジオ借します

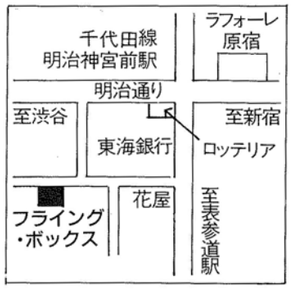
原宿表参道

1時間3000円より

冷暖房&ピアノ…etc

20坪

10:00〜19:00（応相談）



★

Cabaret Children

出演者募集！

ピンク・ヒポポタマス

とても太っていて唄と踊りが大好きな
18才〜30才ぐらいまでの女性

ピンク・ソクラテス

長身で唄と踊りが好きな
18才〜30才ぐらいまでの男性

★

スタッフ募集

明るく元気でやる気のある人

ファッション・音楽・芸能界の

マネージメント等。

★

フライング・ボックス

東京都渋谷区神宮前6-6-8 TEL486-5307〜8

つかこうへい

Interviewer●奈倉 薫
Photographs●落合星文

信用ある芝居ってのを見せてやる

つかこうへい健在なり。
あの伝説の楽日(蒲田行進曲)よりはや6年
演劇集団円と手を組んで、新作『今日子』を手土産に
つかこうへいが帰ってくる。
彼は役者への愛、現在の演劇シーンのこと、
縦横無尽に語ってくれた。

なんのかんの言ったって芝居は信用だ

――『ソウル版熱海殺人事件』を除いて、六年ぶりに芝居に復帰されるわけですが、その間どんなことに興味をもっていられましたか。

つか ただ、ゆっくり休みたかったね。旅とか。

――リフレッシュですか。

つか リフレッシュっていうか。やっぱりストレスがたまってたんだろうね。ポツーとハワイに住んでましたし、むこうにずっと住もうと思ってた。

――ソウル版で一回おやりになりましたね。韓国側からお話があったんですか。

つか 韓国で芝居やって、いい人たっていうか、貧しいんだよね、韓国の役者たちも。日本の観光旅行って感じじゃないけど、こういう形でしか日本に来られなかったしね。歌舞伎とか能とか見たいって言ってたし、じゃあ、こっちから招聘しましょうってことになって。あのとき、芝居っていうのはねえ、やっぱり、信用なんだって思ったね。つまり、ああいう風にパンフレットもつけず、韓国の言葉のままでやったじゃないですか。それでお客さんも入ってくれて。日本の俺の、かわいい、俺のかわいいお客さんたちはさあ、ただじいっと黙って見ててくれたのね。二時間。きっと俺が今までインチキなことしてこなかったからね。なんかあるんだろうってじいっと黙って見ててくれたんだろうね、言葉なくて。やっぱなんだあれって感じあったね。インチキしなかったんだと思って。だからこれはたった一回の道楽だと思って。うーん、なんか俺の芝居って信用だなって思ったね。そういうとこで力抜かないって思って。だから今度も紀伊國屋に、一日限りなんだけどね。一日限りなんだけどあんな豪華なポスターつくったからさ、ほんとたまんねえぞって言ってさ。でも、紀伊國屋にずっと世話になってたからね、一日だけ空いてたらそこでやろうって。

――初日紀伊國屋ホールで上演するというのは、最初には決まってなかったんですか。

つか いや、それを探してたの。空いてる時間ないですかって。ちょうど工事が十日間入っていて、一日だけ無理矢理ずらしてくれて、一日くれたっていうのがあったんだね。やっぱり、ずーっと紀伊國屋が育ててくれたからね、俺達を。芝居再開するっていって、別なとこですぐやるってわけにいかんからね。

――紀伊國屋ホールっていうと、なぜか、つかこうへい事務所の空気が今でも残っているという感じがして、どの劇団を見てもなんとなくつかさんの芝居を見てる、そんな錯覚がするんですね。

つか そうなんだよね。貧しい……なんていうか、何の変哲もない舞台だけどね。俺達の青春があったっていうかね。青春が通り過ぎてきたっていうのがあるからね。感慨深いってものがあるね。

――今回、なぜ芝居を始めることになったのですか。

つか 芝居をすることはずっと考えたことなかったんだよ。だから今度のやつも、前にやった『青春かけおち篇』っていう映画に岸田今日子さんが出てくれて、その芝居がおもしろくてね。力あるなあってことで。それが岸田さんや「円」と一緒にやるきっかけになったんだけど。昔VAN99ホールってとこで芝居やってたときさ、お客さんの中に岸田さんも並んでいた覚えがあんだよ。それ俺チラッと見ててさ、うれしかった覚えがあって、つか一緒にやろうって言ってて。

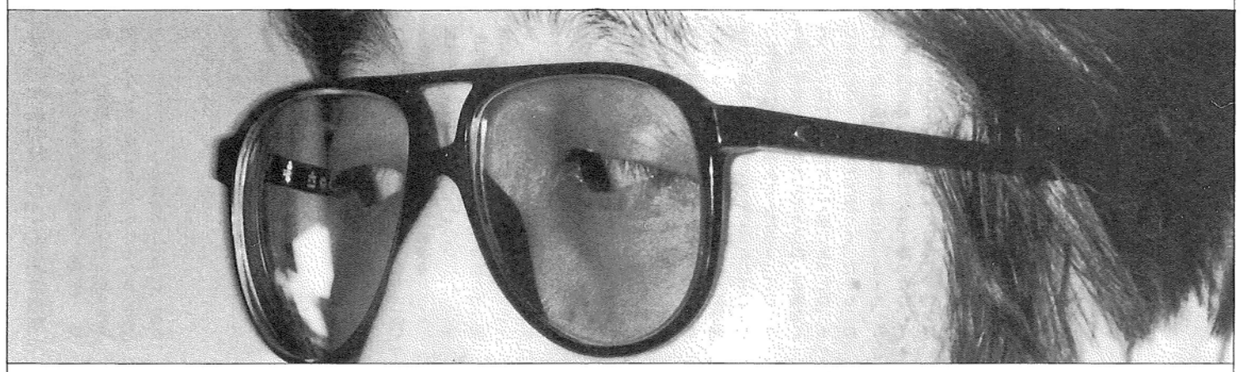
今度の『今日子』っていう芝居、俺は最初、脚本書くだけで、「円」の方で演出してくださいっていうふうにしてたのよ。そのうち、岸田さんどういう芝居すんのかな、どういう役者がいるのかなあって思ってるうちに、七月頃、ワークショップやるから集まる人は集まってくださいっていうことにしたんだ。それで芝居つくってたら、なかなかいい芝居できたんだよね。

この芝居は映画界が舞台で、実際の俳優の名前=芝居の役者としてそのまま出るようになってるんだけどね。たとえば岸田さんなら、〝岸田今日子〟っていう大女優の役で、「わたしが歩く、それがストーリー。わたしの存在そのものが映画そのものよ。わたしを撮る監督はラクだわ。わたしのアップさえ撮ればいいんだもの。わたしのアップがテーマそのものよ」っていう、そういうセリフがさあ、岸田さんうまく決めてくれて。その傲慢な物言いっていうのが、決まってね。芝居はそれだけじゃ、岸田さんだけじゃ成り立たないんだけど。

虚虚実実に芝居が広がる『今日子』

つか こんなとき、ふっと遊びにきた立石涼子っていう子にあるセリフを入れたんですよね。そしたらそれが凄味があったっていうか、成り立つなって。そのセリフっていうのが、

――売れてる女優が〝立石涼子〟って設定で、〝立石〟が「監督、お話があります。わたくしなんでこの役降ろされたっていうか、意味わかりません。わたし、顔が悪い、それで降ろされる。セリフがへただ、それで降ろされる。スタイルが悪い、それで降ろされるなら納得つきますが、スタジオの隅で乳見せろって言われて、乳の形が悪いって降ろされちゃうんじゃあ、あたしもカッコつきません。これから女優やってけません。ちゃんとしたこと言ってください」って言ったらさ、監督の〝塩見三省〟っていうのが「あっ、ちょっとあんた待って。乳見せたから降ろされたって、あんた役がほしいために乳見せたんでしょ、女優さん。そうじゃないの」「はい」「はいなんだ。あんた、役がほしいから乳見せたわけだよ。俺も折り入ってきくけどさ。そのもしよ。役もらってたらそんな出刃包丁なんか持ってくるわけ。女優がなんとか言ってくるわけ。役もらってたら。違うでしょ」「違います」。〝塩見〟っていう監督がたち悪く責めるんだ。「違うんだよ。あんた役もらってたらさあ、そんな出刃包丁持ってきはしないんだ。何が女優だって。誰もあんたのこと女優だなんて思っちゃいねいや。あんたと岸田さん、スターさんの違いを教えてあげようか。俺、昔、岸田さんでチャンバラ映画撮ったことあるんだ。そしたら岸田さん。パリから買ってきたピアジェっていう時計、うれしくて、立ち回りの最中ピカピカ、ピカピカ。ラッシュ見て八千万バーだよ。そしたら岸田さん、『ごめん遊ばせ』。これで撮り直しだよ。何で岸田さん撮り直せて、あんた撮り直せないわけ。あんたどうするだろね。あんたもしその時計してたら、チャンバラ映画」「舌噛み切って死にます」「舌噛み切って死ぬんだよ。何が違うわけ。あんたと同じ目も二つ鼻も一つの女優さんが」「育ちが違うと思います」「育ちが違うんだよ、あんたとは」って言ったら、映画会社の人たちが、「監督、もういい加減にしてください。ここどこだと思ってんのですか」「気にせんでください。これ俺の前の女房なんです」――っていう構造が入ってきてさ。わぁ~って広がってきたわけさ。それ見てて大女優の〝岸田さん〟、「あんたこのセリフ、カット。ねえ、今この子の言ったセリフ、わたしのものになんない」って。「岸田さん、これ売れない女優役やってんですから」「あたしはねえ、あんないいセリフ、ほかの人に言わせるなんてお嬢はイヤなの」って〝岸田さん〟言うんだ。お嬢はヤなんですかって。それで〝立石〟っていう女優にセリフをゆずるようスタッフが説得するんだけど、〝立石〟の元だんなで監督の〝塩見〟が反論してくるんだよね。「ちょっと待ってください、岸田さん。今のところ別に女房の肩持つわけじゃないけど、良かったと思うんですよ。出刃包丁見せろ、はいって言うのは。それをねえ、そう確かに俺はカットするけど、これじゃあ映画つくれないですよ。確かに、女房はだらしない女でした。あの役どおりの女です。脱げば脱ぎっぱなし、着れば着っぱなしでさ。昔、腹が痛いというんで、救急車呼んで救急病院行かしたんですけど、腹痛え、死にそうになって、俺待ってたらもう、医者が出てきて。何かあったの、何かガンですかみたいなこと言ったら、いや、タンポン三ヵ月出し忘れてるようで、タンポンが腐りかけてる。ほんとあった話なんだよ、タンポンが腐りかけてるっていうような。するともうみんなドッと笑うわけだ。ね、そんな女いるかい、タンポン入れたまま忘れるなんて、三ヵ月。そういう女なんだよ。結構それなりにおもしろいんですよ。結構芝居いいんですよって感じで言うんだけど。みんなおかしいだろ。タンポンを三ヵ月出し忘れた女。みんな笑うん



だよ。俺笑えなかったんだよ。俺そんときこいつの手を握ってね、悪い病気じゃなくて良かったなって、泣いてたんです。どんなことがあってもおまえと一緒のお墓に入るんだよって、言ってやったんです」――っていうそういう芝居が塩見と立石っていう間でこれじゃあいけるかっていう感じのやつができたからね。

もう、芝居っていうのは集団恋愛みたいなもんでさ。俺だからあんまり、役者と仲良くなるまいと思って、五日間の稽古の間で、芝居が終わるとパッと帰ってたんだよ。最後の日ちょっと、かわいそうになったわけじゃないけどさ、あんまり冷たくしちゃいけないなって、つい一緒に飲んだんだよ。それが間違いのもとで、また情が、あってなあ――。

情に弱いところが俺の弱みだな

――そのときはまだ演出することに決まってなかったわけですか。

つか なってなかったよ。それで情が出てきて、立石の芝居みんなに見せてやるべきだろうってのは入ってきたねえ。情が出て。またいてさ。あるやつはさ、芝居やってて。「おまえ結婚してんのか」「はい、大阪の金持ちの娘です」娘どうするつもりだって呼びつけられたんだって。「何やってんだ。新劇。しんげき～。うちは一人娘だから養子来て大阪で芝居やってくれ。そんなに芝居やればいいじゃないか」「いやあ、でも」「大阪だって松竹新喜劇あるよ」って言われたって。「あなた辛かったでしょう。いや、おいおいちょっと待て。その親呼べって、見せてやる」ってなってくんだよね。そういう情がわいちゃうとさ。あんまり聞かないようにしてたんだけどさ。ついついいさ、おまえおまえって、なっちゃうんだよね。もともとそれ俺の悪い癖でさ。役者好きっていうか、人間好きっていうかね。そしたら何とかしてみようかねって。俺燃えたのはさ、『びあ』とか見ると「つかがなんと、あの円と」って。「なんとって」おまえらすごく悪いことしてたのか。おまえら一体何やってたんだ。俺はほかの芝居って見てきたことないんだって。あんまりさ、なんじゃろかと思って。「なんとあの円と」。おまえら、ほんと頼むぜって。そしたら俺ら頑張ろうぜっていうふうになるぜ。前からも、情に弱くてさ。まいっちゃうことあって。いつもしかたなくね。そういう生活してるのが辛くなってくるんだよな。代表的なのが沖雅也さんが死んだときとかさ。突然葬式の委員長やってくださいって言われて、それ俺、頼まれたら断われないからやるけどねって。そうしたら薔薇の花の祭壇で、遺影写真がカラーなんだよ。うちのおふくろなんて、たまたま飛行機乗って、雑誌見たら漢字読めねえもんだから、つかこうへいがおかまって読んじゃって。「スチュワーデスさん。この雑誌売ってください」。スチュワーデスだってびっくりして「な、なんですか」って。「うちの息子がおかまらしいんですよ。そういや女と別れたりなんかしてますけど」。夜中電話かかってきて大騒ぎ。違うって。女好きって言うわけにもいかんしなあ。違うって。そういうのをしょいこんできたから、そういうのがいやでやめたんだけど。人と会わないような生活してたんだけど。実際もうファックスでしか仕事しなかったしね。

――休止期間中芝居をすることは考えられましたか。

つか やりたかったっていうより、やることで傷つくことが、傷ついたり疲れたりするほうが。やっぱ体壊すからなあ。体の何かの部分を壊すからな。破綻させていくからね。精神的な部分みたいなものも、破綻させていくからね。私生活も、何も。どっか狂っていくところがあるからね。狂気みたいなものがあるからね。それがもうやだっていうのが、あるね。

――でもつかさんのいろいろなお仕事の中でも芝居が最高だって思いますが。

つか でもやってる方は辛いぞ。

――つかさんの小説を読んでいて、セリフがいっぱい出てきますよね。そのセリフが役者の肉体を借りて、セリフが立ち上がって、あの音楽と照明がついてっていう感じで思い込んでしまうんですよね。物足りないなあって。

つか そうだねえ。でもやってそんなに幸わせじゃなかったし。日常が無くなっちゃうじゃないか。ミチココって役がいるとする。ミチコミチコって、こうやってこうしてこう置いてっていう。うち帰ってさ、うちの娘に向かって、おうミチコって。うちの娘はミナコですっていうふうに怒鳴りつけられたよ、女房からね。そのへんが無くなって破綻していくからね。ほかでは有名かもしれんけど、うち帰って、掃除洗濯してたりしてよお、悲惨だぜ。それじゃあ、あったかいハワイ行ってさってことに。確かにさあ、風呂入ったらハイヤーで迎えに来るしよ。地方行ったら、先生先生だし。先生やめてくださいって言ったら「つかさん」だろ。そうするとカッーとくるだろ。おかしいよな。二十四ぐらいからさらしもんだぜ。俺、変に責任感とかあるじゃねえか。役者と、人と知り合いになっちゃうと辛いんだよね。なんていうかそうなっちゃうとね。できるだけそうならないようにしてるけどね。

――六年目にして、その渦中に入ってしまいましたね。

つか 辛いよね。「円」でまたやるだろ。十三人使うだろ。次なんか芝居やるとするだろ。一人二人借りるとするじゃないか。残りになんて挨拶すればいいかっていう。そうするとまた辛いしね。みんないい子ただしね。俺のこと信じてくれるしね。信じられたときの弱さっていうか。目キラキラさせて、俺の言う一挙手一投足みたいのをあれするじゃないか。そんときの責任感てのは辛いね。でもまあ、なんなんだろうね。

――「円」の役者さんたちはどうですか。

つか うん、みんな同じだよ。見ててみな。びっくりさせてやるから。役者なんていい悪いじゃないんだ。心の素直さとか優しさとかなんだよ。芝居がうまいとか、みんな芝居がうまくなりたがるんだけど、芝居のうまさなんて二十分もしたらみんな飽きちゃうんだ。あとはそいつの生きた人間性だとか、そういうことしか人は見ないんだ。ほんとに役者がうまくなって、演劇論だとか言ってるからみんなおかしくなるんであって。そいつの生きた誠実さだとか、生き方の確かさだとか。持ちやしないよな、芝居は。それがみんな誤解してるっていうか。今みたいな漫才師みたいなの、いっぱい真っ昼間から出てきて、大学の余興みたいな。いたよな、大学時代。いたよな、ああいう。そういうのみんな恥じて会社入ったよな。そういうの社内旅行の幹事なんかやっちゃって。いいよ、俺できないよとか言っちゃって、やっちゃうんだよな。出世できないだろうな、みたいな、今みたいな恥のあり方なんて、ダメだな。俺も芝居二、三、見たけど信用できねえしな。役者は信用だぜ。なんか火事とか起こるだろう。そうしたらうちの劇団はみんなお客さんを逃がして。たとえば、今火事でございますが、お逃げくださいっていう、わたしたち見守っておりますからっていう、そういう気迫みたいなものがあったっていう。こいつらはいの一番に逃げるんじゃないかっていう、そういう感じにしか思えんけどな。俺もいけなかったんだろうな。俺が軽く書いてるから、軽く書いてきてんだってな。俺の責任みたいだものな。俺は全力を込めて軽く書いてんのに。軽く書いちまってから、困ったもんだなっていう。それに装置とか使い過ぎだよ。どうしてそんなになっちゃったんだ。『夜のヒットスタジオ』なんか見てみ、勝てねえよ。『ザ・ベストテン』とか見たら勝てねえっていう。ほんとだぞ。俺は何も使わないで、だから役者の汗とか出てて。『キャッツ』なんか良かったって、化粧してて誰が誰だかわかんないのにどこがっていう。やっぱ一番素肌に近い感覚っていうものを出していかなきゃいけないわけで。

――大竹しのぶさんと以前一緒にお仕事をされて、そのとき、私たちが知っていた大竹さんとは違う、凄く激しい一面というのを見せられて圧倒されました。そういう違った面は岸田さんからはどうですか。

つか 大竹しのぶは、これはNHKの『嫁ぐ日86』を見たときびっくりしたね。こいつの組み立て、感覚の組み立てっていうのはちょっと真似できんだろうね。アングラっていうのはあれで吹っ飛んだっていうのがあるね。それで『青春かけおち篇』で岸田さんが彼女とやり合って、びくともしない感じのやつがおかしかったね。大竹しのぶがいて、一人娘で、出ていくわけだろ。代々名家の、たとえば、岸田家ってのがあってさ、一人娘で養子もらわなきゃいけないんだけど、養子、あんときは風間杜夫が来て、大竹しのぶがよその男を好きになって、出て行って、「出てってもいいんだけど、あんたこのうち全部捨ててもらうよ。あたし杜夫ちゃんと結婚するから。子供まだ生まれるから」。その論理の組み立てて凄かったね。やっぱこう、確かさがあるよね。真ん中立って出られるってのがあるね。衣装も何もない。うれしいしね。

――一番最初に『蒲田行進曲』をかけられるときに映画『サンセット大通り』をイメージしてつくるって言ってましたよね。それだけんだん、大部屋俳優とスター俳優と女優の話に変わっていきました。今度の『今日子』もどんどん変わっていくというのはありますか。

つか あるね。自分宛のファンレターを出していた老女優の話を書こうとしてて、松竹蒲田の話にしていこうとして。ある日、角替和枝さんのだんなさんの柄本明君が、たまたま稽古見に来てたんだよ。そしてちょっとやってみろって言ったら、腰抜かすぐらい良かったね。感心した。そうしたら蒲田行進曲より太秦ラブソディーみたくなっちゃった。松竹から東映にいったみたいになっちゃって、そういうことでなんか変わっていくだろうね。

役者に力があれば何もいらない

――以前芝居の値段が二千円になったら、もうやめるって言われて、実際、最後の公演の時に二千円になってやめられましたね。そして今回の公演を二千円でかけるっていうところが、つかさんらしいやり方だなと思ったわけです。

つか 俺がターゲットにしたいっていうのはさあ、俺の人生なんだろうって悩んでいる人たちがいるじゃないか。昔は俺たち若い頃、ドストエフスキーとか『若きウエルテルの悩み』とか読んでたよな。近頃、あんまりそういうの読んでるやついないよな。よくネクラって言われるけどしょうがないぜ、ネクラになるぜ。ネアカになりようがないけどさ。そいつらに見せたいってのがあるし。なんだその、今、ファッションとか多くなったから、もう演劇に投与するお金ってのが、ないんだよね。そういう子が変な芝居見ないで、安く見せてあげたいってのがあるね。演出家が頑張れば装置なんていらなくなるしね。実際問題『蒲田行進曲』のとき、階段の転げ方がちゃんとしてたからね。大もうけしたもんね、っていうか階段を使わなくてよかったね、っていらなくなるぞ。それでスキができるようだったらダメだし。その意味じゃ二千円で十分採算採れるし。今のほうがどっか異常なんじゃないかって。

――高いですよね。

つか 高いな。一万円とか八千円とか見に行って、ようわからんのやってどうすんだ。見に行ってつまらんかったら、二度と見なくなるぞ。そんなもんじゃないぞ。わけわかんない奴が文化人面して劇場建ててるみたいに言うけどさ。劇場一つ建てるなら、稽古場二つ建てろって、俺は何度も言ってるんだ。俺たち稽古しようってんのに埼玉だとか、行かなきゃならないじゃないか。劇場つくるより、稽古場つくれって。若いやつが試行錯誤する、試行錯誤する時間をつくれっていう、つくってやらないとダメだって。

――つかさん独自の口立て式はいつ頃から始めたんですか。

つか 最初からだね。

――役者がいないと自分の芝居はつくれないっていう、役者とともにあるっていう感じですか。

つか そうだね。それに芝居をつくっていく

全労済ホール スペース・ゼロ オープニング記念

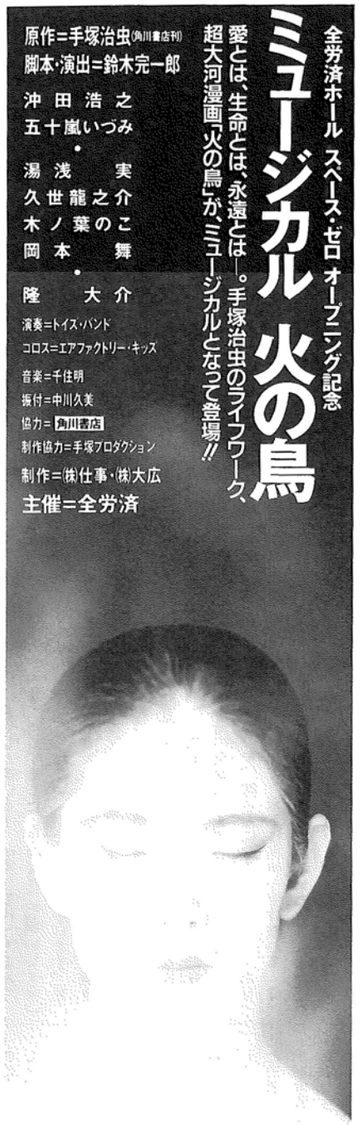
ミュージカル 火の鳥

愛とは、生命とは、永遠とは―。手塚治虫のライフワーク、超大河漫画「火の鳥」が、ミュージカルとなって登場!!

原作=手塚治虫(角川書店刊)
脚本・演出=鈴木完一郎

沖田浩之
五十嵐いづみ
・
湯浅　実
久世龍之介
木ノ葉のこ
岡本　舞
・
隆　大介

演奏=トイズ・バンド
コロス=エアファクトリー・キッズ
音楽=千住明
振付=中川久美
協力=角川書店
制作協力=手塚プロダクション
制作=㈱仕事・㈱大広
主催=全労済



前売券絶賛発売中!!
'89 2月8日(水)～2月28日(火)
全労済ホール スペース・ゼロ
■開演=平日7:00PM 土曜2:00PM/7:00PM 日曜2:00PM ■入場料=4,500円(全席指定)
■前売り=チケットぴあ(03)237-9999/チケットセゾン(03)5990-9999/CN21プレイガイド(03)257-9999/丸井チケットガイド(03)363-9999
■お問い合わせ=(03)379-8945

スペース・ゼロ オープニングシリーズ
●2/8(水)―2/28(火)ミュージカル火の鳥 ●3/3(金)―3/4(土)清水和音室内楽の夕べ ●3/5(日)中村雅俊ライブ ●3/9(木)―3/11(土)山下洋輔スリー・ナイツ ●3/16(木)―3/19(日)劇団俳協公演「十二夜」 ●3/25(土)―3/27(月)演劇集団目覚時計公演「青いガラスとエメラルド」 ●4/1(土)―4/2(日)ぬいぐるみ人形劇「青い鳥」

新宿南口徒歩3分
SPACE ZERO 全労済

うちに、役者たち力出していくしね。あの、こういうセリフ言わせてくださいとか。こういう状況にしてくださいってのが必ず出てくる。必ず。見せてくるからね。そのときそのとき、セリフをあげてやるだけっていう。作家が書けるっていうのは四割ぐらいで、あとの六割は役者に書かせられるもんなんだよね。つまり、役者の悪場所っていう、役者になりたいみたいな、やっぱ普通の存在じゃないわけだよ。たとえば、三浦洋一みたいな、ゲスな色気っていう、なんで色気かっていうと、あれがどういうタイプかっていう。――団地かなんかで三浦みたいなやつがいて。そこの団地の主婦がエレベーターかなんかで三浦と一緒になったら、あたしやだわとか思ってて。しかしあるときゴミ出しに行って、ゴミ出すと三浦からゴミための中で後ろから犯されて、ゴミでベチョベチョになって、そのとき快感だろうなってチラッと思うみたいな。そういう存在なんだ、要するに三浦和義みたいな。三浦和義が自白しないっていうのはさ、あいつの中に、自白する論理がねえんだ。普通の犯罪者ってのは、やったことをどうごまかすかって、どうやって自白しないで我慢するかっていう。でも三浦和義は、やってねえと思ってんだ。自分で、不思議なんだ。なんで俺はこうぬれぎぬ着せられるんだっていう。そういう存在を、バッと役者にすり替えて、誰が使えるかっていう、代わりできるかなあっていう。そういう存在なんだよね、役者っていうのは。しらじらしさとか。考えてみろよ、客の前で飛んだり跳ねたり。みっともなくてできねえよっていう、そりゃまともな人間のやることじゃねえっていう。だからおもしろいんだよね。だからそいつはなんかになり代わったりさあ、おもしろいんだよ。

今度もあるセリフがあって、若い木下っていう映画会社の副社長がいて「監督、この役、この女の子使ってください」って、監督が「あんた使えばいいじゃないですか」って。「いや、使えません。この子はいい子です。嫁さんになる子なんです」って。「じゃあこうしましょう。『俺の女使ってくれ』って言ってくださいって。そういうとき映画って当たるんです」「それじゃあいけませんよ。僕はおやじと違います。映画に夢持ってるんです」って。そしたらその女が「お願いします。使ってください。あたしなんでもします。先生が好きでした。裸にもなりますから。寝ますって言うのよ。そうするとその副社長が「えっ」って、「副社長、すいません。あたしって、こういう女なんです。こんななんです」。指輪はずして返すんだよ、「お母さんの形見の指輪返します。あたしは女優になる女なんです、嫁さんになるような女じゃありません」って。木下は指輪を受け取って「俺は活動屋だから夢を信じていたいんだよね。女という女がみんなそんなものでないと。俺は活動屋だから夢を信じていたいんだよね」って。そういうセリフがあるんだよね。それで俺がそのセリフ言うじゃないかって。そうするとこいつ、女が指輪こう返してんのに「俺は活動屋だから」ってあらぬ方向見て言うんだよ。おまえ、返してんのはここだ、取れやって言うのにさ。見てないんだ。俺の言うことなんて聞いてないんだ。ただカッコイイだろうっていう、そのへんに酔っちゃって。目を真っ赤にして。おい、木下、指輪返してんのここだっていうのに、また同じ。見てねえんだ、相手の女。そういう役者のゲスっぽさとか、てめえのことしか考えてないことか好きだけどな、俺は。それがやっぱおもしろいみたいな、組み合わせみたいのが、ね。

――芝居を始めた頃は。

つか　俺は慶応入って、最初、「三田詩人」っていう詩の雑誌に入ってたんだ。それで一年の時に、自分が出た予備校の先生やってたんだよ、夏の講座を。そしたら、そのときの教え子が慶応の劇研かなんかに入って、それが六・一五事件でつぶれたんだよ。それでつかさんやってくれっていうふうに来てさ。『郵便屋さんちょっと』っていうのと『戦争で死ねなかったお父さんのために』っていうのを書いたんだよな。そして大学三年か四年のときにおやじがやばくなって九大病院に入院したんだよ。俺が大学卒業できないってのがおやじにわかって、親が死にかけてるときに、なんと情けないって。まあ、俺は医者にもなんないしさ。田舎だからさ、法学部通ったら、「おっ、弁護士か」っていう、違うっていうのに。それで田舎帰って、家業手伝ったりなんかして。半年ぐらいして、東京に戻ってきたんだ。そろそろなんかやるかって。ある日、俺がなぜだかやってたスナックで、早稲田の「劇団暫」の平田や向島三四郎たちが、打ちあげやったんだよ。そしたら払えねえんだよ、支払いを。こいつらは。困るよって。それがもとで、つぶれて。つかさん何かやりませんかって。芝居、なんなんだろな。平田はラグビー部だろ。長谷川はサッカー部だし。石丸と三浦は野球部だしよ。上手知ってんのは、桐朋学園出た根岸ひとりだよ。どうすんだろ、こいつらって。考えてみろ、『熱海殺人事件』なんて題名の芝居じゃいかんかったよな。あの頃、芝居っていったら胎内回帰だとか、怨念だとか、よ。俺肩身狭い思いしたよ。その頃『郵便屋さんちょっと』って題名でさ。みんなからバカにされたよ。俺、だからさ、明るくやってたよ。みんな明るかったんだ。よくそれでさ、明るくやってたな。

演出家は役者を愛するだけでいい

――その頃の客層は、やっぱり若い人が多かったんですか。

つか　その頃の客層ってのがさ、『モア』だとか『ノンノ』だとか、テレビ局のプロデューサーだとかになってんだよ。あの頃受付とか良かったからね。三百円とかしかないやつ入れさせて。時々言われるよ。そのときの人間がちゃんとき、あの頃よくしていただきましたとか言って。うれしいよね。貧しくても問題無かったしね。岸田賞とかもらったときだって、電話が無くて、電報だよ。風呂付きの部屋入ったのだって二十七の時だよ。ほんの十三年前だよ。紀伊國屋出たときだよ。あたりまえだよ。VANで九十九円で。紀伊國屋だって七百円とか九百円だったじゃないか。

俺がだからさ、装置も衣装も使わず、安い値段でさ、苦心してやってきたのが、なんにも見てこなかったのかっていう。役者を愛してやることなんだよ。演出家ができるってことは、何かを解釈して説明してやることじゃなくて、その役者を愛したり憎んだりその振幅度が、それが演出家としての勝負なんだよ。多少無理があるけど、こうやってたらいいだろ、行っちゃえっていう。そういう役者の愛し方なんだけど。それが、みんな本の解釈力になっちゃうっていう。ダメなんだよ。それがわかんなかったっていう。うわっつらだけだなあっていう。演劇論なんてねえよ、って確かに言ったよ。確かに。ねえよ主張なんて、あるんだほんとは。あるけど、こうこうこれではって言えねえしな。みっともないって思って。そういうのがわかんないっていうのが悲劇と言えば悲劇だし。もう一遍初心に返って、芝居って、考えなきゃいけん時期かなあ。だから役者もたるうくなって。役者も、『笑っていいとも』のプロデューサーが来るのを心待ちにしてんだって。俺らは漫才だのバラエティだの入れるなって言ってたぞ。へたに招待状かなんかで来ると、誰が出したんだってと追求してたもんな。誰が知り合いなんだって、許さんって。今はそうじゃないんだって。そういうのが来るとペコペコして、とにかく今日は頑張ろうって言うんだって。そんな漫才師のあれから認められてどうすんだ、というふうに俺は思ってんだけどねえ、俺は。ま、俺は『笑っていいとも』が悪いと言ってんじゃないんだぞ。あれはあれなりに。やっぱなんのために貧しい思いしてんだってのがあるからな。俺たち変わり者かもしれんけど、だから変なふうに解散したり、やめていったり、いるじゃねえか。育ってねえだろ。昔あれだけアングラあっただろ。どこ行ったんだって言う。ギャアギャア言ってても。集まって俺の悪口言ってて。みんなケンカしてて、最後俺の悪口言っちゃ治まったっていう。この野郎どこ行ったんだっていう。そいつらみんなどこ行ったんだっていう。責任取れよっていう。一生こうやって使われるのもいいけどな。あいつら集団だ集団だって言ってたけどな。俺らもめったに会わんけど、平田んちの七五三っていうとピッと集まるんだよな。おひな様とかいって。

――これからまた若い人たちを集めてやっていく計画はありますか。

つか　何がおもしろいんだ。今若いやつ。役者いろいろ探してるんだけど。若い、ギラギラしてるの見たいっていう。待ってるけどねえ。俺も時々芝居連れていかれるけど、途中出られんからなあ。辛いんだよ。拷問だよ。一度紀伊國屋で、ひとつって、俺はいやだからって言ったら、そう言わずって、いっちょう見てくれって、ひどいんだよ。一幕見たら帰ろうと思っていたら、受付がいて帰れねえんだよ。便所に隠れてたよ。逃がさねえぞって待ってんだよ。終わるまで便所に隠れて待ってたよ。つまりね。会話の摩擦熱が無いんだよ。だから引っ張り合いが、これからこのセリフに渡すっていう、とにかく俺のセリフを言おうっていう、言いたいこと言おうっていう、引っ張り合いみたいなものがあるね。それが大きな原因みたいなものがあるね。一見会話みたいに成り立ってるようにみえるけど会話じゃないよね。粋じゃないよね。それを求めて生きてるけどね。いろいろ探してるね。なんかそういう、やりたいっていう者がいればな。この舞台で我慢できるなあっていう、そういう人がいればなあ。そういう形で育っていくと俺は思ってたんだよ。このあとが、素舞台でバッーといくってのが、そうはいかなかったってのが、悲しがってるっていうかね。

つかこうへい

1948年4月24日福岡県生まれ。慶応義塾大学在学中、初めて戯曲を書く。その後早稲田大学の劇団にいた平田満、三浦洋一らと本格的に芝居を始める。「つかこうへい事務所」を設立、VAN99ホール、西武劇場を経て、紀伊國屋ホールに進出。『熱海殺人事件』で岸田國士戯曲賞を受賞。紀伊國屋ホールを拠点に活動し、口立ての芝居づくりと逆説的なストーリーが熱狂的なファンを生み、現在活躍中の若手演劇人にも大きな影響を与えた。82年11月、人気絶頂のさなか、突然休止宣言。『ソウル版熱海殺人事件』特別公演以外は、脚本・小説業に専念。89年1月、6年ぶりに話題の新作『今日子』をひっさげて舞台に復活。

演劇集団円特別公演

『今日子』作・演出つかこうへい

出演岸田今日子　三谷昇　北見敏之　山崎健二　塩見三省　木下浩之　立石涼子　麻生美衣　野口早苗　伊東みな子　他。

1月18日(木)新宿・紀伊國屋ホール

1月22日(日)～2月24日(金)シアターサンモール間円03・366・2576

THEATER INFORMATION

1月公演

1月5日(木)→22日(日)

カム・ブロー・ユア・ホーン

COME BLOW YOUR HORN

作 ニール・サイモン　訳 酒井洋子

演出 出口典雄

出演 矢崎滋・綾田俊樹・小林勝也・田根楽子・麻生美代子　西田絵里・土居裕子

料金5000円(全席指定)

劇団NLT＋博品館劇場提携公演

1月25日(水)→2月6日(月)

二・人・手・力

―ペレストロイカ万々歳―

作 メルヒオール・レンゲル　訳 黒田絵美子

演出 飯沢匡

出演 黒柳徹子　立川三貴　賀原夏子　他

料金5000円(全席指定)

2月公演

2月12日(日)→3月5日(日)

ミュージカル

麗しのサブリナ

作 サミュエル・テイラー

訳 永野剛

演出・振付 司このみ

出演 平みち　中山仁　西岡徳馬　他

料金5000円(全席指定)

3月公演

3月9日(木)→31日(金)

ミュージカル

シェルブールの雨傘

作 ジャック・ドミー

訳 倉橋健

演出 兼八善兼

出演 仙道敦子　荒川亮　他

料金5000円(全席指定)

前売開始1月14日(土)

お問い合せ　電話予約

571―1003

銀座8丁目

博品館劇場

〒104 東京都中央区銀座8-8-11

舞台とテレビのステキな関係

野田秀樹1年半ぶり新作／坂口安吾作品より／毬谷友子客演／京都南座進出／とやたら／をつけたくなる夢の遊眠社2月公演。でも一番の／は、松沢一之2年半ぶり舞台復帰／かも。その松沢さんと、劇団&テレビ仲間の山下容里枝さんが登場／意気込みを語る／です。

Photograph▶笹谷高弘　Construction▶庭植奈穂子

「贋作・桜の森の満開の下」　松沢一之・山下容里枝

テレビは役者さんにあがっちゃう。

――お二人ともテレビや映画出演が多いですが、舞台と比べてどうですか。

松沢　舞台とは違いますから、やってて面白いです。映像っていうものに僕はわりと向いてるみたいですね。

山下　松沢さんてね、瞬発力とか集中力があるからじゃないかな。舞台って一ヵ月も稽古するし、持続力がいるんだけど…。

松沢　あ、そうですね。長く続くと飽きちゃうっていうのかな、テレビはポンポン録っていくでしょ、アドリブみたいな瞬発力とか集中力っていうのが合ってるんでしょうね。

山下　私は、最初どのカメラで今録ってるのかとかわかんなくて、人の後ろに重なっちゃってたりしてたんですけど、どんどん慣れていくし、またどんどん新しいことがでてくるのが楽しいですよ。でも昔の自分のでた番組のビデオとか見ると恥ずかしい。何かヘンで。

松沢　役者さんにあがっちゃうんだよな。

山下　ホント、そうですよね。

松沢　今までテレビで見てた役者さん達と芝居するわけでしょ、それだけであがっちゃうんです。それにカメラであがっちゃうから全然ダメですよね。いかになじむかってのがテレビの世界では大切ですね。

――演技も変わりましたか。

松沢　変わってると思いますね。だいぶリアルになってると思います。だから今度の遊眠社では、そこがちょっと心配な部分ですね。

山下　きいたゾ、きいたゾ。(笑)

松沢　バカはできるけど、セリフに変に抑揚をつけたりとか無用なことができなくなってるんじゃないかな。

――遊眠社ではリアルさより、そこからどうはみ出すかが大切って感じですよね。

松沢　そうですね。やっぱりつくり方は違っちゃうと思いますね。それを僕がいかに野田さんに合わせるのか、それとも反発するのかわかりませんけど。今の段階では、わりと抵抗していこうかなと思ってますけどね。

――遊眠社の芝居を、出ずにお客さんとして見た時ってどう思いましたか。

山下　楽しそうだなって思いません?初めて休演して見にきた時、やってて楽しそうに見えて不思議だった。アンケートによく「入りたい」とか書いてあるんだけど、とっても気持ちわかっちゃった。松沢さんはもっとちゃんと芝居みてるんでしょ?

松沢　うん、けっこう客観的に見ちゃいますね。お客さんと舞台との調和とかね、客の立場からここはこうした方がいいなとか。あと役者を見て、ここがコイツの魅力なのかとかはっきりわかりますね。

――遊眠社への思い入れって強いですか。

松沢　やっぱり思い入れは強いですね。野田さんていうより遊眠社ってのに強いですね。遊眠社がなくなるなんてことがあったとしたら、かなり抵抗したりする方でしょうね。だからまた遊眠社に出るんですよね。僕が外でやってても、野田さんは僕が遊眠社をやめるとは思ってないと思うんですよ、それは信頼関係あると思うから。僕自身も遊眠社はずっと続けていくつもりでいますから。

――そういう思い入れの魅力は何でしょう。

山下　もちろん脚本にもあるけれど…。なんかみんな兄弟とか家族とか、そういう気持ちみたいのがありますね。

松沢　苦しいところってのがありますね。楽でしょ、外は。作品にもよって違うと思うけど、テレビとかは自分の実力を小出しにしていけばいいってところがあると思うんですよ。だけども、それじゃやっぱり不安なんです。遊眠社は逆にすごい苦しいところって思うんです、やってて辛いですからね。その苦しいところにいないとダメになっちゃうんじゃないかって。だからそこに戻って一からやるっていうか、そうじゃないと芸能界って流されやすいところですからこわくなっちゃうっていうの、ありますね。

山下　私は単純に遊眠社の雰囲気が好きなんですけど、でも今聞いててそういうところあるなって思います。すごい怒鳴られるし、こわいですよね。でも怒ってくれるっていうのがうれしいっていうか。その時は泣きたいんだけど、今そういう稽古のこと思い出すといいなぁって思ったりしますね。

松沢さんの天才ぶりが楽しみ!

――では2月公演の宣伝、意気込みを

山下　まだ台本も配役も何も決まってないんですけど(2/4現在)絶対面白くなると思う!だって松沢さんも出るんだから。私達みんな松沢さんの天才ぶりがまた見れるねって、稽古もすごい楽しみにしてるんだよ。

松沢　久しぶりの新作ですしね。僕自身は野田さんとの戦いだと思ってます。いかに自分がテレビや映画でやってきたことがプラスになっているか、やっぱり上手くなって帰ってきたなと言われるようにしたいですね。

山下　私はよく見られたいっていう気持を意識してやりたい。魅力的だとか、いい役者だって見られようっていうことを意識としてしっかりもってやりたい。

松沢　今言ったことって、テレビをやったことによってすごくわかるようになったことだと思うんですよ。舞台だけやってると、そういうことって思わないんですよ。そのとき自分が演じてる感情だけで動いちゃうから、前に前に行くってことしかないんですよね。でもテレビとかって後で客観的にみれますからね、一歩引いた部分で、自分をいかに魅力的にみせるかっていうことは、テレビや映画をやった人の方がわかりやすいと思いますね。

山下　うん。今まではきっと気持ちのどこかには、よく見られたいってのがあったと思うけど、ちゃんと意識したことはなかった。

松沢　特にウチは動くから、そういうこと思ってても忘れちゃうんですよ、客を楽しませるってことは頭にあるんですけど。自分を美しく、かっこよく、面白く見せるっていうようなことは、テレビって勉強になったよな!

山下　な!じゃなくて、ね!(笑)ホントにそうです。

松沢一之　'78年夢の遊眠社入団。同年「走れメルス」で初舞台以降、遊眠社の主要メンバーとして大活躍。'86年「小指の思い出」出演後、休団し、多数のテレビや映画に出演。ナンバーマンとして知っている人もいるかも…!?

山下容里枝　'85年夢の遊眠社入団。同年「彗星の使者」で初舞台。短いキャリアながら「走れメルス」の美蓉、「半神」のマリアなど大役もこなす有望株。テレビや映画出演も多く、最近は「結婚物語」、見てます。

「贋作・桜の森の満開の下」は野田さんが自ら生まれ変わりと称している坂口安吾の「桜の森の満開の下」と、「夜長姫と耳男」が下敷となります。どんなふうに遊眠社独特の世界に広がっていくのか、楽しみ楽しみ!

劇団夢の遊眠社公演「贋作・桜の森の満開の下」東京・日本青年館2月11日㈯～2月28日㈰　京都・南座3月3日～8日㈭　作・演出▲野田秀樹　出演▲野田秀樹　上杉祥三　段田安則　松澤一之　松浦佐知子　向井薫　山下容里枝　毬谷友子　他　劇団03・496・1051

これが噂の第四世代!!

今年の近鉄小劇場は、今話題の劇団をラインアップしました。

東京壱組
大漫才
3月4日(土)2:00/7:00・5日(日)2:00
前売／2,500円 当日／2,800円

花組芝居
かぶき座の怪人
3月18日(土)2:00/7:00・19日(日)2:00
前売／2,800円 当日／3,000円

5月 遊◉機械 全自動シアター

7月 善人会議

電話予約　近鉄劇場06-771-1009(10時～6時)
前売所　近鉄PG　ぴあ　セゾン　21　関西PG

UEHOMMACHI
近鉄小劇場
〒543 大阪市天王寺区上本町6-5-28

これは愛の物語で、私は愛の演出家

手塚治虫の火の鳥がミュージカルになる。ラストで観る者の胸に舞い降りるという火の鳥がどうやって現れるのかドキドキワクワク。だけどこれは秘密。そこで独自のミュージカル論をもつ演出の鈴木完一郎さんと主題歌も歌う主演女優の五十嵐いづみさんの登場です。

Construction▶日吉真仁　Photograph▶落合星文

「火の鳥」 五十嵐いづみ・鈴木完一郎

火の鳥はアニメの「火の鳥2772」をベースに、ドラマ性と人間を細かく出す為に、未来編と宇宙編をからませる。アンドロイドのイノリ（五十嵐いづみ）と健康的な青年マサト（沖田浩之）の人間と機械との恋愛をポジティブに描き、権力志向を持った大人、ロック（隆大介）とレナ（岡本舞）の夫婦愛（これは現在の我々に通じる愛）、それが壊れていく過程をネガティブに描き出し、それと地球の崩壊が同じ進行を辿ってラストの火の鳥の登場へと展開していく。生物的な要求が満たされていくところで愛はどうなるのかという壮大な物語だ。

ブロードウェイで圧倒された

――演出家と初めて会った時の印象を？

いづみ　印象と言われましても、パッと見た印象ですか？。何か本人を目の前にして……。（意を決して）恐そうな方だなと（笑）。

鈴木　（すかさず言いかえて）優しくて親切な人だとそう思いました（笑）。

いづみ　ハイッ。ハハッ。

鈴木　僕は優しいですよ。これは愛の演劇で僕は愛の演出家（笑）。

――五十嵐いづみさんのどういう面を引き出そうと思っていますか？

鈴木　まず映像と舞台の演技は全く違うからそれが大変かなって。今までも何度かテレビの世界の人達とやってきた。テレビはカメラがあって、ある角度があって見られる。舞台の演技は自分でお客さんに今ロングですよ、今アップですよって決めなけりゃいけないから、映像屋さんの監督は我々はできないわけよね。そのかわり俳優は面白いものは自分で出来るからね、ディレクターでもあるわけ。それを作り出すのが大変だって気がする。それと色んなパターンの芝居があるから、その中でこの芝居はどのスタイルの芝居かなってね。かなり今度の芝居の作り方はオーソドックスだと思う。そのスタイルで演技することが映像とは100パーセント違うことだよね。

いづみ　うん。全然違うと思います。初めてだし、皆さんに迷惑をかけるかもしれない。でもそんなこと言ってたらキリがないわけで――。

鈴木　テレビと舞台の両方で活躍してる人の芝居を大劇場へ行って見ると良い。そうすると舞台演技とテレビ演技の違いが具体的にわかる。かなり器用な人でもテレビばっかりやってると舞台がダメでその逆もあるしね。

いづみ　（ハイッ、ハイッと真剣に聞き入る）

――アンドロイドを演じるわけですが、今の段階でのプランありますか？

いづみ　マサトが気付かないくらい人間なんだから、そうアンドロイド、アンドロイド、しなくてもいいと思ってます。

鈴木　うん。だから自分の感情ってものが自分の中で分析できるわけね。分析できて割り切れないものがだんだん大きくなってくるってことなんだよね。

――初舞台の緊張感とか楽しみは？

いづみ　良い意味で緊張は目一杯してます。ブロードウェイで3本ミュージカル見てきたんです。何か圧倒されちゃって凄いなって、とにかく口をポカーンと開けて帰ってきた感じ。それでも凄い印象に残ったものと、一日くらいの余韻で忘れちゃったのとあったから、いつまでもお客さんの頭に残るようなものにしたいです。

火の鳥の登場は秘密

――火の鳥をミュージカルにしたってのは？

鈴木　俺のミュージカル論みたいのがあってね。基本的には演劇なんだよね。演劇の人間が生きてるリズムがね。メロディとかコミュニケートされる言葉が様式化されて音楽になる。動きが様式化されると舞踊になる。人間の生きてるリズムをベースにしてるから、ブロードウェイミュージカルと考えない方がいいと思う。アメリカ人の持ってるリズムと我々のリズムは違うから、全く違うものになるだろうという気がする。音楽も、自分の母親の子守唄とモーツアルトとどっちが好きかと問われたら、子守唄の方が良いと俺は思っちゃう。だから最終的にその人が持ってる生きてるリズムみたいなものが様式化できるか、そしてその様式化したものが、それがミュージカルだとそういうふうに考えている。

――歌とか踊りとかかなり厳しくいきます？

鈴木　さっき色んなスタイルがあるって言った。変化球ばかりのお飾り演劇が多いけど、今回はストレート（剛速球）でいこうと思ってる。そういう意味では彼女だけじゃなくて皆大変。つまんないギャグとかいれない。千住さん（音楽担当）とも話したんだけどね、ロックってなってるけどクラシカルなものになると思う。ストレートでいった方が火の鳥のテーマができそうな気がする。

――火の鳥の登場はどうなりますか？

鈴木　それを言ったらまずいって言うからね。

いづみ　アハハッ。

鈴木　ヒントを与えておくと劇場ってのは観客の頭の中にある、100人のお客の中に、100の劇場がある。100人の一人一人の頭の中にスーと入ってくことを考えて火の鳥はラストに出てくる。あとコロスね、コロスがいなくなっちゃうわけだから、それで考えていくと……。宇宙の飛行士がポツンと恐怖を感じるってあるじゃない。何かがあるってことと何かがない、そこらへんがわかってれば火の鳥が出てくる場所はわかる。少年が恋するような気持ちよ。

いづみ　私も友達に凄い火の鳥が出てくるんだってねとか、自分の役のことより火の鳥のことばかり聞かれる（笑）。

――見終った後、観客はどういう気持ちに？

鈴木　東京が汚なく見えればいいんじゃない。生きてる自分が汚なく見えて、でも本当は自分が凄く尊いもんだと、そういう気持ちになってくれればいいなと思う。

五十嵐いづみ　映画「ピーバップハイスクール3」の如月翔子役でデビュー。TV「少女コマンドーIZUMI」で主演。「ニューヨーク恋物語」が放映中。今回が初舞台の20歳。レコード火の鳥の愛のテーマ「COSMOS」が2月1日発売予定。

鈴木完一郎　演出家。80年青年座「ほとときす、ほとときす」の演出で芸術祭演劇部門大賞受賞。83年小松原庸子スペイン舞踊団公演「ゴヤ」の構成演出で芸術祭舞踊部門大賞。最近作に「ダンスはうまく踊れない」がある。

「火の鳥」　手塚治虫のライフワークともいうべき大河漫画を、アニメ版「火の鳥2772」をベースに未来編、宇宙編をまとめてミュージカル化。人間とアンドロイドの恋愛を基軸に2組の男女が火の鳥の力を借りて地球を破滅から救う。

スペース・ゼロ　オープニング記念公演「火の鳥」2月8日㈭～28日㈰　原作▼手塚治虫　脚本・演出▼鈴木完一郎　出演▼沖田浩之　五十嵐いづみ　湯浅実　久世龍之介　岡本舞　隆大介　問03・379・8945

アクト青山
ドラマティック・スクール

生徒募集

桐朋・日芸・玉川等の演劇科へ
進学を希望する高校生のために
受験の予備訓練をする
『特別演技基礎教室』
OBの在校生を交えての
『進学・進路相談』

授業内容

発音・発声の基礎から、セリフ、動きの自在性、パント・マイム、面接、作文、小論文などの表現力を養います。希望により個人教授も行なっています。
毎週月、水・土（18時～20時）
日曜日（11時～14時）
講師　渥美國泰（アクト青山主宰・俳優）

学　費

入会金 ―――― 50,000円
月　謝 ―――― 20,000円
※高校生以外の方の受講にも応じています。

03-300-5888
まず電話で御相談下さい。

アクト青山　ドラマティック・スクール
〒157 東京都世田谷区北烏山7－5－9
TEL03(300)5888（京王線　千歳烏山下車）

羽化する歴史の迷宮ロマン

上杉祥三プロデュース・チーム
赤穂浪士―昆虫になれなかったファーブルの数学的帰納法―

迷路の入り口は夜明けの吉良邸。四十七士の迷宮の扉は砂時計を手にした推理作家アガサ・クリスティによって開かれた。砂時計を横に倒すと見えてくるのは迷路の抜け道。蝶になりたかった毛虫の赤垣源蔵は、虫とり網をもつファーブルという名の蛹になり、ついに幻の蛾オオミズアオとなって時空を超えた迷宮内を飛翔する。思い出そうよ、だれもが勇敢な少年だった時を。迷路の出口は母さんにくるまれた少年の臭い。母さんの民話だ…。

きりがやなおみ

〔DATA〕
作▶野田秀樹　演出▶上杉祥三
12月14日～30日⊙本多劇場
出演▶円城寺あや　羽場裕一　浅野和之　ほか

Photographs▶笹谷高弘

―演劇・舞踊・テレビ・余興―
―イベント・ショー・フェスティバル・学園祭―

創業明治五年小道具づくり一一五年

藤浪小道具株式会社

〒111　東京都台東区浅草6―2―6　TEL03（874）5171（代表）

企画・製作から小道具のアドバイスまで催しもののことなら

株式会社藤浪アート・センター

（国内、海外どこでも注文に応じます。）

舞台デビューのすすめ'89

はじめの一歩

Part 1

いままで観客として憧れていた世界に、
どうしても直接入っていきたい、行動してみたい。
そんなあなたに一番大切なのは、はじめの一歩。
目標に向かって歩きはじめるためのはじめの一歩。

「赤穂浪士」稽古場11月19日
青物横丁の青春野郎たち

文・写真きりがやなおみ

上杉祥三初演出の『赤穂浪士』の若き精鋭たちは、青物横丁に結集していた。討ち入りまであと25日…彼らの稽古は真剣勝負だった。

京浜急行の青物横丁という、なんだか市場みたいな名前の駅にある、『赤穂浪士』の稽古場に向う私は嬉しかった。演出家上杉祥三とその仲間たちに会えるうれしさはもちろんだけれど、私のバッグの中には前からほしくてたまらなかった、買ったばかりのニコンの一眼レフのカメラが入っていたのだ。上杉祥三プロデュースチームの星川さんは、私が撮る稽古場の写真がほしいという。「買ったばかりのカメラだからうまく撮れるかどうか…」と笑ってみたが、このカメラで写した写真の現像したものをまだ見たことがないほど買ったばかりだなんて、言わない方がいいんだろうな、こういう場合。そんな重大な使命をせおって期待と不安におののく私に、夢の遊眠社の羽場さんが、「取材したり写真撮ったり、ひとりで何でもやっちゃうんですねー、スゴイですねー」とプレッシャーをかけてくれて、稽古場取材は始まった。

●

広い倉庫の2階の稽古場に結集した『赤穂浪士』の精鋭たちはみんな若くて初初しい！忌野清志郎のサン・トワ・マミーが流れて、ストレッチ体操が始まった。

●

●上杉さんは体操しないんですか？

上杉 きょうは演出ですから。

●日によってわけているんですか。

上杉 本当は体操したいんだけどね、今からやるところの演出プランを考えたくて……

●初めての演出はどうですか。

上杉 たいへんかなとも思っていたんですけど楽しいです。あのね、僕もそんなに器用な方じゃないんだけど、不器用な役者がだんだん上手になっていくのを見るのがね、僕が言ったアドバイスでパッとよくなるのを見るのは、自分がよくなるようでうれしいです。

●

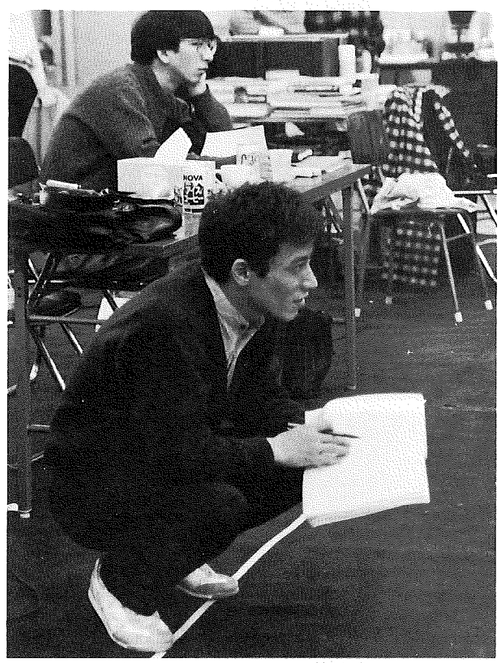
ストレッチのあと、上杉さんがこのあいだ行ったニューヨークで仕入れてきたボクシングのトレーニングが始まる。シャドウボクシング3分ずつのこのトレーニングは、体のキレとフットワークにたいへんよいと見たぞ！ニューヨークのボクシングジムで、ボクサーとスパーリングをしたり、トレーナーについていた本場じこみの上杉さんの見本は、他の人とひとあじちがう。

●

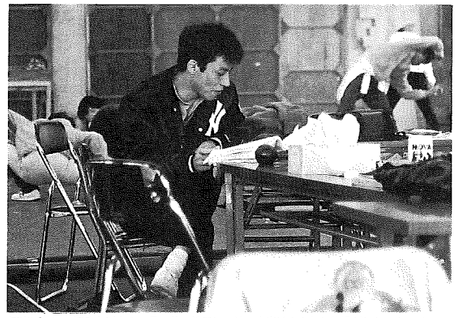
誰からともなく「おおー、おおー」と発声練習が始まった。やがてそれはひとつの歌になる。

「おおきなぁ　空に　はしごをかけてぇー
でっかい太陽　両手でつかもう～」

『これが青春だ！』をうたいながら、タヌキのぬいぐるみをボールのかわりにして、ラグビーのシーンの立ち稽古へと突入していく青春野郎たちだった。



※演出に熱が入り、思わずうんこ座りになってしまった。



演出プランを練る上杉さん。目の前の鉄アレーは、本当はみんなと体操がしたいよー！のあらわれかな。

ストレッチ体操のあと、上杉さんがこのあいだ行ったニューヨークで仕入れてきたボクシングのトレーニングが始まる。シャドウボクシング3分ずつのこのトレーニングは、体のキレとフットワークにたいへんよいと見たぞ！ニューヨークのボクシングジムで、ボクサーとスパーリングをしたり、トレーナーについていた本場じこみの上杉さんの見本は、他の人とひとあじちがう。

●

誰からともなく「おおー、おおー」と発声練習が始まった。やがてそれはひとつの歌になる。

「おおきなぁ　空に　はしごをかけてぇー
でっかい太陽　両手でつかもう～」

『これが青春だ！』をうたいながら、タヌキのぬいぐるみをボールのかわりにして、ラグビーのシーンの立ち稽古へと突入していく青春野郎たちだった。

●

上杉さんが「やるぞ！」って言って集まったメンバーがみんなでひとつになって稽古している姿は、何か青春映画みたいでなかなかドラマチックだ。監督はやっぱり上杉さんだろうか。

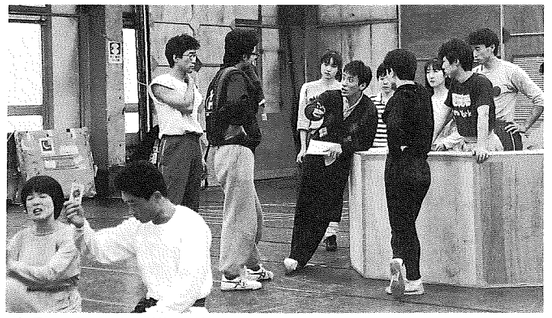
上杉 「この指とまれ！っていう感じで、やりたい人がきたからね、みんなとっても自主的にやるし、僕もふくめていい勉強してると思う。正直言ってみんなセミプロだと思うんですよね。その人たちがサナギから蝶になろうとしている瞬間だから…。そういう時の方がいいんだ、役者は。この芝居が終ったらみんなグッと成長するんじゃないかなってすごく感じる。僕も初めて演出やるし、みんなも今までやってきた役より大きい役をもらっている人がほとんどだから、そういう上昇志向のしっかりパッと焦点があったところを見てもらいたいですね」

●

帰ろうとすると、みんなで声をそろえて、ものすごく元気な「オツカレサマデシタ！」それぞれ思い思いの場所で休憩していたのになんであんなにみんなのタイミングがピッタリあっていたのか不思議だった。きっと彼らは上杉さんが言ったとおり、パッと焦点があった『赤穂浪士』を見せてくれるだろう。

私の撮った稽古場写真もパッと焦点があっていた……らいいんだけど。

●



どーでしょ、このみんなの真剣なマナザシ！

Heroine Version

Q&Aフォーラム

ヒロイン
私たちのプレ・デビュー

ヒロインたちはどこからやって来た？　養成所から研究所から、大学から。
というわけで、今、注目の女優さんたちに聞いてみた修業時代。
なつかしいあの頃、あの場所へ、もう一回戻ってみてもらいました。

初舞台は四谷怪談のお岩。でも主役じゃなかったんです。

Text▶日吉真仁

とうきょういちくみ
東京壱組
余　貴美子　よう きみこ

'77年自由劇場に入る。「もっと泣いてよフラッパー」等出演多数。「上海バンスキング」のリリー役が印象深い。'85年自由劇場の同期生達と東京壱組結成。「壱組は自分達が噛みしめてやるから上演作品みんな好きです」と言う、美貌の看板女優。

六本木・クローバー。自由劇場時代、大事な人と会う時に、ここに来てた。自由劇場を辞めた直後、作家の原田宗典さんと初めて会ったのもここ。ちなみにコーヒー800円でした。

——友人が自由劇場を受けるとき一緒になんとなく受けたのがキッカケで、今があるそうですが、入団試験のことを。

余 本を読んでセリフを言ってパントマイム。私には魚になってくださいという問題で、入団希望者全員が見てるまえでやるんです。自由劇場では大勢の人が辞めた後なんで、あまり色に染まってなくて、串田和美さんや吉田日出子さんが教えやすい人をって感じだったのかな。私より上手な人が一杯いたんだけど受かっちゃいました。

——劇団員になったのは？

余 5年ほど経ってからですね。自動的になるんじゃなくて、何年かしてこの人は一緒にやれるかという査定みたいなものがあるんです。集団でやってくには、技術的なものよりメンタルなものを重視して大切にしてた。

——初舞台は？

余 人がいませんでしたから、うまいヘタ、セリフがあるなしにかかわらず、すぐ舞台に立てました。四谷怪談のお岩の役です。

——主役じゃないですか！

余 ところがお神を中心に書きかえたものですから、吉田日出子さんが主役(笑)。

——緊張しました？

余 いや、その頃は吉田さんとか串田さんにさんざん言われてましたからね。技術なんてものはひとかけらもなかったから、テンションと勢いといかにキレイにメイクするか、人よりいかに背を高く見せるか、そういうことしか考えてなかった(笑)。私はいつも劇団の人と意見が違ってて、商業演劇を見て感動してしまうの。「屋根の上のバイオリン弾き」を一人でこっそり見に行って、帰ってくると皆にバカにされるんです(笑)。

——どういう研究生でしたか。

余 謙虚でいたいと思うんですけど、傲慢な女だった(笑)。人には言いませんけど、気持ちは自分が一番みたいな。

現在所属する東京壱組は入団した者にあれこれ教えるシステムをとっていない。電話で入りたいといえば、劇団の雰囲気をわかってもらうために、とりあえず芝居の裏方で一本ついてもらう。その後に、役がつくかどうかはわからない。ある意味で厳しい。

——壱組へ入りたいという人に何か？

余 劇団スタッフもやらなきゃいけないところがある。役者は良いスタッフになる必要はないけど、(役者として)出来る人が良いスタッフなんです。役者としてやってほしいことがわかれば役者中心の発想ができる。自分が使うんじゃなくても、小道具に愛情がないと違うみたい。自由劇場へ入りたての頃は、人の小道具を作るのがヘタだった。

——今の自分と昔とで変ったなというところ。

余 自由劇場にいた時より、ものを見たり、人の話を真剣に聞くようになりましたね。社会情勢とか街のこととか。

——お父さんが中国人でお母さんが日本人だそうですが、言葉の面などどうですか。

余 うちの家族は中国訛りがあって、私は完璧な日本語だけど、一緒にしゃべってるとちょっとおかしい。少し訛るんです。自由劇場時代にアンケートで日本語うまくなりましたねって(笑)。なんだこれは、私はよほどセリフがヘタだなって思いました。今でもセリフ凄くヘタなんです。うちの劇団、関西人が多いんです。新喜劇とか見に行くと藤山寛美さんなんて、今、セリフを創ったかのようにしゃべる。泣いてないと思っても、内容わかってても感動しちゃう。ああいうふうになりたいと皆で思ってるんです。

——どうしたらそうなれます？

余 練習でしょう。そうでも言わなきゃ、不可能なことになっちゃう。

——自由劇場時代のエピソードを。

余 私は自分のことは全部忘れることにしてるけど、他人のことはよく覚えてる(笑)。本当に貧乏だったんです。カレーパン一個をとりあって大人が喧嘩したりとか(笑)。今も芝居を一緒にやってる斎藤って福島出身のヤツが吉野屋で牛丼食べ終ったらタバコのセロファンをとってそれに紅しょうがをつめだして、おかずに持ってくの(笑)。お金払わずに出てったりね。舞台で貧乏な話は最近受けないんですけど、即興で何か作ろうとすると長屋物語とかね(笑)。どうして私達はそういう話しか発想できないんだって。でも、今の劇団で長屋なんて着想しないから、やったら受けるかもねなんて話してる。10年間、自由劇場でつちかわれた貧乏の蓄積が皆をそうさせたんでしょうか(笑)。

「おかあさん、東大だよ！」って言って許してもらいました。

MODE（旧ちかまつ芝居）
篠倉伸子 しのくら のぶこ

「ちかまつ芝居」は'89年より名前を「MODE」と改めました。これからもよろしく！

高校卒業と同時に文学座の研究所に入り、数ある難関を乗り越え6年後正式の座員となる。「貴民倶楽部」、「NINAGAWAマクベス」などに出演、現在も文学座に所属してる傍ら、「ちかまつ芝居」をはじめ、その他の外部公演に参加している。

Text▶佐々木秀隆

Q & A

①小さい頃、なりたかったものは？
●外交官。お金持ちになれそうな気がしたから。
②憧れていた女優さんは？
●山田五十鈴、ビビアン・リー、ローレン・バコール、今、ロックの映画（Aサイン・デイズ）を撮るんで、ロックぽい本を読んでるからジャニス・ジョプリンが好きなの。
③俳優になるのに大事だと思うこと。
●健康な体。それは重要なことですね。
④俳優になるときに障害になったことはありましたか。またそれをどうやって克服しましたか？
●障害は別になかった。ただ自分で演ってるのに、体が思う通りに動かない。今でも直ってません。
⑤俳優でいることでとても素敵だと思うこと。
●いろんな気分になれること。一昨日も、テレビの仕事でレイプシーンを撮ったけど撮影している時には、こういう役が多いなぁなんて思ってる。
⑥気分転換はおもになにをしますか？
●走る。短距離の選手だったから。あとは友達と金魚屋へいく（笑）。
⑦さいしれ、お花とお菓子とお酒、どれが嬉しいですか？
●なんでも嬉しい。友達には現金がいいなんて言ってますけど（笑）。お酒飲みながら、甘いものもからいものもどんどん食べちゃう。

——文学座の研究所を受けたのは。
篠倉 高校の頃から役者にはなりたいと思ってたんだけど、親にそんなこと言ったらばかにされるに決まってると思って、ひたかくしに隠してたんです。それで、短大だったら親も許してくれると思って、桐朋学園を受けたんです。結局二次でおっこっちゃったんですけど、そのとき桐朋学園を受けてた人たちに他にどこを受けるか聞いてみたら、みんな文学座を受けるって言うんです。だから、文学座っていうのはいいんじゃないかと思って、演劇雑誌を見たら「演劇学校の東大だ」って書いてあったんです。これは親を説得できると、「おかあさん、東大だよ」って言えば許してもらえるんじゃないかと思って、それで文学座を受けたんです。
——研究所は一年間ですか。
篠倉 そうです。それを終了すると査定というのがあって、60人中、10人ぐらいが研修生として残れるんです。それが二年間あって、そのあと査定があって準座員というのがまた二年あるんです。で、また査定があって、やっと座員です。初めての入所式のときにものすごい量の台本をもらったんですよ「すごいな、これ全部勉強するのかー」と思いましたもん。
——どんな生活でした？ 徒
篠倉 すっごい真面目でした。私、何にも知らなかったんです。演劇雑誌も読んだことないし、舞台も観たことなかったし、だから、目新しくてしょうがなかったですね。だから、遊びに行くより、芝居の話をしたり、稽古をしたり、人の稽古を見たりする方が好きだった。私は18だったけど、サラリーマンをやめてきた人もいれば、いろんな劇団を経過してきた人もいるし、一番上が29歳とかでね、年齢の幅があるでしょ。だから、刺激がすごく強かったですね。楽しかったです。
——何かたいへんだったことは。
篠倉 声がでなかったんです。もー、蚊のなくような声しか出なかったんです。2回目ぐらいの発表会のときに、お母さんに食って掛かる役だったんですね、そしたら急に声が出るようになってきて、それ以降大きな声を出せばいいってもんじゃないっていうくらい大きな声が出るようになったです（笑）。
——それだって、稽古したから出るようになったんでしょ？
篠倉 そうですね。ただ、うちは発声練習とかあんまりやらないんですよ。だから、どうやったら声が大きくなるのかわからないんだけど、稽古をしてるうちに出るようになるんですよね。
——今は「ちかまつ芝居」に参加してるわけですよね。
篠倉 ていうか、文学座にいて外部公演というかたちで出てるんです。
——「ちかまつ芝居」でやってみてどうですか？
篠倉 いろんなことをやりたいと思ってたんで、今はとっても楽しいです。文学座は縦の関係っていうのがありますけど、「ちかまつ芝居」の場合はみんな同じレベルに立って、たとえば、「へたな演技だけど面白いね」みたいにみんなで認めるというのが、もしかしたら面白いんじゃないかと思ってるんですけどね。こんなこと言ったら文学座を首になっちゃうかな（笑）。

今もお世話になってる文学座の玄関そばで。左へ行くと研究所です。

インタビュー後記
「闘牛士のように格好よく、バレエダンサーのように身は軽く、ボクサーのように身体は動く」と言ったローレンス・オリビエの言葉が、いたく気にいっている金貴美子はとにかく美しい。それもしなやかな美しさをかもしだす女優という言葉がぴったりの人でした。昨年9月からかっぽれや三味線などの芸事の練習をしている2月末の「大浸才」。期待できそうです。

▼次回公演
改訂版「大浸才」
2月25日～3月1日　下北沢本多劇場
3月4日～5日　大阪近鉄小劇場
3月10日～12日　横浜相鉄本多劇場

養成所は気の合った仲間と芝居するまでの勉強の場！

キャラメルボックス
大森美紀子 おおもり みきこ

「円」の研究所時代から「サラリーマン新劇帆船」に在籍。'85年念願叶って成井豊らと演劇集団キャラメルボックスを結成。地図屋と銀ライオンで旗上げ。冒険好きな男の子つぽい主人公つなみ役でスタート。

Text▶やぎひさえ

——円の演劇研究所に入る前は芝居をやってたんですか？
大森 大学の4年間、早稲田大学の劇団「てあとろ'50」で成井とかといっしょにやってたんです。私、大学は玉川学園だったんですけど、一時間以上もかけて、早稲田に4年間かよってました（笑）。
——それで大学を卒業してから、研究所に入ったんですか？
大森 そうなんです。とにかく芝居をしたいなあって思ってて、大きな劇団とか言うんじゃなくて、気の合った仲間と劇団をつくってやりたいなあって気持ちが、ずーっと前からあって。まあ、それが私の夢だったんですね。本当はね、大学4年の時に、今の演出の成井なんかと旗上げしたいという気持ばあったんですけど、成井はいちおう教員になるからって言って。でもいつか絶対芝居はやるって言ってたんで、それを信じて待とうと。じゃあその間、私はお芝居の勉強をして、「私がいるから大丈夫よ」って言えるくらいうまくなれたらいいなぁって……（笑）。その時、芝居の基本はやっぱり新劇じゃないかと思って、新劇の養成所に行こうと思ったんです。
——オーディションは円の研究所だけ受けたんですか？
大森 いいえ、えーと、文学座と昴とシノザキシステムスタジオ。その4つです。文学座以外は全部受かったんですけど、その中では、円が一番いいような気がして。
——その頃で何人ぐらい生徒がいたんですか？
大森 昼間部と夜間部と合わせて60人ぐらいかな……。あんまりおぼえてないんですけど。私は昼間部だったんです。昼間の方がいろいろやるからいいかなと思って決めました。
——実技以外にも、いろいろダンスの授業とかやったんですか？
大森 やりました。ダンスと日舞とミームと声楽とあとは実技。
——肉体訓練とかは。
大森 肉体訓練は「てあとろ'50」の方がきつかった。でも、ダンスとか日舞とかミームは体にきますね。やっぱり芝居は"足腰"なんだなあって実感しましたね（笑）。
——自分でどんな生徒だったと思いますか？
大森 元気で天真爛漫って感じでしたね。普通、新劇の養成所の女の子って、髪は長くて女らしく、「私、女優を目指してます！」って感じの人が多いでしょ。その中でかなり浮いてました。その頃、髪の毛も短かったしね。
——授業は楽しかったですか。
大森 すっごく楽しかったです。今までやったことないような芝居をやるんでね。古いセリフをしゃべったりとか、着物を着て芝居をやったりとか…。それに教えてくれる人が、学生の時は年上って言っても3つ4つ上ぐらいでしょ。でも養成所の先生方はかなり上だったんで、それなりにすごく迫力があって一言一言全部メモしておかなきゃって感じでした。一日一つは「なるほどねえ」ってうなずけることがあって、毎日すっごく新鮮で楽しかったです。
——じゃあ、逆に大変だったこととか辛かったこととかは。
大森 うーん……。芝居をやること自体大変なことだから。この役はどうしようとか、そういうことはあったけど。でもやっぱり毎日楽しかった。

Q & A

①小さい頃、なりたかったものは？
●幼稚園の頃のお誕生日カードみたいなのには、お姫様になりたいって書いてあるんです。その頃、何とかごっこっていう遊びがはやってて、その時は、"お姫様ごっこ"が一番好きだったんでしょうね。
②憧れていた女優さんは？
●うーん。好きな人ならいっぱいいるんだけど……。夢の遊眠社の円城寺あやさんかな。初めて遊眠社を駒場小劇場で観た時、何だかわからなかったけど、「すごい!!」って思っちゃって、口がきけなかったんです。あと渡辺美佐子さん。一人芝居の「化粧」を観た時、寒いわけでもないのに鳥肌がぶわーって。すごかったです。という理由からこの二人かな。
③俳優になるのに大事だと思うこと。
●うーん。これも難かしいなあ……。感受性とか集中力とか。やっぱりお芝居が好きなこと。
④俳優になるときに障害になったことはありましたか。またそれをどうやって克服しましたか？
●とくにすごい障害はないですね。OLやってる友達とかにあんまり会えないことかな。休日にもケイコがあったりするから、まるで時間帯が違って会えなくなっちゃうんですよね。でも別にこんなの障害でも何でもないですね。いい環境です。
⑤俳優でいることでとても素敵だと思うこと。
●舞台に立って芝居をするってこと自体が、私は素敵だと思うな。それと何かを目指してるってことかな。あとお客様から拍手をもらう時。これがすごくうれしい。
⑥気分転換はおもになにをしますか？
●歌を歌う（笑）。むしゃくしゃする時とかは、大声でRC（サクセション）とか歌うと、スッキリしちゃうんです。
⑦さいしれ、お花とお菓子とお酒、どれが嬉しいですか？
●お花とおだんご！

インタビュー後記
初めて会ったのに昔からのお友達としゃべってるみたいで、なんだかインタビューというより雑談になってしまった。「人に言えない暗い過去」や「最近観た芝居の話」で盛り上がり、あっという間に夕方に…。目の前にいる大森さんは舞台の上とちっとも変わりなく明るく元気いっぱいの女の子（？）でした。

▼次回公演
ハーフタイムシアター「銀河旋律」
2月28日～3月5日
新宿シアターモリエール

テアトル・エコー
附属養成所

そのままの君でいいんだ！

テアトル・エコーは創立以来30年
一貫して喜劇を上演しつづけてきました
そして、劇団員はTV・映画で大活躍——
テアトル・エコーは、いま
若いエネルギーを求めています！

'89年度
第15期本科（演技 演出）生
募集！
第14期専科生（上級コース）
◉応募方法　所定の願書にて応募
（願書は60円切手10枚を同封の上、下記に申し込むこと）
◆試験日3月18日(土)／4月8日(土)

テアトル・エコー
附属養成所
〒150
東京都渋谷区恵比寿南
1-20-3
TEL 03(719)9281

蜷川さんが「良かったよ」って。今のところ、あれっきりです。

蜷川スタジオ
松田かおり　まつだ かおり

ヒエー！　六甲おろしで寒い。楽屋入りの時間に重なって、みんなに笑われながらもハイ、ポーズ。
（2Fに「新神戸オリエンタル劇場」のある前で）
Photograph▶岸田 淳

'83年日大芸術学部演劇科入学。あの加納幸和事務所「後・花組芝居」の「新・桜姫」に参加。篠井英介は弱りの師匠。新神戸オリエンタル劇場の柿落とし「仮名手本忠臣蔵」では、力弥のいいなずけ小浪役で大奮闘。

——蜷川スタジオに入られたきっかけは？

松田　私が一生懸命やってみせたものを、蜷川さんだったら何て言うんだろう。あの当時、今もですけど遠い人でしょう、世界の蜷川って。私はまだ一介の学生だし。未だに最初で、最後ですよ、蜷川さんが私の芝居を見て、ニッコリ笑って、「良かったよ」。それしか言われなかったんですけど、「ぼめられちゃった！」って。今のところあれっきりですね（笑）。

——オーディションの内容を。

松田　与えられた課題は、チェホフ「三人姉妹」のイリーナと、つかこうへい「ストリッパー物語」のあけみの長台詞でどちらかを表現すればいいんです。自由なんですよ。とにかく台詞を歌ってもよし、踊ってもよし、装置を使いたければ、全部持ち込んでよし、何をやってもいいんです、その台詞を表現できれば。私は、ちょうどその頃、大学の卒業制作公演が「三人姉妹」だったんでね。イリーナの役じゃなかったんですけれど、やりたいっていう気持ちあって。衣裳もつけて、すごく単純にやったんですけど。

——蜷川スタジオならではのユニークなところを。

松田　授業みたいなものは全くなくって。私達が自分で戯曲を読んで、「この戯曲のこの役をやりたいと思います」っていうと、蜷川さんから人によっては、「お前に向かないから、ちょっと考えさせてくれ」って指摘される。OKがでると、さっきのオーディションと似たようなものなんですけれど、自分なりにそれを表現すればいいんです。それを私達はエチュードといって稽古して、何本かまとめて、蜷川さんに見てもらうんです。出来が悪けりゃもう一回、同じ作品をやり直すとか、良ければ次の課題はこうだねって。私達が声をかければ、蜷川さんはいつでも見てくれるし、聞いてくれる。向こうから、いついつどこでみてやるとかいうのは絶対ない。電話をかけようが手紙を書こうが、何度でも行っただけ、そういう誠意に応えてくれる。そのかわり、甘えて、なんにもやんないでいると、お前何もしないのかって、やめさせられちゃう（笑）。

——配役は、オーディションで決められるんですか？

松田　戯曲が決定して、みんなに配られるでしょう。約一週間後のオーディション日に、自分達で勝手にやりたい役を、一人でやっても誰かと一緒にやってもいい。私のこの役っていうのが表現できればいいわけですから。

——自分でつかんでいく感じですね。

松田　台詞だけ言えばいいとか、感情が入ればいいんじゃなくて、なんでそういう感情になったのか、ちゃんと説得性がないとね。蜷川さんは、役者であった演出家ですから、役者にも演出的なものを求めるんです。それこそジャージ姿で出てきて、いくら感情移入して、いくら上手にできても、そんなんじゃダメでしょうね。視覚的、音楽的なものを使って、より一本の芝居のように演じないとね。

——初舞台の「虹のバクテリア」でヒロインの虹子役を射止められたきっかけは？

松田　機関銃を持ってしまったということでしょうか（笑）。戯曲には、キの字もなかったんですけれど、何か持ちたかったんですね。オーディションの時に、機関銃は用意できなかったので、ピストルを持ってやったんです。どうせ使うんだったら、機関銃の方がいいなって言われて、私もそう思いますって。

——今までの公演でのエピソードがあれば。

松田　「ギプス」は、壁画の修復作業に携わる人の話で、作業員がロープをつたって上から降りてくるのが幕開きだったんです。みんなが降りてくるのに、私の台詞で芝居が始まるのに、ロープが降りなくって、宙づりになっちゃったんです。結局しょうがないから、這い上がって、走って下から出たんですよ（笑）。終わってから、謝りにいったら、蜷川さん、もう目が、テンになってんの（笑）。

——蜷川さんに教えられたことで、今でもモットーとしていることを。

松田　蜷川さんが、もと役者だったということは、私にとって、ものすごく頼りがいがある。めちゃくちゃに言われて、どうしていいのかわかんなくなった時に、聞きに行くのって、すごく恐い。そんな時に、この人も、もと役者だったんだなと思うと勇気がわく。どんなに恥ずかしい目にあっても、それは恥ずかしくないんだってすごく素直になれる。そういう苦労話を、蜷川さんはしょっちゅうなさって、「俺も、役者だった。才能のない奴は努力するしかない」とロぐせのように言われるんです。それを恐がっちゃいけないんだな、恐いってよく思うけど……。

Q & A

①小さい頃、なりたかったものは？
●それがね、女優さん。じゃなければ、バレリーナか、歌手。

②憧れていた女優さんは？
●大竹しのぶさん。パワフルというのか、キラキラしている時ってスゴクきれい。

③俳優になるのに大事だと思うこと。
●「才能のない奴は努力する」っていうこと。

④俳優になるときに障害になったことはありましたか。またそれをどうやって克服しましたか？
●体がちょっと弱いんで、7月から8月、体をこわして実家で休養してたんですね。私なんかやめちゃえばいいんだわって思ってたんです。そこに、今回の「仮名手本忠臣蔵」に出てみないかって。じゃ、これが最後のつもりでやってみて、それでもやりたかったら、続けようと。

⑤俳優でいることでとても素敵だと思うこと。
●精一杯、生きれるでしょう。舞台って非日常が描かれていますから。

⑥気分転換はおもになにをしますか？
●おいしいモン食べて、ボーッとしてます。喫茶店へ行くのが好きなんです。

⑦さしいれ、お花とお菓子とお酒、どれが嬉しいですか？
●バラだと、ドライフラワーにできる（笑）。

Text▶田中さゆり

素敵だと思うことはいっぱい。生きているのが楽しいの。

EDメタリックシアター
西山水木　にしやま みずき

'78年桐朋学園短大演劇科卒業後、青年座入団。'82年青年座退団、劇団電劇を経て、久世龍之介らと結成したEDメタリックシアターの中心として活躍する他、多くのプロデュース公演、最近では「舞歌」「帝国エイズの逆襲」などに出演。

——桐朋学園を選んだ理由はなんですか。

西山　まず、大学だから親が安心したことと卒業したらそのまま俳優座に入れたり、文学座も2年から入れたりって特典があったこと。あと、受験の倍率がそのときは日大の演劇科とか他の大学よりも高かったの。少しエリート志向みたいなのもあって、じゃあ倍率の高い桐朋にしようって。

——どんな授業がありましたか。

西山　動くのは、体操、表現、日舞、バレエ、マイム、発声、声楽とかで、座学が劇構造論とか音声生理学とか……。私、理屈がすごく好きだから、別に役には立たないんだけど、演劇の歴史とか、舞台の構造とか、声のでるしくみとかの座学がけっこう面白かった。

——授業は厳しかったですか。

西山　厳しかったですね。朝から晩までめいっぱいある感じでした。で、私は落ちこぼれちゃったの、完全に。なまりもあったし、体のクセもあったし、ヤだったあ。もう授業に行くのがほんと辛かったもん。いくらやってもだめだし、先生に怒られてばっかりだし。それまではあんまり劣等生って意識もったことなかったんだけど、桐朋では完全に劣等生だったですね。

——楽しかったことはないんですか？

西山　楽しかった思い出てないなぁ……。でも教わったことは、マイムとか、今の基本になってる。今頃になって「あっそうか」って思うことあるから、きっとあの期間は、成長する期間じゃなくて、例えばコンピューターとかのキイに打ち込んでる期間で、それが今になってピッと押すと出てくるって、そういう感じじゃないかなぁ。

——やはりお芝居はたくさん見てましたか？

西山　すごく見てました。もちろん新劇はほとんど見てたし、VAN99もよく行きました。ヴォードヴィルができたてで、黒テントが一番がんばってた頃。でも桐朋では、ああいうのは邪道だっていうようなところがあったんだけど、私は小劇場がすごい好きだったの。

——今もEDメタリックシアターの他に小劇場から新劇までいろんな芝居にでてますね。

西山　もう演劇界のコウモリとか言われちゃって（笑）。でも他に出ないとダメだったと思う。ヘンに固まっちゃうし、やっぱりEDでは〝私は女王様よ〟みたいなのがどこかにあると思うの。私そういうのすごくイヤだから、よそでちゃんとブレーキをかけてもらうっていうか…。地人会に出たときは、ほんとダメ出しだらけだったしね。

——芝居によって演技も違ったりしますか？

西山　私自身はいつも同じで演じ分けとかしないで、そのままやってる感じ。東京壱組の大谷亮介さんと話してて、大谷さんは一作一作違った人間がやってるんじゃないかってくらい演じ分けをして、大谷亮介を忘れてほしいっていうのがあるって言うの。私はその正反対で、「みんな私」っていやりたい。演じ分けるんじゃなくて一つの役の中にいろんな人間をいれてみたいと思ってるの。

Text▶庭植奈穂子

劇団急旋回
第9回公演
出演者募集
I・M・E附属
ミュージカル研究所が
ついに劇団になった!!

新作ミュージカル
『ユノーの休日』
作・演出　石坂浩二
1989年3月25日〜30日

劇団員
劇団研究生も
同時募集
オーディション
募集人員　若干名
応募資格　中卒以上の男女
東京在住者及び東京周辺に移転できる方
応募方法　下記住所宛に願書を御請求下さい
願書締切　1989年　1月末日
試験日　2月上旬

お問い合わせ　劇団急旋回
〒106 港区南麻布4-1-29
ガーデンプラザ広尾4F
ギャラック広尾スタジオ内
☎444-2636(代)　担当　黒田

小劇場STUDIOはるか第3回
ファンタスティック☆Carnival 冬
魔法パワフル

① 1/7⇒8 SAT SUN　ぷらすα（UEKEN企画プロデュース）「笑顔のままで」
⑤ 2/3⇒5 FRI SUN　演劇集団め〜でん・ぼや〜じ「鴉（からす）とんだか？」
② 1/14⇒16 SAT　劇団 一大事「千の風音」
⑥ 2/10⇒12 FRI SUN　山田富起子個人「ながなきどり」（舞踊と舞踏のデュオ）
③ 1/20⇒22 FRI SUN　企画集団BORDER（ボーダー）「ワンス・アポン・ア・タイム・インYOKOHAMA（ヨコハマ）」
⑦ 2/17⇒19 FRI SUN　平田安拡プロデュース「エドマンド・キーン」
④ 1/27⇒29 FRI SUN　劇団 ほほえみ道場「GONG」

■電話予約・お問い合わせ 314-0258
■前売り¥1,000当日売り¥1,300
開場6時（マチネ1時30分）
開演6時30分（マチネ2時）
チケットぴあ 03-237-9999
STUDIO はるか

第4回■小劇場STUDIOはるか
ファンタスティックCarnival 夏
参加劇団募集中
1989年8月2日〜9月10日（6劇団）
募集要項・お問い合わせ／03-314-0258
カーニバル事務局

当時演劇科は暑くて寒いプレハブで授業うけてたのに、今は立派な校舎ができてました。

Q & A

①小さい頃、なりたかったものは？
●バスガイドと歌手。

②憧れていた女優さんは？
●こうなりたいって人は別にいなかったんですけど、好きだったのは太地喜和子さんとか樫山文枝さんとか。

③俳優になるのに大事だと思うこと。
●やっぱり頭が良くなきゃダメだなぁって思う。だから苦労してるの（笑）。勉強ができるってことじゃ絶対なくて、人の気持がわかったり、わきまえるっていうか、自分だけ目立てばいいってもんじゃないし、そういうバランスがわかったりするセンスみたいなこと。人に好感もたれることとか。努力すればできるって信じてるけどね。

④俳優になるときに障害になったことはありましたか。またそれをどうやって克服しましたか？
●お金。何か習いに行ったり、洋服とかメイク道具もいるし、スポーツマンに近いでしょ、食べ物もしっかり食べなきゃいけないし、自分にお金かけられなきゃいけないって思う。私は幸い、家から仕送りもあったし、お金の苦労はしなかったんだけど、才能があってもお金が続かなくてやめていった人も多く見てるし…。

⑤俳優でいることでとても素敵だと思うこと。
●すごくいっぱいある。生きてるのが楽しいの。何やっても芸のこやし（笑）っていうか、普段の生活でも自分で吸収しさえすれば、芝居やる上でマイナスになることがないでしょ。例えば電車に乗ってても人の会話聞いてるだけで楽しくて、おかしい話とか今度芝居で使おうなんて思ったり…。レベル低いことだけど、私もう30過ぎてるけど、セーラー服着れたりすると気持もそうなっちゃって、もう一回その頃の自分を経験できるみたいで、幸せだなって思うの。あと、演劇界って面白いこと考えてる人多くて、そういう人達と友達になれる。ライバルってのはいないんだと思う。価値感がいっぱいだし、立ち向かうものは他人じゃなくて自分だから。

⑥気分転換はおもになにをしますか？
●新聞や本を読むこと。「キェー世の中ってスゴイ」とか思って、自分のことなんか〝それどころじゃない〟って感じになっちゃう。ファッション雑誌の絶対着れないような十何万円とかする服を〝目の正月〟（笑）って見て楽しんだり。

⑦さしいれ、お花とお菓子とお酒、どれが嬉しいですか？
●お酒。もつから！　花はもらった時はすごく嬉しいんだけど、枯れた時に捨てるのが残酷なような気がしちゃって。

インタビュー後記
5年前初めて見た時から、元気なカワイさとなにか不思議な雰囲気に魅かれてずっと注目してた西山さんに、「アンミツ食べなよ」などと気づかってもらいつつインタビューできて私はとても嬉しかった。芝居でいつも違った面を見せてくれるなーって感心してたのに、「全部同じなの」って、やっぱり不思議だからこれからもずーっと注目してきます！

▼次回公演
プロデュース公演参加
「ゆるしてごしょう」再演
2月　新宿シアタートップス

MAKING of 6

オーディション 山の手事情社編

さえぐさ ゆき

オーディションは面白い。
受ける側も審査する側も真剣な、何年も続くかもしれない関係のあるいは一回限りの、出会い。
舞台の上と客席で、稽古の時とも、本番の時とも違う緊張が走る。

佐々木さんに絵をみせながら〝読めないものを読む〟について説明する清水さん。

Photographs▶青木 司

1 オーディションのできるまで

半年間の休業宣言をしていた山の手事情社が、3月の本多劇場公演にむけて、オーディションをするという。

「オーディションっていうのは初めてなんですよ。早稲田大学の演劇研究会ということで今までは四月になると新入生を勧誘して新人を入れてましたから。でもそれだと学生しかはいれないというイメージがあるみたいで…。今回は半年休んだ後の公演なので、もっと違う新しい人と出会いたいんですよね」と主宰の安田雅弘さん。

「せっかくやるんだから、ありきたりのオーディションじゃなくて、それ自体で芝居のシーンになるようなものができればと思っています」というオーディションのメニューは、

1 身訓
2 「先生」「友だち」の真似
3 読めるセリフを読む
4 読めないものを読む
5 自由質問

この中でヤマ場はなんといっても、4の〝読めないものを読む〟。

「実際に僕達でやってみないと、どの程度のレベルまでできるものなのかとか、採点基準をどうするかっていうのがつかめないですからね」というわけで、オーディション1週間前に劇団員が集まってリハーサルが行われた。読むものは、絵、唐草模様の風呂敷、日の丸の扇子etc.。舞台の上で課題を出された役者達は試行錯誤しながら〝読む〟。絵の情景をねじまげて説明する、わけのわからないコトバを発しながら舞台の上を動きまわる、風呂敷にむかって「ジェシー！」と語りかける――それにしてもむずかしい。

「説明になっちゃいけないし、対象にして遊ぶというのとも違う。オーディションを受けにくる人でこの意図を瞬時に理解する人っていうのはいないだろうから、追いつめていかないとダメだろうね」と、当日、試験官をやる清水宏さんも真剣だ。

「身体的な感覚がすぐれてないとできないことだから、画家でいえばデッサンみたいなもので、こういうことを繰り返して筆力を高めていかないと。これはオーディションのために言ってるんじゃなくて、これからの芝居のつくり方にかかわってくることだからね」――このオーディションは山の手事情社の新しい試みの第一歩でもあるのだ。

2 オーディション当日

応募者は9名。「1000字の作文というのが大変だったみたいですね」――応募の時、履歴書といっしょに『演劇(芝居)は』これから こうなる』というテーマで1000字程度の作文を出すことになっている。「でも、こういうことをちゃんと考えて、文章にできるくらいでないと困りますから……」ところが9名の作文の内容は、えらくムズカシイ言葉が並んでいるものから日記風のものまで、かなりバラバラ。作文については劇団員全員がA・B・Cの3段階評価ですでに採点をしていて、Aを1、Bを0、Cをマイナス1として計算すると、得点がプラスになっているのがわずか2名、最低はマイナス14＋×(評価できない)という人がひとり)というすごさ。文章で表現するというのはかなりむずかしい課題だったようだ。

さて、9名のうちきょう試験を受けるのは7名、のはずだったのだけれど、風邪と捻挫で2名が欠席、結局は5名でのオーディションとなった。

受験生は控室で着替えて、午後2時に大隈講堂前に集合。まずは安田さんの「観客とむかいあうのは役者ですから、人格を重視します」という挨拶ときょうのスケジュールの説明があって、それから身訓にはいる。

ここでは柳岡香里さんがリーダー、準備体操、10分程度のランニング、柔軟体操、逆立ち、腹筋、側筋、背筋の運動、腕立て伏せ、ブリッジ――これらが約40分かけて次々とこなされる。みんな緊張した顔でがんばっている。

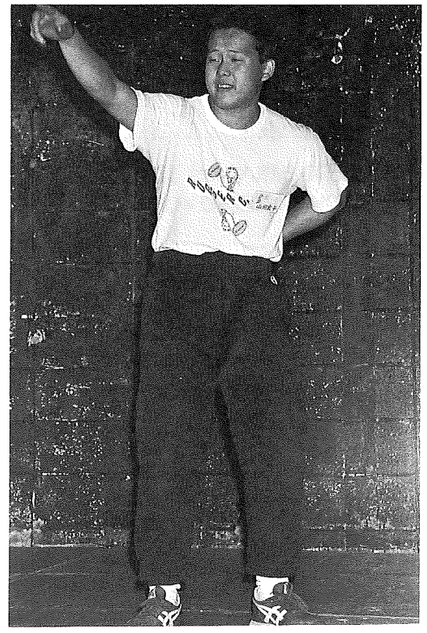
次は発音練習。シ音の断絶、ハミング・ロングトーン、ア切り、そして滑舌、日曜日の大隈講堂に受験生の声が響き渡る。ある程度できる人、ほとんど初めてのような人とレベルはさまざまだ。ここまでは特に採点されない。この間、他の劇団員達は、試験場となる劇研のアトリエで次の準備をしている。受験生は控室に戻り、ここからひとりひとりの試験が始まる。

1番の山田宏平君。彼は応募者の中で最年少、19歳。控室からアトリエに案内されてきた彼は、まずストーブの前にすわるようにすすめられ、紅茶を出される。そしてそこで試験官の清水さんとしばらく話をする。これは受験生の気分をリラックスさせるためと素顔をみるため。この時の清水さんはまるで試験官の役を演じているようだ。

身体があたたまったところで、課題として出ていた演技にはいる。これは前もって出題されていたもので「今までに出会った印象的な『先生』または『友だち』一人の真似を3～4分していただきます。文章による紹介、口頭での説明なしで、その方に出会った時の生の感動を私達に伝えて下さい」というもの。山田君が用意してきたのは、昭和6年からラグビーをやっているというラグビー部の先生。これがとても面白い。試験官のうしろでみている劇団員達にもウケている。

次はセリフ。「真夏の夜の夢」のパックの最後のセリフを、身訓前に渡された紙をみながら3回読む。これは今までのキャリアをみる程度のものでさほど重視しないということだったが、清水さんが途中で与えるアドバイスにどの程度反応できるかも採点のポイントになっている。

そして次はいよいよ〝読めないものを読む〟。清水さんは山田君に、レオナルド・ダ・ビンチの絵をみせながら、主旨を説明する。1回目、山田君は情景描写をセリフのようにしてしゃべる。そこで清水さんが「説明じゃなくて、感じたことを表現して下さい」といって、2回目、今度は絵の中の裸婦の言葉をセリフにしてしゃべる山田君。



山田君が演じるラグビー部の老先生。19歳のあどけない顔がガラリとかわる。

大隈講堂前での身訓。12月の寒さの中、受験生は汗をぐっしょりかいている。

「はい、それじゃ」といって次に出てきたのはプラスチックのザル。山田君は少し考えて、「スキだらけの僕」という。「そうですか。では これは？」なんと清水さんがザルを振っている。「いくらスキだらけの僕でもこうすればみえないだろう」――山田君の読み方はすべてセリフになっているので、清水さんはもっと、別の方向へもっていこうと、今度はザルを渡して「その手ざわりを読んで下さい」という。山田君が「雨続きの秋…」とまた読もうとすると「言葉を使わずに、そのものを直接読んで下さい」とストップの声がかかる。そこでしばらく考えた山田君は舞台の上をはねまわる。私にはそれが、ザルにはいって、そこからこぼれ落ちる小さな粒のようにみえる。清水さんの要求はさらに続く。「では最初にみせた絵をもう一度今と同じように読んで下さい」――今度は始めと違い「あ～～～」と声を発しながら舞台いっぱいに動く山田君。

こうして彼の場合は比較的スムーズに〝読めないものを読む〟という意図がつかめたけれど、受験生の中にはかなり苦しんだ人もいて、清水さんはなんとか彼らから答えを引き出そうと必死だった。

ここまでで試験は終わり。あとは自由質問。「将来どうしたいと思っていますか？」「履歴書に特技は楽しみを見つけることとあります」などなど、劇団員の質問に山田君はハキハキ答える。ひと通り終わったところで清水さんが「お疲れさまでした。合格の場合はきょうの中にご連絡しますから」といって終了。ひとりあたりの所要時間は約25分。同じようにして残り4人の面接試験が終わったのは、6時すぎだった。

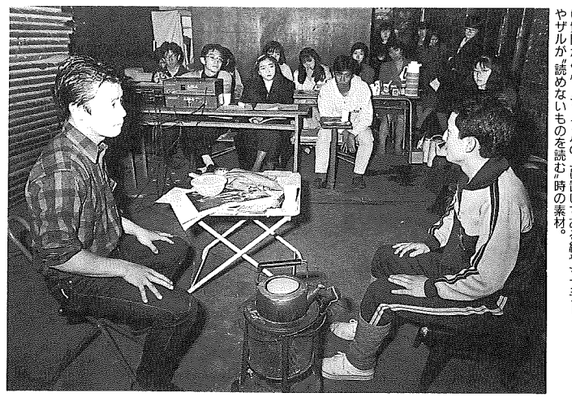
3 合否判定

A 基礎体力・身体のキレ
B 第一印象(顔・身長・スタイル・雰囲気)
C 声(量・質・滑舌)
D セリフが読めるかどうか(知力・キャリア)
E 表情の豊かさ・解放度
F センス

以上のポイントに基づいて、劇団員11名が5段階評価でつけた点数を、壁に貼った紙に全部書き出して、話しあっていく。この段階で残ったのは5人中3人。小学校の学芸会以外舞台に立ったことがないという山田君、「昴」演劇学校を出た佐々木啓子さん、舞台芸術学院に在学中の廣澤信満君、とキャリアはさまざま。

安田さんの考えは、3人とも合格にするかひとりもとらないか。「でも3人っていうのは面倒をみるには多いなあ」と安田さん。みんなが揺れ動いている中、清水さんは「経歴が違う人と一緒にやっていうのは、接点をもつのが大変だろうけど、僕はそこまで踏み込んでみたい」と3人の合格を強くおす。3人の面接試験の結果、控室での態度、身訓の様子、そして劇団の状況など、いろいろな要素をあげながら検討することー時間。結局、「テンションってことでいえば、この3人は僕達の誰よりも今高いと思うし、あとは稽古をしながら様子をみていくことにしよう」ということで、3人の合格が決定した。

この3人が無事、本多劇場の舞台に立てるかどうか、そして彼らが山の手事情社の起爆剤となるかどうか、彼らにとっては厳しい3カ月が今から始まる。



自由質問の時間。それまで後ろでみていた劇団員から鋭い質問がとぶ。テーブルの上に置いてある絵やマフラーやザルが〝読めないもの〟を読む時の素材。

'89新人募集
――第24期生――

東映

映画・TV・CM
タレントへの
最短コース

伝統と歴史を誇る東映、その恵まれた環境の中で、俳優を志す人達のために養成と訓練を行なっています。演技・舞踊・音楽・殺陣などを基礎から教え、将来の方向と適性を見つけるために最適の学校です。

――'89募集要項――

●青年部（15～26才）
本科（昼間）90名
別科（夜間）60名
＞ 2年間（週3日）

●応募方法
青年部と明記の上、切手600円分を同封して郵送して下さい。案内書と申込書をお送りします。または直接来所してお求め下さい。

●募集締切
昭和64年2月28日

●申し込み先
東映演技研修所E係

★当研修所出身者★
風間杜夫　石橋蓮司　永島敏行
小倉一郎　松岡きっこ　長谷直美
熊谷真実　山口良一　小林綾子ほか

児童部(4才～14才)も同時募集しています。

東映演技研修所
〒178 東京都練馬区東大泉2－34－5
☎03-921-8886　東映撮影所内

アトランダム・ガイド

タイプで選ぼう、養成機関。

School & Study Version

あなたの好きな芝居はどんな芝居？　学校ではどんなことを学んでみたい？
役者志望もいればダンサー希望も、そして裏方になりたい人もいるはず。
はじめの一歩の参考に、アトランダムに紹介してみたいろーんなタイプの養成所、スタジオ、研究所。

イラスト　羽生信之

演劇トラディショナル・タイプ その1

大劇団や老舗劇団の養成所

大きな劇団や老舗劇団には、必ずと言っていいほど専門の養成機関がついている。劇団側からすれば、素質のある人をなるべく白紙のうちから鍛えて、大きく育てたいし、受ける側からすれば、もしかしたら、何%かの可能性で、その劇団に残れるかもしれない。残れなくても有名養成所出身というのはジャマになる経歴ではないし、まんいち不合格になっても、沢山の応募者の中で試験を受けたら、それなりの度胸もつく、それは一つのメリット。だからチャレンジする価値はあります。

▼青年座は演劇だけでなく映画やテレビにも多数の役者を送り込んでいる。研究所のある代々木八幡のビルには座員のミーティングルームがあるため、そんな俳優たちが多く出入りする。この環境はかえって研究生の刺激になっていいという。目標とする人物を目の当たりにすることによって、自分の気力もかきたてられるのだろう。

システム

本科と実習科があり、本科で一年間の修業を終えた者の中から、約半数が選考され、実習科へ進学となる。そのあとは準座員という段階を経て、最終的に正式座員になれるのは本科の生徒数の一割程度だ。授業は10時～12時、13時～15時の一日2時限で、年間では450時限以上。働きながらの夜間（専科）もある。体操、モダン・バレエ・モダン・ダンス、地唄舞、声楽、狂言、発声、戯曲研究、実技などがあり、現役で活躍している方を教師として招いて実践的な教育を行なっている。

レッスン　モダン・ダンス

モダン・ダンスでよく使われるフレーズのレッスンを行っていた。音楽にあわせて5～6人ずつ順番に、教室の前面にある大鏡を見ながら身体を動かしていく。短時間の取材しか許されなかったので、なんとも言えないが、生徒が多くて活気があるなという印象を得た。18歳～25歳の生徒が40～50人も身体を動かすには、ちょっとスペースが狭いかなと思ったら、いつもは青年座劇場の方でレッスンしているとのことだ。すぐ横にある青年座劇場は客席の取りはずしのできるフリースペースで、実習公演やレッスンに常時利用されているが、この日は公演のばらしで使用中。残念でした。

「お芝居なんて好きじゃない！」なんて言ってる人でも名前くらいは目にしたことがあるはず、それほど有名で歴史のある劇団。新劇界の王様　ってとこかな。田中裕子や渡辺徹など数多くのスターが育っているし、遊眠社や小劇団の役者さんでここの養成所出身の人も結構いるみたい。それにここは、養成所に入るのに倍率が高いことでも有名。それだけに「どんな授業をしてるのかな？どんな人がいるんだろう？」なんて興味津津だったんだけど、「外部者が入ると生徒が緊張して授業にならないので…」と断られてしまった。もちろん写真もダメ!!「それならお話だけでも…」ということでお話だけ聞いてきました。

まずは一年間本科でお勉強。二年目は優秀な人だけ研修科へ…。本科は昼間部と夜間部があって、人数は各三十名ずつ。授業は日曜日と祝日以外は毎日3時間。ほとんどが演技実習で、他の所みたいに日舞をやったり、ジャズダンスをやったりはしない。週に体操二時間と音楽一時間があるだけ。ここではセリフを一番のポイントと考えているからしい。それにとにかく数多くの舞台をふませよう、実践あるのみ！　ということで年に4回（卒業公演も含む）アトリエで発表会を行なっている。この点も他の所とかなり違うみたい。

最後に「合格基準は」と聞いたら、「明るい人、感受性の強い人、声の大きな人、本当に役者を志す人」と言ってました。

◆**募集人員**　本科昼・夜各30人　演出部昼・夜若干名。
◆**修業年限**　本科一年　研修科二年
◆**カリキュラム**　演劇実習　日本演劇　外国演劇　体操　音楽　特別講師（杉村春子、三津田健　北村和夫他）による講義あり
◆**入所金6万円**　授業料ほか年額28万8千円（前年度）今年度はまだ未定。
◆**募集〆切日**　3月13日
◆**試験日**　第一次3月19日
〒160　東京都新宿区信濃町10文学座内
TEL03・35I・7265

▼前進座養成所は地上3階、地下一階、キャパシティ500人のすばらしい前進座劇場の裏手にある。養成所のシステムはこの劇場が建設される以前から存在したが、81年からその機能を一時中断、昨年4月より、7年ぶりに再開したばかりだ。声楽、演技基礎、日本舞踊、邦楽、モダンダンスなど、舞台芸術全般にわたって基礎的なことを一年という短期間で集中的に教えている。

システム

週4回（月火木金）、18：15～21：30という時間帯なのでわざわざ深夜のアルバイトをする必要がなく、健全に演劇を学ぶことができるのが良心的である。特徴的な科目として、邦楽という授業がある。これは長唄、三味線、鳴物などの実習が主で、意外に若い生徒の興味を引いているようだ。ちなみに昨年入学した第12期生は19名、18才～24才となっている。

レッスン見学　邦楽

講師は杵屋佐之忠さん。この日は下座音楽の講義が行われた。カセットテープで実際の音を聞き、その由来や使われ方などを日常の生活を例にとって、わかりやすく解説する。所どころに冗句などもからめた、あきのこない楽しい講義だった。また、ふだんこの時間にやっている三味線などは、一年やそこらでマスターできる代物ではないが、卒業する頃にはある程度弾けるようになっているというのだから、邦楽の講習が好評なのもわかるような気がする。

◆**募集人員**　25名
◆**修業年限**　一年
◆**カリキュラム**　演技基礎、声楽、体操、邦楽、日舞、モダンダンス、上演実習、演劇理論、教養科目
◆**入所金3万円**　授業料ほか年額22万円
◆**募集〆切日**　3月15日
◆**試験日**　3月19日筆記　20日実技
〒180　武蔵野市吉祥寺南町3―13―2
TEL0422・49・0770

▼エコーの歴史は古い。56年スタート、終戦からたった10年後。今でこそ芝居は笑って楽しんで見ることに何の抵抗もなくなったけれど、喜劇というと一段低いものに見られた時代である。そのスタートから5年目にすでに「真夏の夜の夢」をスラプスティックミュージカルとして上演してしまった。そんな劇団だけに一貫して喜劇を多方向から追求、やがて、井上ひさしという天才作家を生みだすことになった。熊倉一雄をはじめ、声優を多数生みだし、最近では「いただきます」のヒロシ＆チーボーも劇団員。コント赤信号の三人や野沢直子はここの養成所出身タレント。

システム

本科と専科があり、専科は本科修了者か同じくらいの力のある人から選ばれる。本科は昼と夜。各四時間授業の形。18歳以上の人に限られるため、大学がわりに入る人や大学と並行して通う人も多い。年3回ずつアトリエや専用小劇場で行われる上演実習が、生徒たちにとってはげみになる。

レッスン見学　実習

夜6時30分。専科の授業が始まる。今日は12月下旬に予定されているユージン・オニール作「あゝ荒野」の立稽古。卒業するとあまり演じることのない大作をつめて上演し、生徒の体に少しでも記憶として残れば、という方針。食卓を囲んだ生徒たちの交す会話は日常語だが、深い意味を含んでいるだけになかなか手強そう。演出家の川和孝先生から、気持ちの入れたセリフの言い方、歩き方など、やさしい言い方で指摘される。翻訳ものともなると、本当に自然にやるのは大変だ。それだけに、こういった経験は貴重。いつか絶対に役に立ってくるにちがいない。

◆**募集人員**　本科昼・夜各30名　専科若干名
◆**修業年限**　各科一年
◆**カリキュラム**　演技基礎、ダンス、日舞、体操、日本の芸能、発音発声、メイクアップ、戯曲研究、教養講座、特別講座（井上ひさし、いずみたく、宇野誠一郎ほか）
◆**入所金7万円**　授業料年額12万円　その他20万円（保証金2万円を含む）
◆**募集〆切日**　本科第一回3月17日・第二回4月7日　専科4月7日
◆**試験日**　本科第一回3月18日・第二回4月8日　専科4月7日・8日
〒150　東京都渋谷区恵比寿南――20―3
TEL03・7―9・928I

募集？

研究生　―20名―

プロを目指す方
入団後は映画放送部に登録され、マネージメントを受けられます。

日曜クラス　―10名―

働きながら、勉強しながら、**週に1日**だけ芝居を演りたい方
発声・ダンス・日舞などの基本レッスンもあります

演出部　―若干名―

演出・文芸・照明・効果等、各スタッフ
本公演、自主企画公演等で、**即実践**できます

募集要項希望者は、志望部を明記の上、60円切手20枚同封して下記劇団事務所迄。

〒180武蔵野市吉祥寺南町4-6-1
☎0422-47-6081

試験日　〆切日　各前日
2月26日（日）
3月26日（日）

劇団櫂本年度公演予定

●3月　下丸子演劇ふぇすた'89
誘拐されて日が暮れて
大田区民プラザ

●5月　新人作家シリーズ
青い山脈2001―楽園の恋―
渋谷ジァンジァン

●11月　新人作家シリーズ
世紀末同総会
渋谷ジァンジァン

新しい感性に迄う御期待

吉祥寺 **櫂スタジオ**

吉祥寺駅より徒歩10分
間口3間　奥行5間
フリースペース
各種設備充実
詳しい案内書あります

劇団櫂

円・演劇研究所

文学座を脱退した「雲」からさらに分れた俳優たちを中心に旗上げ（50年）。上演レパートリーはシェイクスピアから別役実まで幅広い。役者は正統派＆個性派という強者ぞろい。

◆**募集人員**　基礎科60人（夜30人）　演出科若干名　専攻科若干名
◆**修業年限**　基礎科一年（昼・夜）　演出科一年、専攻科2年
◆**カリキュラム**　演技実習、ダンス、ミーム音楽、日本舞踊、体操、特別講師（別役実、清水邦夫、中村伸郎、岸田今日子ほか）
◆**入所金11万円**　授業料ほか年額28万円（基礎科・昼）が上限
◆**募集〆切日**　第一回2月28日　第二回3月27日
◆**試験日**　第一回一次3月6日二次3月9日　第二回一次3月30日二次4月3日
◆**メモ**　専攻科は、基礎科を卒業した者、および他の養成機関の経験者が対象となる。
〒160　東京都新宿区北新宿2――16松本ビル一号館
TEL03・366・2576

俳優座養成所

去年から一般公募で、なんと学費無料というのがびっくり。力のある生徒を育てようという、一つの姿勢のあらわれ。今、名の知られた新劇人の多くは、ここの出身者ばかり。

◆**カリキュラム**　発声、歌、ジャズダンス、演技実習、特別講座（あらゆる分野にわたり、舞台に役立つことを）
◆**〆切日**　2月15日
◆**試験日**　2月25日・26日
〒106　東京都港区六本木4―9―2
TEL03・470・2888

劇団櫂研究生

77年に中田浩二を中心に結成され、創作劇上演に意欲を燃やしつつ、4人のマネージャーによる映画放送部の活動も盛ん。TVのディレクターたちの強力バックアップあり。

◆**募集人員**　研究生20人　演出部若干名
◆**修業年限**　一年～3年
◆**カリキュラム**　本公演を含む劇団活動および実習公演
◆**入団金7万円**　スタジオ費ほか17万2千円
授業料三ヵ月分3万円
◆**募集〆切日**　第一回2月25日　第二回3月25日　第三回4月29日
◆**試験日**　2月26日　3月26日　4月30日
◆**メモ**　学歴、年令問わず。研究生修業期間の後、評価により準劇団員になれる。
〒180　武蔵野市吉祥寺南町4―6―I
TEL0422・47・608I

桐朋学園大学短期大学部

——文科 日本文化専攻・欧米文化専攻　芸術科 音楽専攻・演劇専攻　演劇専攻科——

学長　生江義男

昭和64年度芸術科演劇専攻学生募集

演劇専攻二ヶ年の教育の当面の課題は専門俳優の養成であり、現代演技術・声楽・日舞・洋舞・狂言・マイム・体操等の実技訓練と上演実習、演劇概論・演劇史・文芸概論・戯曲論・演出論・演技論・国語話法論・その他の専門理論科目の学習を通じて、あらゆる様式・あらゆる種目の演劇を演じわけられるような身体的・言語学的表現の基本原理と基本技術を身につけさせるとともに、演劇の創造に必須の集団作業の訓練をおこなうこと、脚本を正しく把握する能力を養うと同時に、今日の社会における演劇の使命に対する理解と熱意を深めることである。

募集人員　50名（男・女）
出願期間　郵送受付＝2月10日(金)～2月20日(月)（最終日消印のものまで有効）
　　窓口受付＝2月23日(木)～2月24日(金)（9時～15時30分）
試験期間　2月28日(火)～3月3日(金) 第1次試験（国語・動作・朗読）
　　3月4日(土)～3月5日(日) 第2次試験（動作・せりふ・歌唱）

◉演劇専攻科生募集
資格　本学芸術科演劇専攻を卒業した者およびこれと同等以上の学力・能力があると認められる者
出願期間　上記に同じ
試験期間　上記の第2次試験に準じる
●なお、本学指定の奨学金制度あり

問合せ　〒182 東京都調布市若葉町1—41—1（京王線仙川駅下車）　TEL(03)300—2111

小劇場人気劇団の養成機関

どうせ入るなら自分の好きな芝居をやっているところ、という受験生の希望と、自分たちの芝居が好きな研究生をとりたい、という劇団側の希望がぴったり合うと、これはサイコー。そのかわり、周りもその劇団が好きで入ってきた人ばかりだから、みんなが団員狙いという厳しい状況もある。即戦力化を望まれるので、きっと内容もハードだろう。でもやりたい芝居のためなら、ガンバルンダネ。

オンシアター自由劇場附属JAG

ごぞんじ吉田日出子、串田和美などの率いる都会派小劇場のパイオニア。JAGはそれ自体の公演の他に二年目ぐらいからはオンシアター自由劇場への出演も狙えるのが楽しみ。
◆募集人員　演技部20人　演出部若干名
◆修業年限　5年（2年間の実習訓練・3年間の劇団活動）
◆カリキュラム　演技実習　ダンス　体操　声楽　絵画　特別講師（吉田日出子ほか）
◆入所金20万円　授業料半期分6万円　ただし授業料は2年間のみ
◆募集〆切日　郵送2月27日　直接3月4日
◆試験日　3月5日・6日（どちらか一日）
◆メモ　第7期生として募集されるのは演技部の20名と演出部の若干名。人気劇団だけに競争率は高いが、学歴年齢問わずが嬉しい。
〒106 東京都港区西麻布1—8—4 三保谷ビル305　TEL03・404・3891

東京乾電池付属演技スタジオ

自由劇場の出身者柄本明、綾田俊樹が中心となって結成。高田純次、ベンガル、小形雄二など活躍中の俳優多数。役者になろうと根性いれてる人向き。かなり鍛えられそう。
◆募集人員　若干名
◆修業年限　一年間
◆カリキュラム　ダンス　体操　発声　即興

専修・専門学校

教えるだけ、劇団経営はしてないから、卒業すると同時にフリーになるというところが多い。ちょっと不安だけど、考えてみれば劇団の養成所や研究所だって、全員劇団に入れるわけじゃない。だったら初めから、ここは基礎を勉強するだけのところ、と思ってれば、それなりの覚悟も身につく。その気持ちで、自分の入りたい劇団、やりたい芝居を探し出したら、その時こそ思いきり、今まで身につけた力を試すというのもいいかもしれない。

舞台芸術学院

あの木野花も渡辺えり子も天衣織女も市村正親も出身者。歴史は古く終戦の'45年にスタート。劇作家秋田雨雀、新劇創始者の土方与志などが土台作り。あくまでも基礎の学校。
◆募集人員　演劇部本科40人　ミュージカル部本科35人（夜間もあり）
◆修業年限　2年
◆カリキュラム　演技基礎　バレエ　体操　ジャズダンスなどは両部に共通。その他に演劇部　狂言　日舞　話法　演劇史ほか。ミュージカル部　モダンダンス　タップダンス　ジャズ歌唱　話法ほか。
◆入学金19万円　施設費13万円　授業料ほか一学期分25万3千円
◆募集〆切日　4月一日
◆試験日　書類審査のみ
◆メモ　入学願書がA・B・Cとあり、それに自分のデータや考え方などを記入したものが、学校側の審査対象になる。
〒171 東京都豊島区西池袋3—5—19　TEL03・986・3261

演劇トラディショナル・タイプ その2

の演技　特別講座（演出家、ディレクター）
◆入所金5万円　授業料半期分15万円
◆募集〆切日　4月上旬
◆試験日　4月中旬
〒150 東京都渋谷区宇田川町12—3 ニュー渋谷コーポラス一〇〇六東京乾電池オフィス　TEL03・476・1495

東京ウォードヴィルショー闘魂塾

'73年旗上げ。佐藤B作、坂本あきら、松金よね子等マスコミでも活躍中の俳優たちによるわかりやすくて面白い芝居。脚本の松原敬春に代表されるヒューマンなイメージが強い。
◆募集人員　男女若干名
◆修業年限　一年間
◆カリキュラム　発声　演技実技　ダンス　体操ほか
◆入所金なし　授業料月3万円
◆募集〆切日　2月15日
◆試験日　第一次面接3月5日　第二次実技3月12日・13日
〒160 新宿区高田馬場2—10—6第2新東ビル202号　TEL03・232・4731

加藤健一事務所俳優教室

若い俳優を育てるために、加藤健一自らをはじめ、スタッフを現役達でかためた。役者の星夫、演出家宮田慶子、声楽家木内慶子、酒井元令と原多賀子の二人のダンサーなど。
◆募集人員　30人
◆修業年限　一年間
◆カリキュラム　演技　音楽　ジャズダンス
◆入所金なし　授業料年額36万円　設備費4万円
◆募集〆切日　2月25日
◆試験日　第一次3月5日　第二次3月12日
〒166 東京都杉並区高円寺南2—16—3　TEL03・314・3998

演劇トラディショナル・タイプ その3

日本映画学校俳優科

映画監督今村昌平が学校長。映画の分野が主眼の学校であるだけに、映画実習に参加するなどの授業もある。俳優の隆大介やお笑いのウッチャンナンチャンなども出身者。
◆募集人員　20人前後
◆修業年限　3年
◆カリキュラム　演技　ダンス　音楽　漫才　お雑子　一人芝居など
◆入学金34万円　授業料半期分34万一千円
◆募集〆切日　3月3日
◆試験日　3月11日
◆メモ　高卒（見込みも含む）以上か、または日本映画学校が学力を認めたもの。健康診断書や、最終校の卒業証明書などが必要。
〒215 神奈川県麻生区万福寺1—16—30　TEL044・951・2511

多摩芸術学園演劇学科

多摩美大の姉妹校。三年教育の中で芸術一般に始まり専門分野の把握まで時間をかけて行われる。大学と同じようなキャンパスライフも楽しめるかわり、単位修得制度は厳しい。
◆募集人員　演劇30人
◆修業年限　3年
◆カリキュラム　演劇　演劇史・概論などの講義　演技基礎　声楽　体操　舞踊　謡曲などの実習科目　上級になると上演実習も。
◆入学金ほか46万円　授業料前期21万円ほか
◆募集〆切日　第一回2月4日　第二回3月11日
◆試験日　第一回2月6日　第二回3月13日
◆メモ　高校卒業者または見込みの者のみ。
〒213 川崎市高津区久本137　TEL044・866・7812

マンツーマン・スタジオ・タイプ

マンツーマンのいいところは、一人一人の個性を見つけてもらえるところ。自分の可能性がどんなものなのか、まだよくわからないときに、いろいろサジェッションしてもらいながら学べるシステムといったら私塾形式のスタジオ。家庭的な雰囲気の中で、ゆっくり自分を発見していくことができる場所だ。

▼授業内容は、まず一年間は歩き方や話し方などの勉強。人間修業というわけだ。どこの養成所の先生もロをそろえて、「今の子は正しい日本語が話せない!!」と言っている。（そのたびに私は無口になってしまったが…）だから実技の方もきれいな言葉を使っている岸田国士の戯曲を使用している。それとエチュード。すべてこれはマンツーマンで行われる。でも実際に稽古を見てもらえるのは週に2回だけ。その日は朝六時に来て掃除をした順に見てもらう。あとの日も朝九時から夕方四時まで先生に見てもらうために自分達で稽古をする。お休みは週に一回だけ。かなりきついような気がするが、実力のある俳優を目指すのなら、がんばってみるのもいいかもしれない。それにチャンスがあれば、㈱仕事がマネージメントを担当しているので映画・テレビにも出演できる。この時期ちょうど地方公演中だったので授業を見学できなかったのが心残りではありました。

劇団の養成所みたいに多人数じゃなくて、マンツーマンで勉強したい人向き。授業料は一切かからず俳優修業ができるなんてすっごく魅力的。でもここに入塾するのは文学座と並んで倍率が高いことで有名!! だからここもかなり実力のある俳優が育っている。一昨年のNHKの朝ドラ「はっさい先生」のヒロイン若村麻由美もここの塾生なのだ。講師は仲代達矢と隆巴。
◆募集人員　とくに決まっていない
◆修業年限　塾年は3カ月間を一期として、優秀な人は契約を更新する。そのあとは一年ごとに契約を更新して、3年後優秀な人だけ塾員になれる。
◆入塾金　なし
◆募集〆切日　2月15日　応募用紙のほしい人は一月25日までに、封筒に定額小為替500円と返信用封筒（住所・氏名・二十番号？60円切手貼る）を入れ送ること。
〒157 東京都世田谷区岡本1—6—2　TELによる問合せはなし

アクト青山ドラマティックスクール

俳優の座美國秀が主宰するマンツーマンシステムの俳優教室。セリフ回しや台本の読解力、動きの自在性をつける具体的な指導。出身者は石田純一、高橋ひとみ、井田由美など。
◆募集人員　前期・後期（一回目・二回目）各10人　高校生基礎教室若干名
◆修業年限　特になし
◆カリキュラム　エチュード　物言い　劇の読解力　発声　セリフ回し　呼吸法ほか
◆入所金10万円　月謝ほか3万円　高校生基礎教室入会金5万円　月謝2万円
◆募集〆切日　試験日前日まで
◆試験日　前期2月11日　後期3月21日　冬期に短期教室も。
◆メモ
〒157 東京都世田谷区北烏山7—5—9　TEL03・300・5888

シノザキシステムスタジオ

遊眠社の演出をしたこともある篠崎光正のスタジオ。少人数マンツーマン教育。26週間という速修法がシノザキシステム。プロを目指す人に限らず、私塾として内容はユニーク。
◆募集人員　男女各10人
◆修業年限　一年間　プロ志望者2年間
◆カリキュラム　演技　音楽　心理学や太極拳の動きなども入れたボディトレーニング
◆入所金ほか7万円　授業料半期9万円
◆募集締切日　4月3日
◆試験日　4月4日
〒107 東京都港区北青山2—14—6 青山ベルコモンズ8F　TEL03・475・8181

TOKYOドラマスクール

'63年野田雄司（俳優・演出）によってスタート。前期は俳優としての自分自身の点検に始まり、後期は実習をという個人の感性解放にポイントを置く授業。
◆募集人員　本科20人　研修科（夜）15人　実習科（夜）15人
◆修業年限　本科・研修科一年　実習科半年
◆カリキュラム　解放運動　発声発音練習　エチュード実習　演技実習　上演実習ほか
◆入学金ほか13万5千円　授業料月額一万8千円
◆募集〆切日　第一次2月25日　第二次4月一日
◆試験日　第一次2月26日　第二次4月2日
〒150 東京都渋谷区道玄坂2—20—3 モンテ道玄坂3F　TEL03・463・5263

ミーム・マイム・タイプ

マイムが静かなブームだ。いつの間にか喧騒と、過剰な音楽に傷めつけられた心が、無言でわかりあえるマイムの世界を求めている時代。これからはマイムの時代。その柔らかい動きは、ダンスのようでもあるし、演技のようでもあるし、ふつうの芝居とも共通する部分を沢山もっているジャンルだ。

▼劇団の養成所のオーディションやカリキュラムの中によく"パントマイム"と書いてあるのを目にする。パントマイムがどれだけ役者を目指す人にとって大切なのかなとちょっと疑問をもっていた。でもレッスンを見学してびっくり。表現力・想像力・観察力・集中力この四つがないとパントマイムは絶対にできない。あとはそれを表現できる身体。これって役者にもすっごく大切なことだから、学び方によってはかなりプラスになるのはまちがいなし!!

システム

まず専科PART1で週2回、6ヵ月間レッスンをする。ここでパントマイムの基礎をしっかり身につけて、専科PART IIへ…。何と言っても身体表現を身に付けるには人前でやるのが一番の勉強。ここでは基礎練習をしながら新たにエチュードの時間を設けて、創作発表を目指し、6ヵ月間のレッスン中発表会を2回予定している。そして最後は本科で一年間のレッスン。その間、とにかく多くの舞台に立つことにより、パントマイム俳優としての勉強をする。そのあとは気球座に入団も可能だし、ソロで活躍してもよい。

レッスン見学

まず、基礎訓練として身体を頭・首・胸・腹・腰・上肢・下肢に分けて、各部をずらす・曲げる・回す・移動するという運動をする。これを一時間近くやってから、二人組になって相手の手の動きを最初は身体で、次に顔で表現する。これは観察力と想像力がかなり必要とされてくる。そして最後によく街角なんかで見かける、風船を持って歩くとか、前から風が吹いてきたとかいうやつをやる。人によって表現の仕方がかなり違うのでおもしろかった。
◆募集人員　各クラス15名
◆修業年限　体感クラス・専科I・II 6ヵ月本科一カ年
◆入所金　体感クラス一万円　専科・本科3万円（それぞれ下級クラスからの進級時は別扱い）　授業料月額　体感クラス7千円　専科I一万3千円　専科II一万5千円　本科一万5千円
◆募集〆切日　四月生3月31日
◆試験日　書面で通知
〒164 東京都中野区本町1—4—4 気球座スタジオ内　TEL03・372・1834

吉田明美パントマイムスクール

日本マイム協会会長の吉田明美が主宰する。企画や運営を生徒たちで行い、毎月「マンスリーおひろめマイム」上演や、ソロ公演にも力を入れている。メジャーB天国にも出演。
◆募集人員　決まっていない
◆修業年限　研究生一年間　プロ養成2年間
◆カリキュラム　基本およびマイムテクニック　パフォーマンス　創造などのプロセス
◆入会金2万円　月謝一万5千円
◆募集〆切日　2月末日
◆試験日　3月一日
◆メモ　研究生は22才未満に限る。なおこの他にビギナーズや一般用のクラスもあり、そちらは試験らしいものはない。
〒150 東京都渋谷区円山町7—12 藤和渋谷コープ2—503号　TEL03・770・0989

スタジオアンサンブルミーム

〒227 横浜市港北区大尾町110—5 大倉山シュロス405　TEL045・542・2558

汎マイム工房

〒170 東京都豊島区東池袋4—10—2 白鳳ビル4F　TEL03・982・0906

劇団四季

ダンスのレッスンをしてみないか!
チケット制だからムダがない。

入会金1万円
10枚券1万5千円
ビジター2,500円（入会金なし）
個人レッスン3,000円（お好きな時間に受講可. 要予約）

ダンス・シアター
マリカ・ジャパン
〒160 東京都新宿区大久保1-12-3
カーサ第2　7F
TEL03・207・1005

生徒募集

国際感覚の演劇教室

豊富な国際経験を基に主宰者衣笠陽子が、あなたとマンツーマンで個性を尊重しつつ、新鮮で楽しい雰囲気の中で、演技の基礎が学べます。

次号●お楽しみ予告

なんとあの宝塚音楽学校の中を見学。そして唯一の歌舞伎入門所国立劇場養成所や映画撮影所の中にある東映研修所。などなどを一挙に次号で掲載。ちょっと見られないところばかりです！

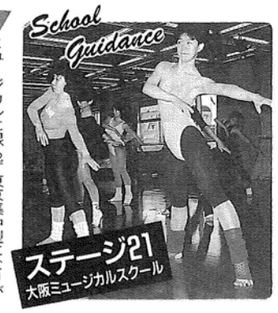
――衣笠陽子 経歴――

日大芸術学部在学中、ギリシャ国立劇場でギリシャ悲劇、イギリス王立演劇アカデミー（R.A.D.A）でシェークスピア劇を学び、劇団新派を経て Tokyo International Players の制作、以後はオリエンタルダンスの研究。宗家藤間流師範（藤間八千代）

●演劇教室　週1回、月4回15000円
入会金30000円
●入校随時、年令、職業、経験いっさい問いません。
●オリエンタルダンス、日舞教室もあります。

お問い合せ　資料請求は
☎369-1366
スタジオ ケーム
コスモス㈲ 東京都中野区中央1-23-3

歌・踊り・芝居、ミュージカル・タイプ



今、どこの芝居を見ても歌や踊りが入ってるのに、なんでわざわざミュージカルというの？　とご不審の向きもありがち。でもそれは考えちがい。本当のミュージカルは、芝居の合間に歌が入るのではなく、歌って踊ってがメイン、それをバッチリきめて、そのあと息も切らせずにセリフを言う、これが当たりまえ。だから、ミュージカルの専門養成所もあって当たりまえ、なのです。

▼ミュージカルに限らず東京集中型になりがちな演劇事情だが、関西にはお笑いパワーだけでなく、宝塚だってOSKだって上方歌舞技だってある。そんな土壌に若い人向けの演劇が根づかないはずはない、というポリシーから昨年4月に開校した舞台人のプロを養成するための学校。大阪はメインストリート、御堂筋沿いのパルコやソニービルが並ぶ心斎橋そばの一角。カルチャーBOX。BOXという文字が目立つ大きなビルの9FとIOFが、学校部分になっているが、他の階の各種スタジオも、必要に応じて学校のために開放される。

システム
昼間部と夜間部があり、生徒の年齢や職業も幅広い。17才～28才までという生徒たちの中には4人の現役の高校生、主婦、会社勤務のサラリーマンなどもいるが、本当に舞台を目指す人のために組んだというハードなクラススケジュールとレッスン内容は、趣味的な気持ちではとてもついていけない厳しさも。中でも、この学校の特色を出していると思えるのがアクションとパントマイムという二つのユニークなカリキュラム。

レッスン見学　アクション
ヤ・フーンというアクショングループの主宰者萩原宏信さんが教えているアクションは、身軽に舞台で動ける体をつくるだけでなく、スタントや殺陣（たて）を身につけることで役や、演技の幅を広げ、可能性を広げる。この日、二列に敷かれた床マットの上で、男生徒と女生徒組に分かれてバク転の練習。両足そろえて弓なり。体の固い人には、先生の補助の手がそえられる。バネは男生徒、柔らかさでは女生徒の方に歩があるという。体のカンがものをいう舞台。これは、役に立ちそう。

レッスン見学　パントマイム
元そとばこまちの上海太郎さんが教える'88年9月から特設した目玉クラス。出席率のいい順に20名が選ばれた。体ほぐしの柔軟体操から、どことなく他の授業と違う。首を前後右右に突き出すかと思うと、全身の力を抜いてクターッと二つ折れになる。末端から体の中心の部分まで、微妙な重心移動が行われる。まだ開講したばかりのクラスというせいもあって、先生の上海さんのデリケートな動きそのままにはついていけないようだが、生徒たちは楽しげにやっている。そういえばこのクラスに限らず、全体的に先生と生徒の間に和やかな親しさが漂っていたのが印象的。

◆募集人員　本科昼30人・夜30人
◆修業年限　2年　オーディション等に受かれば、1年で卒業も許可される。
◆カリキュラム　演劇　各種ダンス　バレエ　声楽　日舞　特別講師（山田卓、鴻上尚史、夏木マリ他）による集中講義あり
◆入学金10万円　設備費12万円　授業料年額48万円　実習費別途
◆募集〆切日　2月24日
◆試験日　2月25日　26日
〒542　大阪市南区鰻谷西之町38―3カルチャーBOX心斎橋
TEL06・244―0770

劇団青燕座研究所

なんといってもミュージカルで有名な劇団。野沢那智が代表。小劇場なればこそのミュージカルを追求して13年目。「スイート・チャリティー」の戸田恵子はここの生んだ本格女優。

◆募集人員　演出・演技・制作各部若干名
◆修業年限　2年
◆カリキュラム　呼吸　発声　調音　声楽　クラシックバレエ　モダンダンス　実習上演
◆入団費各部とも10万円　授業料ほか35万円（演出と制作は別に規定）
◆募集〆切日　第一回2月19日　第二回3月26日
◆試験日　第一回2月18日　第二回3月25日
◆メモ　修業年限終了後は選ばれて準劇団員に。成績や出席不良者は退団勧告も。
〒151　東京都渋谷区初台2―14―9
TEL03・379・5051―

劇団音楽座

桐朋短大の演劇科出身者の同志で結成。生演奏の音楽が注目されている。曲もオリジナルで作るが作品もオリジナルが主体。新しいミュージカル創造への意欲にあふれた劇団。
〒194　東京都町田市原町田5―5―15サマデビル　TEL0427・22―1―89。
募集については問合せのこと

ダンス・ダンス・ダンス・タイプ

踊りだと、なぜか自分の気持ちがラクに出せそう、どちらかと言えばカラダ感覚で生きたい、と思ったらダンスをやるっきゃない。汗をかいてレッスンして、それからスポットを浴びているだけで、何でもできそうな気になったりする。もしついでにセリフを言ったり、歌ったりもしたくなったら、ミュージカルやドラマも上演してしまうダンススタジオもあるし。よく踊る人はよき演技者でもあるそうです。

▼劇団四季や宝塚、遊眠社や東京キッドブラザースの振り付けで有名な謝珠栄が、プロのミュージカル俳優を育てるために本格的なダンススタジオを'87年3月にオープンした。まだ2年弱だというのにすでに生徒数は五百人を越す人気ぶり。それもそのはず、謝先生は、どんなに忙しくっても、年に一度はかならずロンドンやニューヨークへ行って、新しいステップなどを修得してきて生徒に教えるという熱心ぶり。それに、「仕事に対してプロ意識があり、舞台に対する気持ちの強い人を育てていきたい。優秀な人にはどんどん仕事をさせて、食べれるようにしてあげたい」と思っている、そんな気持ちが生徒みんなに伝わるから。実際、もう仕事として舞台に立っている人もかなりいるとのこと。がんばった人が勝つ!!

システム
月謝週一回6千円　二回1万円　三回1万3千円　四回1万6千円　五回1万9千円
チケット制1枚1万8千円
〒104　東京都港区南青山5―3―2金銀連総連会館2F　TEL03・409・0445
家城比呂志ジャズダンススタジオ
TEL03・7―0・6―28
神ひろしジャズダンスジム
TEL03・205―1034
名倉加代子ジャズダンススタジオ
TEL03・404・5288
アロックダンスドラマカンパニー
TEL03・419・3861―
AZドラマカンパニー
TEL03・200・7981―
〒585　大阪府南河内郡河南町東山
TEL0721―93・6583
文化学院文学科
コース（演劇）
〒101　東京都千代田区神田駿河台2―5
TEL03・294・7551
（この後の学校は座学のみ）
明治大学文学部文学科
コース（演劇学専攻）
〒101　東京都千代田区神田駿河台1―1
TEL03・296・4183
早稲田大学第一文学部・第二文学部
コース（演劇専修）
〒162　東京都新宿区戸山1―24―1
TEL03・203・4111
成城大学文芸学部
コース（芸術学科）
〒157　東京都世田谷区成城6―1―20
TEL03・482・1118―

照明・音響・美術、裏方タイプ

俳優なんて考えただけでも恥ずかしい。演出家もやたらしんどそうだ。でも舞台づくりに参加してみたいとなると裏方かなあ、と、ひそかにやる気のある人には、陰の主役、照明・音響・美術の世界がある。芝居が好きで、そのうえメカに強かったり、絵が上手だったりしたら、これはもう鬼に金棒。陰の王道つっ走って、なくてはならない裏方になったら、それこそ立派な技術者の誕生です。

東京照明技術学院

一番の特長は上級になると参加できるインターン制で企業実習が行われ即戦力としての力がつく。専門科は本科よりレベルは高く、舞台照明も演劇、舞踊、音楽と細分化する。

◆募集人員　ライティング専門科30人　ライティング専門科30人
◆修業年限　本科2年　専門科1年
◆カリキュラム　照明に関する理論、実習をはじめ色彩、コンピューター、英会話など多岐にわたり、特別講座では演出、音楽、舞踊ほかの舞台・芸術に関する講義がある。
◆入学時納入金　本科59万円　専門科46万円（両科とも授業料・実習費は半期分）
◆募集〆切日　4月生3月末日
◆試験日　本人通知
◆メモ　専門科は、専門学校や大学の卒業者や中退者、および社会人を原則的にとる。
〒106　東京都港区六本木4―9―2俳優座ビル903　TEL03・478・4510
東京工学院専門学校
コース（演劇科・音響芸術科）
〒151　東京都渋谷区代々木1―35―4
TEL03・379・2626
東放学園専門学校
コース（音響芸術科　放送技術科照明技術音響芸術科）
〒168　東京都杉並区和泉2―4―1
TEL03・3323・8531
千代田工科芸術専門学校
コース（演劇・ミュージカル科）
〒110　東京都台東区下谷1―5
TEL03・842・1901
日本工学院専門学校
コース（演劇科　音響芸術科）
〒144　東京都大田区西蒲田5―23―22
TEL03・732・1111
日本電子専門学校
コース（音響芸術科）
〒160　東京都新宿区百人町1―25
TEL03・363・7761

キャンパス・タイプ

学生の身分が好き！　キャンパスの雰囲気から離れたくない。でも演劇しかやりたくない。というぜイタクものにも道はある。たとえば早大のように教養的な座学（実習なし）のところから、桐朋短大のように積極実習のところまで内容には差があるし、入試もはっきり言ってラクじゃない。それでも入ってしまえばこっちのもの。とりあえず何年間かじっくり演劇を腰をすえて勉強して、その先の進路はあわてず騒がずの余裕がある。

桐朋学園短期大学芸術科演劇専攻

音大としても有名な大学だが、実技と理論をしっかり教えてくれる教育機関として、卒業後、舞台で活躍している人は多い。上に演劇専攻科があり、さらに勉強を続ける人も。

◆募集人員　50人
◆修業年限　2年
◆カリキュラム　マイム　体操　洋舞　声楽　演劇理論　演劇史ほか
◆入学金25万円　授業料年額57万円（前・後期制）
◆募集〆切日　郵送2月20日　窓口2月24日
◆試験日　一次2月28日～3月3日　二次3月4日・5日
◆メモ　短大であるから、大学入学資格が必要となる。
〒182　東京都調布市岩戸町1―41―1
TEL03・300・2111
日本大学芸術学部演劇学科
コース（教養　演出　演技　舞台美術　舞踊）
〒176　東京都練馬区旭丘2―42
TEL03・972・2111
玉川大学文学部芸術学科
コース（演劇専攻）
〒194　東京都町田市玉川学園6―1
TEL0427・28・3130
共立女子大学文芸学部
コース（芸術学専攻・劇芸術）
〒101　東京都千代田区一ツ橋2―1―1
TEL03・237・2436
大阪芸術大学
コース（舞台芸術科）

構成・文
榊原　和子
佐々木秀隆
やぎひさえ

劇団東演附属
演劇教室

劇団創立30周年の記念の年にいよいよ充実の教室で、演劇の第一歩を踏み出してみませんか。「情熱」と「実績」の確実な教室です。

■基礎科（月・水・金の夜間）
演劇の基礎から学びます。スタートがその後を決めます。遠回りのようですが、基礎科で演劇の魅力を体得して下さい。卒業時にその集大成を発表します。

■専攻科（火・木・土の夜間）
基礎科卒業生と経験者を対象に年二回の実習公演が主体です。時間をかけてさらに演劇の本質を学ぶコースです。卒業生から劇団東演入団者を選抜します。

準劇団員（演技部・演出部）受験希望者も同様に申し込んで下さい。

●応募要項は60円切手10枚同封のうえ下記の劇団募集係まで。

■試験日　於 東演パラータ
①3月12日(日)　AM10:00～
②4月9日(日)　〃
③4月30日(日)　〃
●試験内容
筆記（一般常識・小論文）、実技（簡単なリズム・エチュード）、面接
〔基礎科希望者は面接のみです〕
●受験料
基礎科・専攻科は 5,000円
準劇団員希望者　20,000円

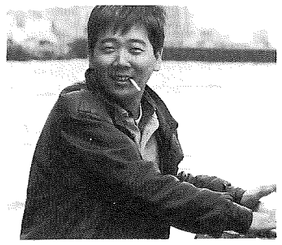
～'89年全国巡演の作品～

TS劇団東演
〒155 東京都世田谷区代田1-30-13
TEL 03-419-2871
FAX 03-414-4753

★脚本家の倉本聰の富良野塾の生活や塾の成り立ちをドキュメント風に作劇したのが「谷は眠っていた」。塾の内容を知るうえでも参考になりそう。　東京公演―1月14日～28日　下北沢本多劇場　問劇場 03・468・0165　神戸公演　2月3日～5日　新神戸オリエンタル劇場　問劇場 078・291・9999

●鴻上尚史第1回監督作品「ジュリエット・ゲーム」出演▶村上弘明、国生さゆり、第三舞台、他。2月上旬シネスイッチ・銀座、新宿トーアI。大阪でも同時公開予定。

カーキ色は現場の色「ジュリエットゲーム」



12月4日にクランクアップした鴻上尚史第一回監督作品は、走りに走る新しい愛のかたち。水上ロケに出かけた、ある日の朝の鴻上監督

11月の終りともなれば、朝の風は肌に突きささるようで、その冷気の中、黙々と機材を用意する男たちのシルエットが浮かぶ品川の日ノ出桟橋。「これが映画ってもんだよね」と、昼すぎにやっと賑わう演劇業界の人間はいたく感動してしまう。カーキ色という汚れの目立たない色調がかなりの数をしめるスタッフの中に、やっぱりカーキ色の鴻上監督はいた。これから水しぶきを浴びる水上ロケのためにはいた赤いビニールズボンが、そのまま闘志の色。そこへ白いブルゾンに白いパンツという姿も爽やかに、やってきたのは第三舞台の勝村政信さん。今日の水上ロケに出演というわけ。他の第三舞台の人たちは、すでにそれぞれの場面を終えていて、彼一人、最後に出番が残っていたのだ。

エキストラの人達や勝村さんが乗船した水上バスに乗ってみる。揺れる。うねりのたびに傾く。走らないまま揺れているというのはツライ。でも、真剣勝負のスタッフや監督には揺れなど無いも同然。国生さゆり、村上弘明、大地康雄らの出演者と打ち合わせたり、機材のセット、追いかけ用のモーターボートを用意したりと、出発までの2時間は慌ただしく過ぎる。

9時30分、スタッフと出演者とお弁当とコーヒーを積み込んで出発。東京湾の波は、思ったより白く美しい。勝鬨橋から佃大橋へと隅田川を上ったあたりで撮影開始。スタッフ達の後ろからソーッと背伸びしてのぞくと、カメラの位置を決め、役者達に演技を指示する監督の姿。そのうち、勝村さんの場面になる。彼は国生さゆりさんの写真を写そうとするところを、村上弘明のモーターボートで邪魔されるカメラマン役。甲板の冷たい風の中、テスト、テスト…本番。緊張！　OK。この午前中の撮影では、なんと20cmしかない張り出しタラップに監督とカメラマンなど三人も乗って撮影するというコワーイ場面もあった。「現代では変愛は幻想でしかない。そうわかっていても走るというのがこの映画。観た人が、だめかもしれないけどやるだけやってみようと元気になってくれたら勝ちだね」「やっぱりお客に受けなきゃ、だめだよね。受けて、なお芸術的っていうふうに作るよ。」少し陽のかげり始めた冬の午後、鴻上監督の後姿は、再びカーキ色の現場にまぎれこんで、見えなくなった。（さかきばら）

『大河小説』NOBUYORI

長らくお待たせいたしました、ようやくこの物語の主人公藤原信頼が登上。●ひさうちみちお

「これ、信西よ、なんぞオモシロキ事はないもんかのお。」

日本国の最高位、天皇陛下となり、名もM親王からGS川天皇と立派に改まったにもかかわらず、そのGS川天皇はやっぱりHな事を考えていました。

「みなは、このところ帝がIMAYOH（今様）をあそびしませぬ言うて淋しがっておりますが。」

「あのようなもの何がオモロイものか、朕の今様がロ実なるはそなたもよう存じておろうが。」

いつなんとき戦争になるや分らんゆう時にこのオッサンだけは相変わらずやなあ、と思いながらも信西は愛想笑いを崩さずにまた聞き返しました。

「はい、それは、マ…。それではその口実に隠れてのお楽しみの方はパッとしまへんのであらしゃりますか。」

「おお、以前はあの、信頼もいろいろとオモロキ事考えよったけれど、最近はいささかマンネリのきざしあらん。」

さて、みなさん、大変長らくお待たせいたしましたがここでようやくこの物語の主人公の名前が登上いたしました。このお話のタイトルにもなっております、NOBUYORIこと中納言左兵衛督藤原信頼であります。

GS川天皇の即位が実現しS徳上皇の反乱が必至となった時点において信西の権力闘争は対S徳派からGS川派の内部へと変ってきました。当然GS川天皇の寵臣が信西の打倒すべき目標となるのですが具体的には関白基実、藤原成親、そして中納言信頼といったところが御簾の面こまとわりついています。その中でも特に信頼は家柄もさほどではなく文武両道に劣りこれといった芸もない凡人ながら何故か三年の間に皇后宮職から蔵人頭、中将、検非違使別当とトリクルートの如き急成長を遂げ現在に至るとゆう不可解な存在でした。少しばかりの美形を良い事にGS川天皇へ己が尻ぐ献上し、どうぞこの関係を結んだが故の出世と噂する者もありますが、帝が男好きとはとうていいえないね。むしろ女好きの帝にいろいろと趣こらしたHを企画し、その方面で重宝がられてるくらいのものだろうと信西は考えました。

しかしその一方でT羽上皇のお尻の得子をあのように欲したかと思えば今日はまた退屈をもてあますGS川天皇を見て信西は、信頼組み安しと思ったのです。

「信頼め、Hの趣向にも底が見え始めたに違いあるまい。」

帝に聞こえぬように小声で一人言を言ったのでありました。

演劇ぶっく Back Number Line-up

バックナンバーのお申し込みは、ハガキか電話でお申し込みください。料金は本が到着後、同封の郵便振替用紙にてお支払いください。

（申し込み先）〒164 東京都中野区中野5・67・6・406 (有)演劇ぶっく社 ☎03・2228・2545

No.6 ¥600 ¥250
特集 東京グランギニョル全記録
◆半神　夢の遊眠社◆愛すべきジョーなやつ　第三舞台・伊藤圭吾◆第三エロチカ・水内清光。他◆木野花インタビュー

No.7 ¥600 ¥250
特集 夢の遊眠社「明るい冒険」
◆風と共に去りぬ　大真央◆ブリーク第三エロチカ◆涙なしで玉葱の皮をむく方法　遊◆機械／全自動シアター

No.10 ¥500 ¥200
飴屋法水・三上晴子インタビュー
◆小須田康人インタビュー◆ピック・アップ5　自転車キンクリート・南河内万歳一座・他◆小指の思い出　夢の遊眠社

No.11 ¥600 ¥250
特集 舞台プレビューのすすめ
◆館岩三十二　ロロ・ロロ&DR◆劇団青い鳥ゆ・たんぽ　◆第三舞台モダンスラップ・特別編　◆梅舟・惟万誌・遊◆機械／じょてぃ・ネヴァーランド

No.13 ¥600 ¥250
「半神」劇団夢の遊眠社
◆役者は誰見間違えるか◆プロジェクト・ナビ「雪をわたって」木村想インタビュー◆ハロルド・ピンター／コレクション」鵜沢を理・鵜田久作インタビュー

No.14 ¥600 ¥250
「大恋愛」木野花・出演者インタビュー
◆「ハーバーブタ」ピーター・ブルック、インタビュー◆MM（飴屋法水ほか）、辰巳琢郎、野田秀樹、川村毅インタビュー

No.15 ¥600 ¥250
特集 野外劇
◆夢の遊眠社、彗星の者・段田安則インタビュー◆第三エロチカ「ROOT WARD」海老原洋之インタビュー◆第三舞台「天使は瞳を閉じて」◆大鴻みずきインタビュー

No.16 ¥600 ¥250
花組芝居「怪誕身毒丸」
◆MM（飴屋法水　鴻田久作　他）◆蜷川幸雄・上杉祥三・三宅裕司・深津真喜世インタビュー◆遊◆機械／全自動シアター「BABY ROOM」

No.4 ¥500 ¥200
特集「ラスト・アジア」
◆小須田康人インタビュー◆ピック・アップ5　自転車キンクリート・南河内万歳一座・他◆小指の思い出　夢の遊眠社

No.2 ¥500 ¥200
野田秀樹×大地真央＝「十二夜」
◆石舞台七変化3部作一挙上演　夢の遊眠社◆根津甚八インタビュー◆スワンソングが聴こえる場所　第三舞台

ENBU Information

えんぶ・ちけぷれII

青春宝庫
『恋と冒険に生きたい』　1月20日～25日　池袋シアターグリーン　問い合わせ☎03-579-4529　御招待10組20名

EXCITING・カンパニー
Vol.15『自雷也－泡沫の怪物－』1月19日～22日　新宿スペース・DEN　問い合わせ☎03 774 1071　御招待10組20名

劇団モナ・リサ
第4回公演『不思議の国のメシア　86区6丁目物語－』1月27日～29日　新宿スペース・DEN 問い合わせ☎03 416 9135　御招待3組6名

みつかぼうず
第4回公演『静かなる床下の爆弾』　2月1日～5日　新宿ダイニイアリス　問い合わせ☎03 792 2446　御招待10組20名

劇団浪漫伝
第7回公演『森林限界譚』　3月10日～13日　明石スタジオ　問い合わせ☎03 984 2784　御招待5組10名

劇団カレイドスコープ
第10回公演『Q俳記』　3月17日～21日　学芸大学駅前千本桜ホール　問い合わせ☎03-365 7137　御招待5組10名。

スタジオライフ
『タイガー・バーム・フィーバー』　2月3日～8日　池袋シアターグリーン　問い合わせ☎0422 22-3515　御招待10組20名

えんぶ・ちけぷれIIは偶数月の5日までに編集部に読者プレゼント用チケットとして送られてきた公演を掲載します。公演日が演ぶ発売日に近すぎたり、掲載希望劇団多数の場合は、掲載できない事があります。（佐々木）

★夢のプレゼント★

★SKINのパンフレット★
M.M-MA演「SKIN」のパンフレットを3名様にプレゼント。

★青い鳥サイン入りTシャツ★
青い鳥の公演中に販売していたTシャツに5人のサインを入れて6名様にプレゼント。
（カラー：グレー3枚、ホワイト3枚）

★直筆サイン入りホワイトテレカ★
インタビューでお会いした時に、演ぶの読者のためにサインしていただいたホワイトテレフォンカード！今回は松沢一之さん、山下容里枝さん、麻路さきさん、大輝ゆうさんです。

★キャビネ版プリント★
本誌掲載の写真をキャビネ版プリントにして1名様にプレゼント。

応募方法
①アンケートハガキにこのページ右下のプレゼント券を貼る。　②アンケートに答える。
③希望のプレゼント品を書く。　④切手を貼る。　⑤郵便ポストに投げ込む。⑥待つ♥

♥オーディション情報♥

花組芝居
3月公演「かぶき座の怪人」の出演者を募集します。
資格◆健康な男性であること。
方法◆履歴書と60円切手を同封の上、郵送のこと。
〒156 世田谷区松原1-27-17 緑樹荘22　花組芝居
メ切◆1月末日　オーディション日は後日連絡します。

劇団JOE Company
今年はスズナリ、モリエール等の劇場を含め年4回の公演を行ないます。ステキな新人俳優と制作スタッフ、アシスタントを募集します。芝居を本気で愛している人、何かに熱くなりたい人、は是非御応募お待ちしております。
方法◆住所、氏名、年齢、性別、電話番号と役者志望かスタッフ志望かを明記して郵送して下さい。着き次第こちらから御連絡します。
〒151 渋谷区幡ヶ谷1-2-9 明日香ビル6FB
☎03-370-9083　劇団JOE Company
メ切◆2月4日（必着）面接日◆2月11日

オーディション情報のコーナーは掲載無料です。掲載を希望する劇団は、下記の要領で原稿を御よせ下さい。
①劇団名　②小見出し（20字以内）　③募集文句（劇団紹介なども含め100字程度）　④応募資格　⑤応募方法　⑥問い合わせ先　⑦日程（メ切、審査日時など）
所在のはっきりしない劇団の募集記事は掲載しかねますので、過去又は今後の具体的な活動内容を編集部までお知らせ下さい。

遊◉機械／全自動シアター
役者、スタッフを若干名募集！
資格◆18歳以上の男女
方法◆履歴書、全身とバストアップの写真各1枚、志望理由と最近おもしろいと思ってることを各800字以内にまとめて郵送のこと。メ切は1月末日。結果は2月以降にこちらから連絡いたします。
〒150 渋谷区東3-24-9-703　☎03-797-1788

加藤健一事務所
制作スタッフ1名募集／　2月25日〆切！
〒166 杉並区高円寺南2-16-3　☎03-314-3998

ALOK DANCE DRAMA COMPANY
1989年上半期団員研究生オーディション
従来のダンスの概念にとらわれない自由な感性、あくまでもメジャーを追求し続けるバイタリティ、そして何よりも本気で踊りたいパッションを持っている方。私達は新しい出逢いを心から歓迎します。
資格◆18歳以上の男女
方法◆60円切手10枚を郵送し、資料を請求して下さい。規定の書類とオーディション料5千円を同封して提出。
日時◆1月生＝1月29日、2月生＝2月26日、3月生＝3月21日、メ切は実施日の2日前。
〒155 世田谷区代沢4-30-14　☎03-419-3861

演劇集団キャラメルボックス
2月、5月の公演に向けて即戦力を募集します。
資格◆満20歳以上の男女。即戦力となる経験者を優先的に採用します。
オーディション内容◆第1次審査：書類審査（写真、作文）結果は電話でお知らせします。第2次審査＝オーディション（面接、1500M走、簡単なセリフ）結果は後日郵便でお知らせします。
方法◆①写真（全身、上半身、舞台写真可）　②作文「今まで見た中で一番感動したもの」（800字以上）
③履歴書　以上同封の上、下記までお送り下さい。
〒161 新宿区中落合2-12-28 演劇集団キャラメルボックス　新年オーディション　演ぶ係
問い合わせ☎03-565-2732
メ切◆1月18日（必着）
オーディション実施日◆1月22日(日)　10時より

ワンダーランド
ワンダーランドは結成7年目の劇団で、毎年2～3本のオリジナル作品を上演しています。「元気のでる芝居を多くの人にできるだけ安く」がモットー。ハートのある人を求めています。
18歳以上でプロを志す人（10名、男・女）。劇団の維持費は月5000円で、稽古は夜です。試験は面接とエチュード。身上書付履歴書を郵送下さい。面接日をお知らせします。
〒215 川崎市麻生区片平3-6-15　ワンダーランド
☎044-987-4864

セゾンTV　お知らせ&嬉しいプレゼント

ウマグマシアター　1月はブリキの自発団、2月は花組芝居（予定）。人気若手劇団の紹介用番組です。
テアトロパラダイス　演劇情報ビデオマガジンです。1月号は、「赤穂浪士」「NORD」「じてキンスペシャルライブ」「ブリキの円形公演」などの稽古場や現場取材、そして太地企画の大橋瑶介さんも登場。**テアテアトロ&ウマグマ**　毎週火・土曜日に有楽町西武内のケーブルTVで放映しています。
放映ビデオ販売中　毎月の演劇情報いっぱいのテアトロパラダイスと、人気劇団のプロモーション風ビデオのウマグマを実費でお分けします。B・Nの一覧表などのデータはセゾンTVまで申し込んで下さい。
〒100 千代田区有楽町2－5－1　有楽町西武デパート内セゾンTV　TEL 03・286・5457
セゾンTVへの御意見、御感想を"演劇ぶっく"まで送って下さい。1月、2月のうちどちらかをプレゼント。Vかβかを明記の上、ブリキか花組と書いて下さい。演ぶアンケートハガキでも可。

演ぶ読者だけ特別御招待！

"バルテノン多摩小劇場フェスティバル'89"の各公演10名様、計70名様を御招待してしまうという、ふとっぱらなプレゼント／本誌ライターのきりがやなおみも審査員として参加し、演劇ぶっく19号でリポートを予定している。これは見のがせないぞー／
往復葉書に住所、氏名、年齢、電話番号と、希望日、劇団名を記入して演劇ぶっく編集部へ郵送して下さい。
返信用葉書で当選をお伝えします。フェスティバルの日程は66ページのプランニングニュースを参照してね。

でんごんノート

劇団一大事
「ボーイ・ミーツ・ガール」スタッフはもちろん、基礎練習なしで友達の輪づくりから楽しく活動をスタートさせ、友達を広げながら楽しく活動する。"年齢"不問、初心者大歓迎。住所・氏名・電話番号・簡単な自己PR・年齢・身長・体重・利き足・利き手・過去の経歴、60円切手同封の上、今すぐポストへ。〒194 町田市成瀬が丘3－30－19　鳴恵子

舞語「好著社」
国内、海外公演に向けて、舞踏に興味のある新人を求めます。週2回の稽古。そして続けられる方。左記へ。三鷹市上連雀5－27－28　好著社・和栗由紀夫

劇団ふぁんたじあ
キャスト・スタッフ募集。「宝塚観劇だけじゃものたりなくなってきている貴方！一生に一度、男役をやってみたいという貴方！私達と宝塚しませんか。"18才以上の女性で休日レッスン可能な方。60円切手を同封の上御連絡下さい。〒340埼玉県八潮市中馬場22－7原方　ふぁんたじあ

オフィス・マリカ
ショー・ガール&ボーイ募集。ダンスシアター・マリカジャパンではダンス・ショーのバックケ、シンガイベント生やOLが登録しています。16歳以上の男女。顔と全身の写真を各一枚、履歴書、返信用郵送料を同封の上、1月31日までに下記までお送ください。〒107 東京都港区大久保1－12－3ハーサ第2新宿7F　オフィス・マリカ　係
☎03・207・1005

連絡下さい！
11月18日・渋谷でSKINを一緒に観た4人組の少女たち、誰でもいいから手紙をください。またみんな下の台を観ましょう。〒277千葉県市川市大州4－4－16　加藤麻由美

文通しよう！
「レ・ミゼラブル」のファンで、ミュージカル俳優をめざしている方。お手紙下さい。〒134江戸川区南葛西3－16－2－448　松岡めぐみ

譲ってーッ！
演劇ぶっく創刊号、8、9、12号を譲って下さいッ！定価は金と送料はもちろん負担します。まずは御一報下さい。〒444－21愛知県岡崎市百々西町19－6清水荘3号室　青木直美

ダビングさせて！
宝塚歌劇団月組の公演で、テレビで放映されたのを録画しなさいって、どうするかビンビンさせて下さい。大地真央さんがトップさせて下さい頃月組公演がもっとも面白かったと思うから、どうしても録画してもらいたいです。〒381－04長野県小県郡丸子町城下町3203－17　高寄亜樹子

演劇ぶっく選定

冬のすいせん課題図書 ～教養娯楽編

演劇低～中学年向

文・にわとこなほこ　Model：薄浦福子　香川典子(Pick wick)

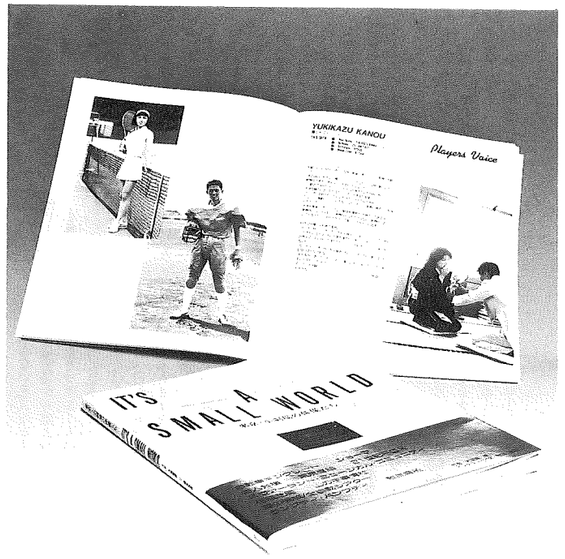
ハート取表
♡　ヒマとお金があったら読めばぁ
♡♡　ヒマがあったら読んで
♡♡♡　読んでほしいっ
♡♡♡♡　絶対読まなきゃ！
♡♡♡♡♡　死んでも読みなさい
（なお、このハート取表は全くの直感によるものなので、大騒ぎしないよ！に）
（誰も騒がないって）

寒風吹きすさぶ中、テクテク劇場に足を運ぶのはけなげな感じがしてちょっとイイです。でも、あったかーい部屋で一人静かに本を読む、なんとまぁ冬の幸せではないでしょうか。そんな冬の幸せにふさわしいと思える演劇関係の本を選んでみました。　（尚、読書感想文の募集はしませんが、送ってくれてもいいよ！）

写真集 IT'S A SMALL WORLD

東京・小劇場の俳優たち

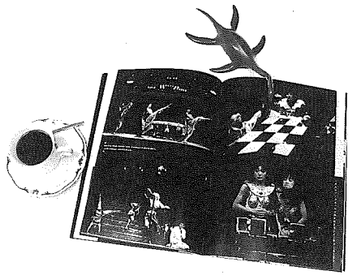
もーサイコーなのが花組芝居の加納サンのテニススコート姿！なんだかレトロっぽく、皇室テニスっぽく、おみあしは極めて美しい、という写真で一週間は思い出して笑って明るく過ごせる！同じページにりりしいラグビー姿の写真もあるのに、あまりにテニススコート姿がまぶしくて他が目に入らない！……と、いうように小劇場を代表する22人の役者さんたちが、それぞれ、扮装したり演技した写真と素顔の写真と両方楽しめます。なかなか凝った写真が多く、ただの宣伝用の舞台写真程度ですましてないところがサスガ写真集です。（あたりまえか）インタビューでは、各自好きな映画や音楽や本についても語っているのですが、こういうの読むと私はすぐ同じビデオ貸りたり本買ったりしてしまうんですねえ。♡♡♡



千早書房　¥2,500

写真集 夢の遊眠社

以前、遊眠社のアンケートには「遊眠社にやってほしいこと」を書く欄があって、私は「写真集を出してほしい」というミー八ー的回答をしていたら、そのうちこの写真集がでてオロカにも自分の手柄のように喜んだものでした……内容は遊眠社10周年記念出版だけあって超盛りだくさん。豪華舞台写真、役者自己紹介（幼い頃の写真付）、中でも野田さんの日記と稽古や製作風景の写真でつづる"宇宙蒸発"のできるまで」は普段見れない舞台裏をのぞくみたいで面白い、「役者鑑賞の手びき」は、以前野田さんが公演パンフに毎回書いていたものですが、これを読んで改めて好きになった役者さんもいました。ファンは必携の一冊！♡♡♡♡♡

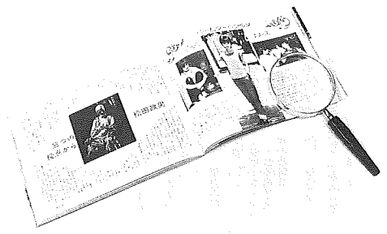


講談社　¥2,500

ザ・グラフィティ

～いま演劇の異兄弟姉妹たち～

'84年発行のこの本には、各劇団の昔の写真がたくさんでていて、「わー大高さんが若い！」とか「えー深浦さん違う人みたい……」とか「美加理さんカワイイ」とか、なんか昔のアルバムを見てるような気分になれます。詳しい上演の記録などもしっかりのっているし"劇団のあゆみ"みたいなものがわかるようです。写真集とか本とかを出してない劇団については、あまり昔のこととか記録的なことってなかなか知るチャンスがないので、この本はかなり貴重ではないかと思います。♡♡♡



新水社　¥2,300

ファン本

なかよし読本（青い鳥）

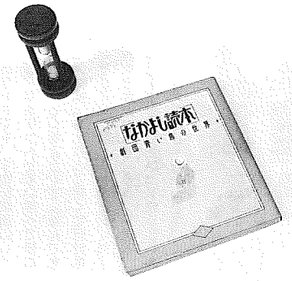
白水社　¥1,200

青い鳥は芝居をつくる時、台本は使わずにメンバーで話し合ってつくっていく、というのは有名な話ですが、この本の青い鳥メンバーによる座談会や、「青い実をたべた」の製作日誌を読むと、その話し合いがどういうものかなんとなくわかるような気がちょっぴりしてきます。見た夢の話や幼い頃感じていたことの話がどんどんふくらんでいく。…やっぱり発想が豊かっていうか面白いこと考えるなぁなんて感心してしまう。…「夏の思い出」のチラシの帽子の少女＝高野文子さんのイラストの表紙も気に入ってます。♡♡♡

That's Super Eccentric Theater（SET）

「SETが本になった」と本にかかってるオビに書いてあるとおり、役者同士の対談、自己紹介、役者自身の思い出のコメントでつづる公演記録など、ホントに役者さんのナマの声がそのまんま活字になってつまっているという感じです。ファンにとってはどんなエライ人のウマイ文章より、役者さんが語る言葉の方がずーっといいもの、こういう本はうれしいと思います。他にも舞台メイク講座とかカラオケ講座とかヘンな企画がとてもSETらしくて良いなあ。♡♡♡

東京四季出版　¥1,000



猿之助の歌舞伎講座

宙乗りに早替り、あっという間に舞台の場面がかわる、バラバラの骨が寄ってくる、など驚きの歌舞伎の仕掛けが、写真や図解でわかって「へえなるほど」と感心します。猿之助さん自身の解説も丁寧でわかりやすく、しかも舞台に立ってる本人の言葉なので臨場感があるというか、興奮が伝わるようで、見てない演目でも見てるような気になっちゃう。それから、手放しで「歌舞伎は素晴しい」と決めつけてないところがいいんです。そのままでは現代人にとってはテンポが遅すぎたり、退屈だったりする歌舞伎もある。それをどうしたら面白くできるかって考えて実行している、そういう猿之助さんの考えもわかって、ますます猿之助歌舞伎が好きになります。♡♡♡

新潮社　¥1,100

ガイドブック

TOKYO芝居探検隊

小劇場ハンドブック

初めてこの本を読んだ時、ほとんど感動しながら読んでいたら電車を降りそこねました。…どこがそんなに感動的かというと、ありがちおんなじたいくつパターンでは全くなく、小劇場がはやってるみたいだしこの辺おさえとけばトレンディかな的発想が全くみられず、本当に芝居が好きでちゃんと見ている人が、キッチリ書いたってことが伝わってくるところです。芝居初心者には当日整理券発行機敷席での不安感をぬぐいさるアドバイスなどまで、これ以上ない親切なガイドだし、上級者には喜ばれるさし入れなどまで、知らなかった情報も多いし、誰もが本当に知りたかったことだけがつまってるというカンジ。芝居を見に行く勇気、見に行きつづける元気をくれるような本です。♡♡♡♡プラス♡おまけ♡

JICC出版　¥1,200

東京芝居

小劇場お楽しみガイド

評論家の川本三郎さんと松岡和子さんの対談だけあって「メタ演劇」とか「プレヒト的」とか「不条理」とか難しい話も出てきますが、こういった用語や人名、作品名にも詳しい注釈がついているので、今までいまいち意味がわからないままにしていたことがハッキリしてスッキリするし、表面的な劇団の紹介にとどまらず、現代の演劇についてまで内容は深く濃いのです。それでも全然固苦しくなく読めるのは、川本さんも松岡さんも「これは好き」「どうもダメ」とか好き嫌いをはっきり言ったり、気に入った芝居の場面をぱーっと説明してたり、なんか私達が普段芝居の話をしてるのと同じ雰囲気があるからかもしれません。♡♡♡♡

IT'S A SMALL WORLD
カメラマン／大須賀 宏
ライター／岡田 惠和
全国有名書店にて好評発売中
IT'S A SMALL WORLD
東京・小劇場の俳優たち
千早書房
【A4変型144頁 定価2,500円 送料300円】
★登場11劇団と俳優★
●自転車キンクリート　飯島早苗　柳橋りん
●ショーマ　加藤忠可　渡辺美紀
●善人会議　岡森 諦　六角精児
●東京壱組　大谷亮介　余貴美子
●21世紀FOX　高橋響子　忍野タケル
●ネバーランド・ミュージカル・コミニュティ　小西宗之　竹内晶子
●花組芝居　加納幸和　篠井英介
●山の手事情社　池田成志　柳岡香里
●遊◉機械/全自動シアター　高泉淳子　篠崎はるく
●ランプティ・パンプティ　松本きょうじ　島崎めぐみ
●離風霊船　神野美紀　森岡六太郎
演劇第四世代を代表する22名の俳優が自ら演出した写真集。お近くの書店にない場合は出版社まで直接御注文下さい。
㈱千早書房
〒102東京都千代田区飯田橋1-7-4
TEL.03(234)1171(営業部)
振替 東京7-151075

歌舞伎　歌舞伎の魅力大事典

美しい舞台写真もタップリ、歌舞伎の型や舞台の仕掛けも写真で見てわかるようになっています。私は、歌舞伎を見初めた頃にこの本を買い、おかげで梅幸＝ばいこう、芝翫＝しかん、などの役者名も読めるようになったし、猿之助は沢潟屋、菊五郎は音羽屋とあのカケ声もわかるようになりました。今でも見る前には「名作解説」を読んで行くし、「歌舞伎の用語」でわからないコトバは調べたりとスゴク重宝していて四四円はよい買物でした。個人的に私は家系図が好きで、幸四郎の弟が吉右衛門かあなんて一人で感心したりしてよく遊んでます。♡♡♡

講談社　¥1,200

エッセイ・小説

ミーハー　この立場なき人々（野田秀樹）

もうこの題名からして「なんだあ、こりゃ」というカンジですが、大丈夫、この本を読んで遊眠社の芝居を見る気になってファンになった人もいますから。野田秀樹氏が髄年に没するまでという楽空の未来でミーハーについて語る、というような内容ですが、別に観客論だとかマジメな話ではなくありません。「ただの水というものを見た若い者はめっきり減った」「昔バナナは食べ物だった」という調子で「ミーハーに捧ぐふりして棒にふる」という前書きから野田秀樹年表まで、見事につくられたフィクションなのです。ワケがわからないけど面白い、遊眠社の芝居みたい…。♡♡♡♡

講談社文庫　¥360

空想と科学　（北村想）

まずこの「空想と科学」という題がいいナ。北村想さんの芝居の雰囲気がそのままある感じがしませんか？　中身の方も、杉浦日向子さんと江戸時代の人々の暮らしについてとか対談してたり、北村さんがフリーハンドでゴジラのマンガを書いてたり、なかなか不思議な味わいのある本です。♡♡♡

白水社　¥1,200

さてさて次回は、実践編！　自分で芝居やろう！なんて思ってる人にも役立つ、芝居の稽古、つくり方がわかる本や戯曲を紹介します。おたのしみにね

シンコー・ミュージック　¥980

ブロードウェイ・ミュージカル

芝居好きにとって、ひとつところにドーッと劇場が並んでいて芝居が山盛りにあるというウェイってやっぱり憧れの場所となってしまうみたいです。そのブロードウェイのヒットミュージカルの舞台写真をはじめ、対談やブロードウェイの歴史などの読み物の他に、シアターマップやニューヨークフィフスアベニューのショップガイドなどもでているので、ニューヨークのトラベルガイドとしても使えそうです。舞台写真もいいけど、私はブロードウェイの街並や劇場の写真が好き。電飾はガンガンだし、ポスターは超特大だし、日本の劇場もこのくらい派手だといいのに。イラストやレイアウトもおしゃれで目に楽しい本です。♡♡♡

スクングジャーナル社　¥1,200

屋根裏部屋のハミング（渡辺えり子）

だいたい童話っていうのは、カワイイ顔してけっこう残酷、というのが多いみたいですけど、この渡辺えり子さんが書いた童話集も、おうじさまやどうぶつやこどもがたくさんでてきてスーッと読んだあとに、ゾクゾクしたり哀しくなってしまったお話が多かったです。でも文章がとてもきれいで、ちょっと詩のような感じもするし、さし絵も素敵でなかなかロマンチックな本です。♡♡♡

筑摩書房　¥1,200

冒険宣言　（鴻上尚史）

どうも私はバックステージものというか内幕ものが好きみたいなんですが、でも誰でも興味あるでしょ？　この本の中でも第三舞台旗上げまでの話が好きです。早稲田劇研のしくみもわかるし、早大テントを思い浮べて読むと雰囲気が伝わってくるようです（なんでもフツーの早大生は「あんなとこ怖くて行けない」そうですが！）。鴻上さんの芝居に対する思い入れもうかがわれて、チョット感激。これから劇団を旗上げしたいって思ってる人はとても励まされるんじゃないかと思います。♡♡♡

光文社　¥690

おでかけ気分　（木野花）

木野さんが、ロンドン、パリ、ニューヨークへ行ったときの旅行日記が一番気に入ってます。ゼンゼン旅慣れてない感じがイイ！　私はこんなに外国を上手に旅して満喫してきました、みたいなのはツマンナイ。木野さんみたいに、慣れない外国ですごく落ち込んだり、その反面一人で出歩けたなんて小さいことで感激したり、芝居をみて興奮したりってことにとても共感がもてます。知らない所に行ったり、新しいことをはじめたりするのは、たくさんエネルギーが必要で疲れる、でもとても楽しいってことを思い出して、自分の"おでかけ気分"が盛り上ってきます。♡♡♡

学陽書房　¥1,200

対談

音楽遊戯　（鴻上尚史）

芝居の中でいつも新しい音楽を大胆に使って私達を感心させる鴻上さん（ブルーハーツなんて印象的）が、ユーミン、チェッカーズのトオル、布袋寅彦、戸川純、デーモン小暮などのソーソーたるミュージシャンになかなか鋭く迫ってます。難しい話も芝居の話もほとんどなく、かといって音楽の話もそれほどなく、鴻上さんもゲストも普通に話したいことを自由に話してるというのが、ふつうの対談じゃ聞けないような発言も聞けます。ついでに写真もかなりヘンで楽しいです。♡♡♡♡

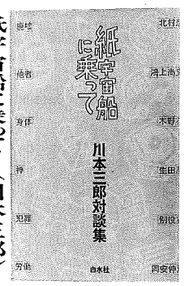
美談　（野田秀樹）

野田さんのお相手は糸井重里、春風亭小朝、森田芳光などさまざまなジャンルで活躍中の人々。後に遊眠社で舞台化された「半神」の原作者、萩尾望都さんも登場します。対談の中にけっこう遊眠社の話がでてきて、オーディションの様子とか、稽古についてとか、意外な所で野田さんの本音や芝居をどんな風につくってるかっていうことがうかがえたりもします。♡♡♡♡

東京書籍　¥980

紙宇宙船に乗って　（川本三郎）

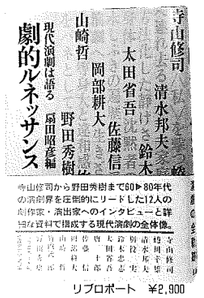
北村想―「廃墟」、鴻上尚史―「他者」、生田萬―「神」というようにテーマが決まっていて、芝居の話と共に現代社会についても話しているのですが、なんか現代社会というと核戦争とか子供の自殺とかでてきて、単純な話、とってもクラくなれました……鋭い分重い対談かな…。映画やマンガや本の話もたくさんでてきて、鴻上さんが6ページ分もファミコンの話をしていて、すごく楽しそうだったのが印象的。きっとファミコンが欲しくなるから注意！♡♡♡



白水社　¥1,300

劇的ルネッサンス　（扇田昭彦）

寺山修司などなど＝名前は知ってるけどよく知らない、蜷川幸雄、唐十郎などなど＝今やってることは知ってるけど昔やってたことはよく知らない、という私のような人が、少し前の世代の演劇のことや今の小劇場演劇にたどりつくまでの過程のようなことを、「ちょっと知りたいな」と思ったときにピッタリの本です。他に演劇史なんて言うと、イキナリ小山内薫、坪内逍遙の世界になってしまう本しかみあたらないので、この本は一家に一冊(?)の貴重な本ではないでしょうか。確かに私などには難解な部分もありますが、インタビュー形式に救われて読むのに苦痛はないので大丈夫。年表などもしっかりあるので"演劇辞典"のようにも使えると思います。♡♡♡♡



リブロポート　¥2,900

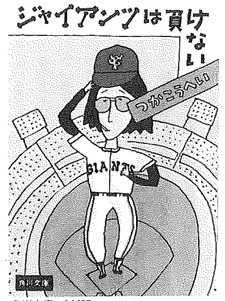
歌舞伎なんて まるめて ふんづけて ぶっとばしちゃうもんね　（矢彦沢典子）

好きな役者さんがいる人だったら誰でも、一目でも直接会ってみたいとか、舞台裏での姿を見てみたいとかの気持ちはわかるよね。そういう気持ちを全然気取らずに、素直に書いてるところ、私はホントにスゴイっと拍手したくなってしまいました。ファンの歌舞伎役者の楽屋入り待ちをしてサインをもらう話とか、読んでて一緒にワクワクしてしまう！別に歌舞伎は知らなくてもファンの役者さんが一人でもいれば、絶対共感して楽しめます。そしてただずっとはしゃぐだけじゃなく、ファンとしてのちょっとの哀しい気持ちもちゃあんと書いているところ、またまた拍手拍手したくなります。♡♡♡♡

矢彦沢清允　¥980

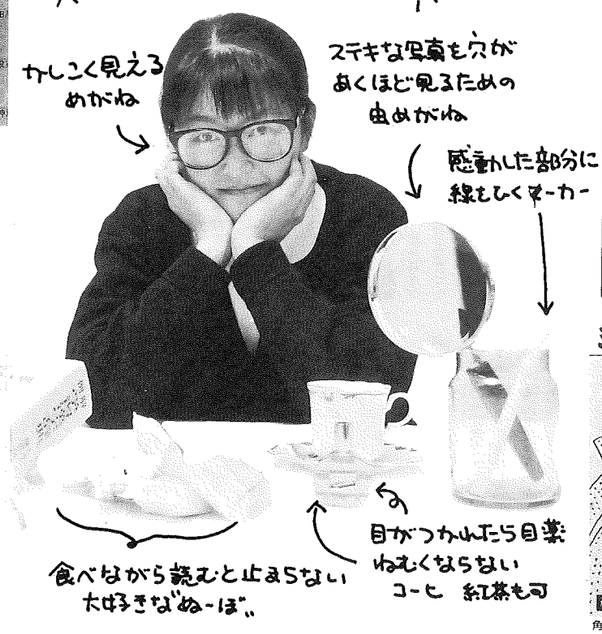
ジャイアンツは負けない　（つかこうへい）

私はプロ野球のことはほとんど知りません。かろうじてジャイアンツなら王とか長島とか江川とか…そのくらいのもんです。そして私はつかこうへいの芝居を見たことはありません。つか事務所があった頃、私は芝居なんて見たことないヒトでした。こんな野球オンチ、つかオンチの私なのに、この本はイッキ読みしてしまい、以来私の本棚は腐ったミドリ色に染まりました。(つまり角川文庫でつかこうへいの著書の背は腐ったミドリ色なの)　別にジャイアンツのファンにはなりませんでしたが…。つかさんの小説やエッセイのどこからがホントかわからない舞台や役者の裏話がオカシイ！ついでに「つかへいの腹黒日記」などもおススメです。♡♡♡♡♡



角川文庫　¥420

読書必携アイテム



★イベントや公演が次々に生み出すグッズをあなたが企画してみませんか？

■募集要項■
職種①デザイナー②営業企画③販売スタッフ
資格①②専門卒上③高卒上（ミュージカル・イベントに興味のある方歓迎
給与月給12万～25万（能力次第で給与に上限はありません。）

STAFF WANTED

☎03(866)2731

勤務地　浅草橋(地下鉄、JR浅草橋駅より徒歩2分)
時間　公演イベントによっては全国出張有。10:00～18:00
休日　週休制（土・日祝）年末年始、夏季
応募　履歴書（写真貼付）を郵送下さい。面接日は追って連絡致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社　ジャパン　グレーディング　サービス
(〒111)東京都台東区浅草橋1-27-4　タウンハウス503

Part 1

玉さまのこと

艶姿玉三郎七変化

坂東玉三郎→女形→女になる男→女装→げっ。なんて失礼なことを歌舞伎を知らない頃は思ってました。それが一転「玉さま♥」になったのは「鷺娘」という舞踊をみてから。背中なんか90°くらいぐーっとそっちゃうし、手に持った扇は生きてるみたいに動くし、華やかで繊細で、もうこれは女を超えてる！……その玉さまの「お染の七役」で'88年は幕切れとなりました。

Text▶庭植奈穂子　Photographs▶八代田花恵

〔Data〕
「与話情浮名横櫛」「於染久松色読販」
12月1日―25日　歌舞伎座

「於染久松色読販」

「於染久松色読販」＝「お染の七役」つまり玉さまが"お染"という役をはじめ七つの役を全部やっちゃう。その七つの役とは、

お染―商家の娘。おっとりしてお嬢様らしく、姿も声も甘くスゴークかわいいっ。

久松―お染の恋人(男)。玉さまは男にしたってステキです。玉さまの立ち回り、初めて見たけど、優雅、優雅。

竹川―武家の奥女中。品が良くてしっかり者という感じです。

貞昌―お染の母。これは老け役ね。

お六―ゆすりもやる悪いヤツ。バキバキして、はすっぱな言葉使いがワルッぽい。

小糸―芸者。気高くてちょっとワガママ。男のあしらいもイキで、カッコ良かったなあ。

お光―久松の元許嫁で久松恋しさのあまり気が狂っちゃう娘。可憐な踊りがかえって哀れでかわいそう。

とまあ、こーんな複雑な関係で、年齢から性格からゼーンゼン違う役を一つの芝居の中で演じるってだけでもビックリなのに、早がわりまであるのです。サッと引込んで何秒か後には、姿カタチはもちろん、身のこなしもしゃべり方も声も一瞬で全く変わってしまうのにはただ驚くばかりです。

さらに信じられないけど、お染と久松が同時に登場したりしちゃうんです。例えば玉さまの久松と、ゴザで顔を隠した替え玉のお染がすれ違うと、玉さまはお染になってるのです。(わかる?) 近くでよく見てれば替え玉がきてすり変ったってわかるんだけど(大ボケの私は、こいつ替え玉って思ってたら玉さまだったりして、困る)、わかってててもパッと玉さまが顔を見せると「おおっ」と感心してしまうのです。この「パッ」があざやかなのです。早がわりの工夫もスゴイと思うけど、この「パッ」のあざやかさは、花道の幕が「シャァッ」という音であいて、照明が当たってスッと玉さまが現れる。その時とおんなじ、とってもドキドキします。

……玉さまは、ドキドキするほど美しい……

▼久松の早替り

お光►

▲鬼門の喜兵衛(市川団十郎)、土手のお六

舞踊劇は歌舞伎のショータイム！

Part 2

「乗合船恵方萬歳」「廓三番叟」「連獅子」

歌舞伎公演の中に必ず一幕は用意されているのが所作事と呼ばれる舞踊劇。いってみれば今のショータイムに当たるこの舞踊劇は、その時代時代の流行り音楽を取り入れて、セリフ劇の合間や、エピローグの後に肩をほぐすというエンタテイメントな役割りがあったのです。

初春の歌舞伎座公演でも、お正月らしい季節感いっぱいに並んだ3演目。いろいろ知れば、また、いろいろ楽しめる舞踊劇です。

Text▶樹原和子

Approach 舞踊劇

舞踊劇のルーツは大ざっぱに分けると、純粋に歌舞伎用に作られたものと、能を分かりやすくアレンジしたもの、の二つになる。

能は、鎌倉と室町という武家社会が生んだ文化、オペラの日本版。やがて江戸という町人文化の時代と、その時の流行りの音楽の台頭に合わせて、より娯楽的であり、より新しい感覚の舞踊劇が生まれることになった。

その一つが「翁」という儀式能から取った「三番叟もの」であり、「石橋」から取った「連獅子」「鏡獅子」。そして、あの有名な「京鹿子娘道成寺」などの「道成寺もの」も元は能の「道成寺」から。その他にも「土蜘」、「紅葉狩」などをはじめ、こっけいものの「棒しばり」「素襖落」「うつぼ猿」などの作品も、能からとったものの代表といえる。

▲連獅子

そして、もう一方の流れとして、当時の小説や史実、あるいは市井風俗に取材したものを、時どきの流行音楽(長唄、常磐津、清元など)で踊ってみせた舞踊劇もあった。やがて、文化文政(一八〇四～一八二九頃)以後、音楽の爛熟とともに、舞踊もより妖しく美しく、ケレンのあるものへと変わっていく。その中で特にもてはやされたのが、踊りつつ五変化、七変化する変化舞踊。現代でも名作といわれている「鷺娘」や「汐汲」、「六歌仙」、「保名」などは、この変化舞踊として生まれ、さらに洗練されて現代まで残っている。

舞踊は、江戸の歌舞伎ファンにとって、新趣向と流行を真っ先に取り入れ、ぜいたくに見せてくれる、豪華華麗なショータイム、またはレビューのようなものだったにちがいない。

「乗合船恵方萬歳」のりあいぶねえほうまんざい

✿初春の隅田川べり。乗合船に乗ろうとして集まってきたのは、さまざまな職業の七人。やがて始まる芸の見せ合い。白酒屋の宣伝芸、大工の道具づくしで語ってみせる恋の話、万歳・才蔵コンビの三河万歳芸。洒脱さと華やかさでいっぱいで、最後は七人がまるで七福神のように船に乗り出発するという、初春ならではのおめでたい舞踊劇。

✿初演は天保14年(一八四三)の正月興行の大切舞踊劇(フィナーレのようなもの)として上演され、のちにこの部分だけが独立して繰り返し上演されることになった。常磐津。

「廓三番叟」くるわさんばそう

✿能楽では「千歳」「翁」に続いて舞われる「三番叟」。厳粛な主役の翁よりも、狂言方が演じるこっけい味あふれる三番叟(三人目の老人という意味らしい)が歌舞伎の中では人気となり、沢山の変った「三番叟もの」を生むことになった。特に有名なのは「操り三番」「舌出し三番」「二人三番」「武三番」など。

✿この「廓三番叟」は、翁、千歳、三番叟の三役を、吉原の花魁や振袖新造(若い遊女)かむろ、たいこもちなどに当てはめた洒落た気分いっぱいの踊り。

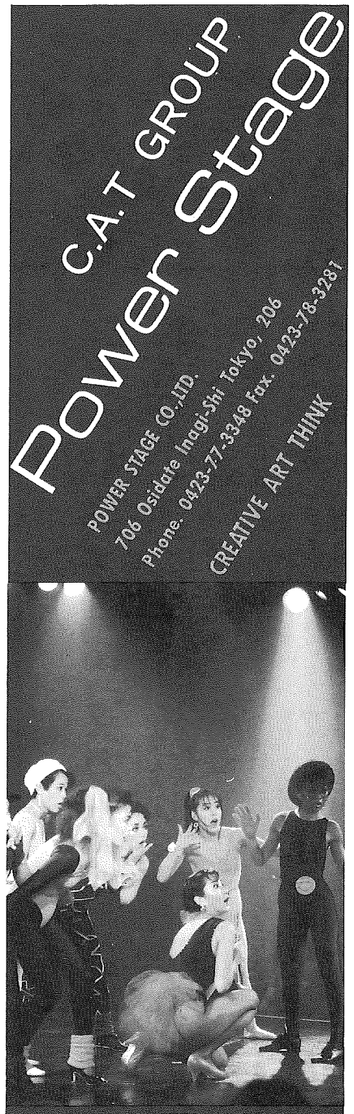
✿当初は文政9年(一八二六)に作曲だけされていた。振りは大正になってから作られたが、作曲が文化・文政の時代だけに頽廃的気分を漂わせている。長唄。

「連獅子」れんじし

✿能の「石橋」から取ったもので、獅子は子を千尋の谷に突き落とすというエピソードを軸に、牡丹や蝶と戯れる場面や、一番の見せ場であるクルイを見せる。クルイは親子の獅子が、赤と白の長い髪を左右に打ち振り、頭上で回すという派手な踊り。体力と技術で見せる勇壮な舞踊劇。

✿作詞は有名な作者河竹黙阿弥だが、文久元年(一八六一)に作詞した勝三郎曲と、明治五年(一八七二)に書き直した正次郎曲という二つの「連獅子」がある。今にも多く上演されるのは正次郎曲のもの。長唄。

●公演予定　初春大歌舞伎　1月2日(月)―26日(木)
昼の部　「毛抜」「ちいさんばあさん」「野崎村」「乗合船恵方萬歳」
夜の部　「恋女房染分手綱」「廓三番叟」「松浦の太鼓」「連獅子」
歌舞伎座㈹03・541・3131



1986/9 MOVING NOTES in BENISAN PIT

★パワー・ステージは，舞台照明器具，特殊効果器具の販売及び，レンタルを行なっています。
★ご予約，お問い合わせは，休日を除く毎日10：00～19：00にお受け致します。
★ホール等への運搬もお受け致します。

―――アルバイト募集中

株式会社 パワーステージ
器材問い合せ：TEL03-463-5042
〒206 東京都稲城市押立706
TEL：0423―77―3348㈹
FAX：0423―78―3281
経理・総務
〒150 東京都渋谷区宇田川町19―5
山手マンション605
TEL：03―463―0061

●別天地・ウー・ルンバ・ガルブラボの男と女の二人芝居『バニラ(Vanillabal Value)』1月29日（日）だけなのでお見のがしなく！PM．2：30と6：00開演　赤坂プレイBOX¥1,000－　出演者：松本大樹・小山美保　問い合わせ：0427－22－6483（小山）

PLANNING NEWS

TICKET PRESENT

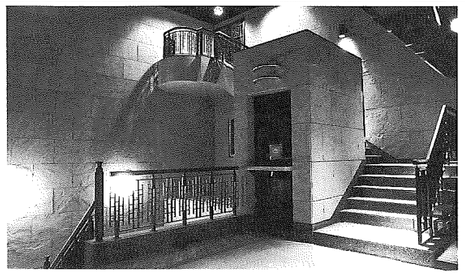
シックで落ちつく劇場とメカニックな劇場のオープンで新宿に劇場ルネッサンス。

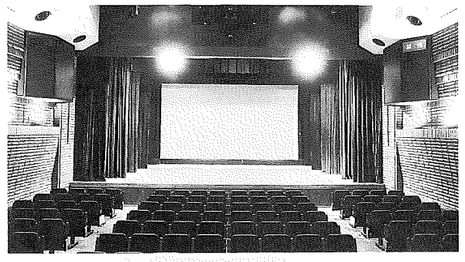
新宿御苑に近い豪奢な複合ビル〝サンモール8〟の地下に、新しい劇場がオープンする。1月22日、つかこうへいが7年ぶりに作・演出を手がける『今日子』で幕をあけるシアター・サンモールだ。

客席294の中規模劇場空間。階段状の客席と、舞台はフラットな床にも変わる可動式。コンピュータ制御の調光卓とスタジオ並み（劇場側の言葉）の音響装置を備えている。舞台の高さは5メートルと充分高く、また、ホール3方を囲む形で設けられたロビーにも、設計者の気づかいが込もっている。ただ、もうひとつ特徴を感じさせないのは、最近の新設劇場の傾向なのだろうか。

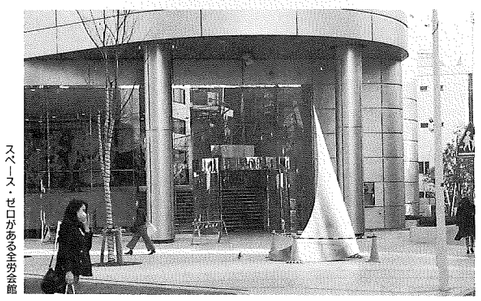
言うまでもないが、演劇は通常、一度だけ観る。「一度行ったら忘れられない場所」なんて作るのは至難の技には違いないが、例えば、印象に残る壁画ぐらいは欲しい気もしてくる。劇場のインパクトは、上演にプラスになることはあっても、マイナスになることはない筈だ。例えば今春、勅使川原三郎の公演を大成功に導いたスペース、三菱倉庫の例を考えても。

シアター・サンモールの実質上のオーナーは小林土地建物で、この際、採算は度外視。日立での使用料約15万というのも格安と言えるだろう。理想的な規模の劇場だけに、若手劇団からのアプローチも始まっているとか。運営面での展開にも期待したい。





シアターサンモール入口（上）と内部（下）



スペース・ゼロがある全労会館

新宿駅の反対側、南口近く新装の全労済会館内に、〝スペース・ゼロ〟が2月8日にオープンする。電動段床と4壁面へのホリゾントライト、徹去可能なホール正面の可動壁など、劇場のイメージを幅広く促えた多目的フリースペース。こけら落とし公演の『火の鳥』では、客席は439とのことだが、最大では約600までの収容が可能だ。既に〈自転車キンクリート〉、〈第三エロチカ〉の公演が決まっているが、この2劇団にとっても全く新しい演出を試みるチャンス。

さて、ひさびさに新作を持って劇場に帰還するかこうへいが紀伊國屋ホールに登場したのが1976年。当時は演劇シーンの話題になったものだ。それはあの頃、紀伊國屋ホールが現代演劇の檜舞台だと考えられていたからだ。その後、演劇都市新宿に誕生した劇場は客席200以上のものだけでもざっと20。そしていつか、檜舞台という言葉も人々の中で薄らいだ。

檜舞台とは、つきつめて言えば他にはない特色に彩られた劇場のことだ。劇場が増え、それぞれの劇場が個性ある運営をするようになるにつれ、90年代の檜舞台も出てくるだろう。

（例えば、タイニイアリスは、新鋭の檜舞台として機能しつつある）。その日が楽しみになってきた。

シアターサンモール開場記念公演
1月22日㊐～2月24日㊐『今日子』演劇集団円㊐円 03・366・2576

スペース・ゼロ オープニング記念公演
2月8日㊌～28日㊌『ミュージカル火の鳥』問全労済03・379・8945

今年の多摩は、激烈バトルロイヤルになりそう。

『パルテノン多摩小劇場フェティバル'89』

パルテノン多摩小ホール
2月11日㊏劇団しゃうくりー夢　13日㊐劇団一跡二跳　15日㊌劇団ONLY　19日㊊月蝕歌劇団　21日㊋ザ・ガジラ　23日㊌劇団21世紀FOX　25日㊏新宿梁山泊　問パルテノン多摩0423・76・8181

昨年に続いて、元気に開催のパルテノン多摩フェス。今年も100万円の賞金を用意して7劇団一ステージずつ一発勝負、というスリル満点演劇バトルロイヤルを繰り広げる。参加劇団は多士済々、すでに人気や評価も高いところがそろっているだけに、30名の一般公募の審査員も手こずりそう。パルテノン多摩は、すでに夏の遊眠社野外公演でおなじみになったが、快適で豪華、舞台も広い小ホールを訪れるいいチャンスだし、優勝劇団を自分なりに占ってみるのも、一つの楽しみでは？

これはちょっと見られない。上方ならではの演劇祭！

『第1回上岡演劇祭』

扇町ミュージアムスクエア
1月20㊎～22㊐『ちょっとだけ深刻劇－迷走のあさって』マンベイ堂　24日㊋　25日㊌『パルパロイ遠の夕べ　ちょっと出来心』金曜日　28日㊏　29日㊐『殺さば死ぬ』ちち　2月3日㊎～5日㊐『1989年のホーボー』へテカラ　6日㊊～9日㊌『FUZZY』売名行為　問劇場06・361・0088

上岡竜太郎って関西のTV界では、ちょっとインテリっぽいタレントってイメージだけど、かの横山ノック議員なんかとパンパカパーンと舞台に出ていた栄光の芸人時代もあった。過激でおしゃれだったあの舞台、その熱い心がフェス開催へと繋ったのだ。ざこば、東ちづる、かわら長介、べかこ、九雀、がっしゃん、東野博昭、ひさうちみちお、檜魔栗三助、これみーんな出演者。

下丸子はやる気だ！演劇元年、半端じゃあないぜ。

『下丸子「演劇」ふえすた'89』

大田区民プラザ大ホール
3月3日㊎～4日㊏『寿歌Ⅰ』『寿歌Ⅱ』流山児・事務所　8日㊌『ドリームエクスプレスAT』世仁下乃一座　10日㊎～11日㊏『セサムンの善人』池袋小劇場　17日㊎～18日㊏『雨の運動会』中村座　21日㊋～22日㊌『誘拐されて』月暮れて寝て　24日㊎～25日㊏『黄金の国』離風霊船　問大田区民プラザ03・750・1611

大田区がものすごーいホールを作っちゃった。それも、多摩川にほど近い下丸子。地名がいいよね。古き良き東京の響き。小津の映画なんかに出てきそうな場所って感じがする。そこで開催される「ふえすた'89」。これもなんか下丸子らしい可愛らしいネーミング。だが、出場劇団はいやいやなかなか。可愛いというより一本筋金入り。下丸子の皆さん、かなりやる気ですナ。

開場からすでに五周年を過ぎようとしているアゴラが昨年末からミューズフェスを発展解消、「大世紀末演劇展」と名づけた企画で90年代の演劇を展望する。個性バラバラの10劇団という仕掛けで、その中に地方、それも、浜松盛岡、筑波、仙台と見られるチャンスの少ない劇団ありが嬉しい。遊園地の乗物券のような共通回数券も親切だ。

千年に一度の大世紀末。祭りならぬミスマッチ出会い。

『大世紀末演劇展』アゴラ劇場開業5周年企画

1月19日㊍～22日㊐『サイコな夜』ポートシフト　1月29日㊐『ローカル・プレイング・ザ・バク』テクノポリス（浜松）　2月1日㊌～7日㊋『大元気』槍騎兵　10日㊎～12日㊐『犬の頭』オンシアター自在社（盛岡）　17日㊎～19日㊐『風のNETWORK』パラダイムシアター　24日㊎～26日㊐『MUGNET』演劇集団ZILS　3月8日㊌～12日㊐『極楽船の花』劇団0次郎（筑波）　17日㊎～19日㊐『眠れぬ夜の羊は少年』劇団IQ50（仙台）　問劇場03・467・2743

●京都の嵯峨美OB Round Bits pool の旗上げ『Dr.FEEL GOOD』動画のモニター、風紋の舞台、気分はアート。1月21㊏22㊐アートスペース無門館問劇団06・994・5438

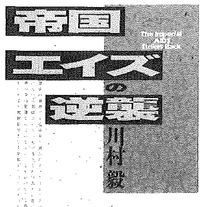
●現代の大衆演劇を目指す遊人ハウス第3回公演は『母に捧げるバラード』喜びと悲しみ振り返れば、もうひとりの自分からの逃走。2月24日㊎～27日㊐　東中野ART GROUNDエロウス問遊人ハウス03・319・4351

善人会議

これは、横内版『男女7人デブ物語』？『ヨークシャーたちの空飛ぶ会議』

1月19日㊍～23日㊐横浜・相鉄本多劇場　26日㊍～2月5日㊐下北沢・ザ・スズナリ　11日㊏～14日㊋名古屋・名演小劇場　17日㊎～19日㊐大阪・扇町ミュージアム　3月4日㊏～5日㊐厚木　厚木市文化会館　問劇団03・576・2169

1989年の善人会議の第一弾はやせる演劇!!〝肥満した（デブ）世界〟に訣別をするそう。醜く肥った大都会に男女7人の〝デブ〟がいる。そのなかの一人の男が突然ダイエットを始める…さあ、あなたもいっしょにダイエットを始めてみませんか？



エイズのエイズによるエイズのための帝国とは

『帝国エイズの逆襲』川村毅 著　新宿書房刊　一五〇〇円

ここ2、3本の彼の戯曲はファシズムに対するアプローチが見えてくるようで面白い。4月の舞台が三島の作品になるというのもナットクがいく!?本書は他に島田雅彦のエッセイも掲載。

冬の玄海灘を越えてやって来た韓国の嵐を呼ぶ男達

『どこで何になって出逢うのか』チョヨン劇場

1月26日㊍～27日㊏　郵便貯金ホール　問06・313・2856

2度目の韓国公演で大暴れしてきた、「南河内万歳一座」が、韓国の「チョヨン劇場」を招待。オリンピック慶祝公演で釜山代表の実力派。前世、現世、来世の三部構成。ポピューラーな民話に、仏教、輪廻、運命がみえてくる。

大阪のとびっきりアツアツ Potato初の名古屋公演も！

『ステアウェイ　トゥ　ヘブン－Remix－』劇団POTATO倶楽部

2月11日㊏～12日㊐　扇町ミュージアムスクエア　2月18日㊏～19日㊐　名古屋大須ヒッ寺　共同スタジオ劇　問劇団06・384・7946

突然のプロポーズに甘栗をノドに詰ませて死んでしまうOL。幽霊の彼女は、自分の葬式に乱入、ライバルを驚かしたり、もう大騒動。ポテクラの代表作、名古屋に初出荷。ごっつうおいしい大阪のポテト、食べてみいひん？

五感のボタンを勅使川原三郎が振り付ける。

『ボタンの心得』Company KARAS・宮田佳

2月7日㊋～19日㊐池袋西武・スタジオ200　問ホール03・981－0－1－内5328

'88年舞踊界に大きくその名をとどろかせた勅使川原三郎率いるカンパニーKARASが期待のダンサー宮田佳と共演する。今回、勅使川原は振り付けにのみ専念するが、KARAS設立以前から活動を共にしてきた宮田佳は、まさに勅使川原のダンスを体現している魅力に満ちた存在だけに、注目の公演となるにちがいない。なお勅使川原自身のダンス公演は4月に予定。

石井研二が初のミステリーに挑戦!!

『象が入った冷蔵庫』ミュージアム原始願望

2月9日㊍～12日㊐伊丹市・AIホール　問石井0726・35・3425

6人がビデオモニターで見守る中、「象」と呼ばれる男が消えた…とお決まりのパターンで物語は幕をあける。アガサ・クリスティばりのミステリー。実は今回はチラシに事件解決の鍵が…パンフレットには証拠品が入っているという立体構成。さあ、一日だけあなたも名探偵になってみてはいかが？

ミュージアム原始願望

WAHAHA本舗の吹越満と村松利史連続公演。

1月26日㊍～30日㊏『いろんな王様』吹越満プロデュース　2月1日㊍～5日㊐『人生の意味DELUXE』村松利史プロデュース　下北沢駅前劇場　問劇団03・406・4472

〝ワハハの若き貴公子〟吹越満が昨年5月にやった一人芝居「超人力ウッ」に続く第二弾!!今回は視覚効果監督として、同劇団のマンガ家役者なんきんを迎え、ビジュアル的にも趣向をこらそうとしている。その上、この公演の中に自作・自演の8㎜フィルムの第3弾も上映予定とか…そしてこれが終わると同劇場で村松利史の一人一店舗シリーズ「人生の意味」の最新版が始まる。出演者は前回と同じ。10日間の内に2つのワハハが楽しめるぞ！

『リターン　爪痕のしたたり』南河内番外一座

3月3日㊎～5日㊐　オレンジルーム　問06・313・2856

前回は「血」、今回は伝書鳩の帰巣本能を軸にホラーブストーリー。作・演出藤田辰也曰く「さよならの記号をパスワードに、『ザ・フライ』のような純朴な愛と本能を書いてみたいのです。もちろんゾンビ達は出て来ますよ。だって、ゾンビシリーズ第二弾だもの。」

『銀河旋律』キャラメルボックス

2月28日㊋～3月5日㊐　新宿シアターモリエール　問劇団03・565・2732

時代が変われば恋の争奪戦も変る!?ニクイあいつを彼女から奪うためにタイムマシンで過去を改変しよう!?はたして僕らは再び出合えるだろうか？新作「銀河旋律」は本邦初のハーフタイム（45分）で上演！忙しくてもへーき。

『逃げ去る恋』MODE（旧ちかまつ芝居）

2月22日㊌～28日㊋下北沢ザ・スズナリ　問03・357・0524

『夏のエチュード』以降、かならずしも近松にとらわれない芝居を試みてきた〝ちかまつ芝居〟が劇団名も思い切り〝MODE〟と改えてしまった。芝居づくりに新しい方向を見出した現れだ。さらにいっそうのびのびとしたステージが期待できそうだ。

『さよなら最後の応援団AGAIN』劇団一跡二跳

2月23日㊍～26日㊐新宿シアターモリエール　問03・391－6242

年3回の公演をコンスタントに打ってきて3年、今回の公演は第2回の演目をねりなおすという初めての再演物。社会人野球決勝戦のスタンドで、日常を忘れ応援に没頭することができないサラリーマンやOLたちの胸中を描く。

野口五郎のいそげノマイケル

『DOOM ドゥーム』パルコ・翔企画公演

2月1日㊌～19日㊐パルコ劇場　問劇場03・477・5858

アーサー・コピットというアメリカ劇作家は日本でも「ウィングス」「ナイン」などで有名だが、その彼の核戦争をテーマにした問題作が上演される。マイケルという作家を主人公に、ハードボイルドミステリーのように迫る現代の核の怨怖。これは現実とクロスする私たちの核パワーゲームでもある。

『CHANNEL 9 魔法の国の地図』劇団ランプティ・パンプティ

2月25日㊏～3月12日㊐新宿シアタートップス　問03・953・3820

サイバーパンク的意識革命の中からハイテクに対抗しうる人間の「心」とは果たしてあるのか？人類がこの10年間に何をなすべきかを問う。松本きょうじ一年ぶりの新作です。

『ハルとフォルスタッフ』結城座初春興行

1月15日㊐～29日㊐武蔵野芸能劇場　問劇団0422・22・1461

好評を得たシェークスピア2作、佐藤信演出「マクベス」福田善之演出の「ハムレット」に続く第3弾!!W・シェークスピア作「ヘンリー四世」「ウィンザーの陽気な女房たち」他より福田善之が構成・演出する。喜劇・悲劇のうず巻く壮大な物語。

『朝に別れのギムレットを』劇団冒険物語

1月12㊍～16日㊋青山円形劇場　問劇団03・634・3352

最近、正体不明のヒーロー（仮面ノリダーやかめんライダーなど）が世間を騒がせているが、冒険物語はずーっと前からヒーローをやっている。ワルモノもちゃんといる。おまけにオジーチャンもいる。今回の公演は探偵モノを観せてくれるゾ。

ニューヨーク・ダンスシーンを刺激する新・舞踏、初来日。

『果敢なる存在証明／NEW YORK』EIKO&KOMA

1月13㊎㊏14㊐スパイラルホール　問ホール03・498・5793

シンプルなセットでゆっくり蠢く裸体。静かで神秘的なEIKOとKOMA2人だけのダンスは、運命や死や、大自然の生の営みを深く熱く連想させる。71年に暗黒舞踏の始祖土方巽のもとで出会った2人は欧米での修業を経て、今やニューヨーク・アヴァンギャルドシーンの先鋭。その評価はとても高い。数々の栄誉をうけ、待望の日本デヴュー公演だ。

EIKO&KOMA

快調にモダンダンスの楽しさを広げる竹屋啓子に注目。

『ダンス地球座』コンテンポラリー・ダンス・カンパニー

1月26日㊍～29日㊐東京グローブ座　問竹屋啓子CDC03・394・4463

モダンダンスの領域を押し広げ、洒落た喜劇の調子で笑わせるかと思えば、マギー・マランのような知的なファンタジーに誘う、ニューエンタテイメント。構成力抜群の演出家佐藤信（68／71黒色テント）の手による『ハムレットの新聞』は乾いたタッチでハムレットの苦脳を笑いとばす快作。もちろん美しいフォームも嬉しいのだ。

●劇団/2・ROOTNIの3月公演は「クライマー　クライマー」3月4日㊏～8日㊋　新宿タイニイアリス問劇団03・764・9702

●ザズゥシアター公演予告「PLAY THE VIRGINALS」出演▶渡辺育子　柳岡香里　2月10日～12日　スタジオ ams　問03-316-0694

いよいよ投票開始 みんなでえらぶ えんぶちゃ〜と'88

新年あけましておめでとうございます。と、白白しく言ってしまう今は年末(88年の)。そんなわけで読者の皆さんには、ちっと昔の'88年を振り返ってもらいましょう。前号で予告のとおり本誌も〝演劇賞みたいことをやる〟ことになりました。が、〝賞〟というのはちょっと恥ずかしいので、正式タイトルは―**みんなでえらぶ えんぶちゃ〜と'88**―と決めました。その名のとーり各部門は全てチャート(1位〜最後の一票の人まで)で表すことにしました。つまり、**たとえ一票でも確実にチャート・インする**ということです。有権者(読者)の皆サンには'88年のベスト10を記入して投票していただきます。自分のベスト10をじっくり考えて、す速く投票して下さい。それでは。

【部門】

作品ちゃ〜と：'88年1月から12月末日まで行なわれた全ての公演(国内外問わず)より1位から10位までを記入して下さい。同着1位等はなし。

俳優ちゃ〜と：'88年に活躍した全ての俳優(男女・国内外問わず)より1位から10位までを記入して下さい。
以上2部門は1位10点、2位9点以下10位1点として集計します。

【特別部門】

10大ニュース：'88年に演劇界で起きたニュースを10コ以内で記入して下さい(理由も記入して下さい)。編集部で再構成して発表します。

私があげちゃう：「個人的に私はあの人にあげちゃう!!」(オイオイ)個性的な賞を作って劇団(個人)にプレゼントしてみて下さい。ユニークなものは誌上で発表します。

【投票方法】

付属の投票券(P70)に右記の各部門を記入し、本誌まで送って下さい。付属の投票券以外のハガキ等は無効です。

【〆切り】

'89年2月5日(当日消印有効)

【発表】

本誌4月号(3月6日発売)誌上

【記念クイズ】

〝作品ちゃ〜と〟の1位〜10位までを予想して下さい。ピタリ賞の方の中から一名様を**東京ディズニーランドペアで御招待!!** その他、SEED提供のポロシャツ等ゴーカ賞品が当ります。

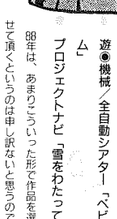
☆各界有力者(!?)が選ぶ 88年BEST10!!

美加理 TALKLATER 俳優

1位 東京乾電池「蒲団と達磨」
2位 勅使川原三郎「夜の思想」
3位 フィリップジャンティカンパニー「いのちのパレード」
4位 転位・21「パパは誘拐犯」
5位 田村哲郎・村田青朔DUO「ロマンチックな生活」
6位 バジ・ワークシアター「エスニック・カンカン」
7位 ロマンチカ「メルフェンの森」
8位 遊◉機械／全自動シアター「ペビールーム」
9位 ミヤギ・サトシショー「純愛伝」
10位 オマケ
演劇舎蝦蟇「森は生きている」
ワハハ本舗「人生の意味」
流山児事務所「悪魔のいるクリスマス'88」

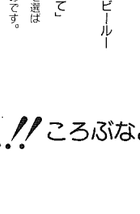
増田しづ子 新宿シアターモリエール オーナー

1位 ミラノ・オペラ「トウランドット」
2位 「マハーバーラタ」
3位 ミュージカル「ピック・リバー」
4位 文楽「ひらがな盛衰記」
5位 NYオリジナルキャスト「ファンタスティックス」
6位 俳優座劇場「12人の怒れる男」
7位 夜想会「幻に心もそぞろ狂おしのわれら将門」
8位 ラ・ママ ミニ・オペラ「魔笛」
9位 松浦企画テアトロ(海)「一遍上人」
⊙10位 夢人島「奇跡の人」
10位 ドラマスタジオ「罠」



神戸浩 プロジェクト・ナビ 俳優

1位 ナビ ダックソープ2
2位 ラジカルG・S 最後の正月
3位 赤信号 OFF
4位 ナビ 審判
5位 ナビ 雪をわたって
6位 Cカンパニー 少年日記をカバンに つめて
7位 以降は該当なし。
俺は芝居はキライだぜ!



津村卓 屋町ミュージアムスクエア プロジェクトナビ 寿歌オリジナルバージョン」
プロジェクトナビ「ダックソープ2」
伊澤勉ひとり芝居「審判」
遊◉機械／全自動シアター「ペビールーム」
プロジェクトナビ「雪をわたって」

安藤光夫 チケットセゾン

1位 少年王者館「御姉妹」
2位 品行方正児童会「センチメンタル・アマレット」
3位 マシュマロウェーブ「マシュマロウォール」
4位 健康「問題あり」
5位 ナベナベフェヤ「電波とラヂオ」
6位 ZAZOUS THEATER「ストレンジ・カインド・オブ・ウーマン」
7位 劇団Studio「わかりやすい私」
8位 紅組少女歌舞伎「都鳥廓白波」
9位 黄色舞伎團2「架空の花」
10位 自家発電「電気の森の住人」

88年、遅ゴ機械やしてキン、ショーマ、花組などの第4世代グループが相次いで完成度の高い作品を発表したことは言みようのない事実だが、それゆえにこそ、君たちはもう大丈夫だ、と私は呟くのである。南河内も善人も屋風雲船もしかり。むしろ気になったのは、第4世代の裂け目からニョキッと頭をもたげ始めた、1クセも2クセもある危い連中のほうだ。昨年はまだ自立たなかったが、今年あたりエイズのように猛威をふるうか?

なるとだてまき チケットぴあ

1位 黄色舞伎團2 夜の建築
2位 遊◉機械／全自動シアター 僕の時間の深呼吸 Vol 2
3位 ミヤギサトシショー 小説伝
4位 新宿梁山泊 夜に群がる星の騎馬隊
5位 疾風DO党 ま夜中のGOOD MORNING
6位 燐光群 トーキョー裁判
7位 第三エロチカ コックサッカー・ブルース
8位 花組芝居 櫻姫嘯草紙
9位 アクターズ スリル&チャンス PLUS
10位 ウォーキング・スタッフ ジャイアントステップ
◎思いついた順なので順位にはそれほど意味はないです。

88年はとやかく言える程、芝居を観てないの不出来の印象に残ったものを10本選びました。でもでも今年にはスゴイ企画があります。題して〝お百度観劇〟。これは日本古来のお百度参り〟に掛けを発表するものと劇団各々の想いの結晶である舞台に頂本通えば印が貯まるという全てありがたい観劇スタイルなのです。私は、今年〝お百度観劇〟の旗を掲げ、津々浦々へと行脚に出掛けます。さあ一あなたも戦しませんか? お百度観劇〟で気分は仏陀/

伊藤みつえ 新さっぽろ演劇鑑賞会事務局長

1位 オンシアター自由劇場「クスコ」
2位 地人会「こんな話」
3位 加藤健一事務所「第二章」
4位 宮本企画「アイ・ガット・マーマン」
5位 猿之助の「鏡山再岩藤」
6位 善人会義「夜曲」
7位 第三エロチカ「ボディウォーズ」
8位 博品館劇場「セイムタイムネクストイヤー」
番外 パルコ企画「トーチソングトリロジー」
今年どうしても観たかったのに観れなかったもの。初演は最高だった。ぐやじぃー
88年は、明さっぽろ野外演劇祭などで忙しく、あまり芝居を観る事が出来ませんでした。なにせ、さっぽろクンダリーから出て行くもので、色々大変なんですョ。とは言うものの、せヒにムと思うような芝居も少なくて、一番観たかった「トーチソング・トロジー」を見逃しましたから、ホントに不作の年でした。私(だけ?)にとっては…。
「クスコ」は何度でも観たい芝居。
「こんな話」はわずかさ藤沢まで観に行った甲斐がありました。ぜひ札幌に呼びたい。

いのうえひでのり 劇団☆新感線主宰

1位 デフ・レパードのコンサート
サイコー・サイコー・サイコー!
2位 エアロスミスのコンサート
サイコー!
3位 遊◉機械／全自動シアター「ペビールーム」
ファンなんですっポク
4位 ガンズ・アンド・ローゼズのビデオ「スイート・チャイルド・オヴ・マイン」
5位 喜国雅彦の「傷だらけの天使たち」
マンガですナ! 是非一読をオススメ!
6位 とんねるずの「仮面ノリダー」
タイトルソングがまた秀逸!
7位 新感線の「星の忍者」の真夜中TV
関西TV でONAIRされた奴
8位 オフィス・ザ・サード・ステージ「大恋愛」の〝ベルタースケルター〟のオープニングのダンス
カッコイイ
9位 映画「アキラ」
やっぱり、これはジケンですっ
10位 「善人会議」の羅生門
前半はしんどかったが、後半は面白かった。でもラストは頂けない。
※この様にコンサート・マンガ等をチャートに上げないようにして下さい。編集部

☆70ページの投票券を持ってポストへ走れ!! ころぶなよ。

演劇
ふれんど
三善化粧品
TV 映画 演劇
日舞 洋舞 花嫁化粧品
東京都文京区小石川3-6-14
株式会社 三善
TEL 03-814-3721
FAX 03-814-7640

笑いながら泣けなくっちゃ 大人の仲間入りはできない

藤田まことはサービスに徹していた。泣いて笑って歌を聞いて、満員のお客さんは大納得。いわゆる一般大衆の娯楽はフルコースなのだ。

UNCONSIOUS FIELD WANDERER #2 橋本克彦

藤田まこと特別公演 ナツメロミュージカル 望郷の詩

〔DATA〕作▶竹内伸光　演出▶中村哮夫　出演▶藤田まこと　左とん平　麻丘めぐみ　音楽▶中村八大　照明▶鳥居秀行　'88年11月4日～11月27日　新宿コマ劇場

コマ劇場、平日の昼の部、定員一三二一人のでっかい客席がほぼ満員となった。

世界第一級の盛り場歌舞伎町の、たったひとつの（そりゃあシアター・アプルもあるけれど、まだ芝居小屋としては半人前だからね）大衆劇場はざわざわと落ち着いた（?）にぎやかさ。なんだか自民党の台東区懇親会みたいな雰囲気。そこはかとなくナフタリンの香りも漂うのは、きっと冬用のコートを洋服ダンスから引っぱりだしてきたオバちゃんがちらほらしているからかも知れない。十一月の末、外は晩秋のつめたい風が吹いていた。

こういう大きい商業劇場では、客席のどこかに団体さんが入っていることが多い。たとえば家電メーカーが系列の小売店主を招待したり、なんとか振興組合、同業組合、生命保険加盟者招待なんぞがごそっと入っていて、まあ、ただで芝居を見られるけん、一応きてみたんだわ、あーあ家でテレビ観ているよりか、いいからね、なんて散漫なムードがざわめきの色あいを支配していたりする。ご近所の面々と連れだってきていると、つい、ゴミ収集の場所が汚れっぱなしなのは困ったもんだとか、子どもの進学の話とか、先日、お宅の旦那さんと電車でご一緒して、なんて会話がひとしきりにぎやかで、それでさ、あそこんちの裏のとこ売っちゃってさ、二億四千万円で、といってる間に幕があがって、いいえ、三億ですってよ、主役が登場して、えっ、嘘よ、あのあたり坪七百万円で、主役がストーリーの伏線となる重要なセリフを「なんだか胸が苦しい」とかいい、七百万円は高いわよ、六百七十万円よ、でも借金があって売ったそうよ、なんて会話が続くものである。

だが、幸福なことに、この日の客席に団体客はいなかった。

郵便配達と劇場は二度ベルを鳴らす。大人がつくりだす養老年金ふうざわめきはしんと静まった。

まあーるく客席にせりだしたステージに、ハルビンの春、仲間たちに祝福されて2人は結婚する。

Photographs▶八代田花恵

演劇ぶっくは奇数月6日発売。次回は3月6日発行です。

from READERS

●このコーナーに掲載してほしい意見はどのように投書したらいいのか?という問い合わせがありました。アンケートはがきの質問事項を無視して、バンバン言いたいことを書いてしまう、B型人間的性格の持ち主が勝ちです。これからはB型人間が世界にはびこる時代ではないでしょうか。ムフフフ…。ちなみに私はB型だ。てなわけで、質問の答えになってしましたか?

●フロムリーダーズのコーナーはいつも楽しみにしているんですが、12月号ほど嬉しかったことはありませんね。だって、みんな〝美加理に恋する17歳〟にちゃんと答えあげてるんですもの。同じ芝居をする者としては、すごくすごく嬉しいですね。高校演劇は確かに暗いと思いますが、高校生のときしかできないものだから、とりあえず高演でがんばってみれば…。というのが私の意見です。

（愛知県　PN　たちくん大好きっ）

●16号を見て大感激だった。俺の意見にこんなにも応えてくれる人がいたなんて、思ってもみなかった。特に西宮の無記名からの意見は図星を衝かれたような感じで、かなりこたえた。自分もあれ以来、芝居の面白さを徐々にわかってきたし、〝北九州の師岡〟さんや〝ずみもろあき〟さんの意見などについても先日話し合ったばかりだ。本当にありがとう

（秋田市　PN　美加理に恋する17歳改め18歳）

●12月号の〝北九州の師岡桃子さん〟、ありがとう―というのは、私はダンス部に入っている者ですが、去年あたりから部活内の先輩と「お芝居したいねー」と言ってたんです。でも、どーしよ、どーしよ、と言ってる間に月日がたって、12月号を見たとき「やるっきゃないーあとの事なんてあとで考えよ。やりたきゃやんなきゃそん!」と思って、先輩や後輩や友達に話して、やることになりました。メンバーはまだまだ足りないし、名前も何をやるかも決まってないけど、今から大ハリキリです

（江戸川区　PN　すももあんず）

●リーダーズを仲介して意見交換ができるんですね。そんなふうにどんどん利用してください。

●私は芝居を観に行くとき、なるべく友人と一緒に行くようにしています。やっぱり観終わってから感想を言い合える人がいないと悲しいから……。「私はこう感じたけれど、あなたは?」と、いろいろ話したいから。そして、夜寝る前にいろいろな事を考えています。それでも、どうしても一緒に行ってくれる人が見つからない時はひとりでいきます。そういう時は、誰かが合いそうな人がいないかなとキョロキョロしてます。けれど、結局話かけられないまま帰ってしまうのです。私はもっと劇場でいろんな人と接したいと思っています。友達同志で来てる人も、ひとりで来てる人も、劇場ではみんな友達ーだよネ。

（世田谷区　PN　あき）

●友達といっしょに行ったときは、つい自分ひとりで来たときの寂しさを忘れてしまいますね。ひとりでさびしそうにしてる人に、話しかけてあげたらいいんじゃないですか?

●〝ヘンなものを観に劇場へいこう〟という16号のフレーズはホントにその通りだと思います。チケット手配して、お金出して、時には整理券とりに早めに家出たりしてまで、ヘンなもの、ヘンな人に会いたいんですヨネ。そうまでしても、やっぱりみたい。会社終わってすぐ劇場にいこうにも、1時間と少しかかるし、おまけに夕ごはんも把握していきたい。んでさあ、観終わって帰ろーと思ったら、家まで2時間と少しかかる。「明日も会社あるんやった」とか思いながら、「あのセリフわかるナァ」とか、「あのシーンきれかったワァ」なんて、ボーッとしながら帰るあの時間も含めて、芝居は大好ぎ。ヘタに理屈をこねくりまわさず、「きれい」「かっこいい」のみで芝居をみてるのが、今一番すきやナァ。

（明石市　PN　しるこ）

●11月5日、ロフトの本屋さんで演ぶを手にとってくらっとしました。花組芝居の表紙。うれしー／前号にタイニイアリスのが少しか載ってなかったので、かなりぶんぶんでしたのに…すっかり忘れて、サイコー／友達の分と2冊買ってシードホールのディアーナへ。地下からエレベーターに乗って、1階で木原実さんが乗ってらして〝キャー／〟10階で受付をしていると、〝加納さんもういらしてますよ〟と木原さんに話す係りの人の声。足がふらつく。終演後ロビーで加納さんに演ぶの表紙にサインをもらってしまった。もう怖くて震えてしまったのですが、加納さんとってもやさしくって感激ー。「新雪之丞変化」金曜昼以外は全部チケット買いました。加納さんと篠井さんの濡れ場、期待してます。

（千葉市　PN　花組娘）

●今年は善人会議、鳥獣戯画、田山さんも来る。もちろん青い鳥も、「ゴジラ」も観れる。遊◉機械／全自動シアターも来た。名古屋にもやっと花が咲くと思っていたら、やっぱり遊眠社はこない。第三舞台も去年きただけ。もっと名古屋に来てほしい。

（瀬戸市　PN　なすがままときゅうりがばばが好き）

●うひゃあ、うれしかったよ「大恋愛」を観たのーめちゃくちゃよかったよ。私は全然お芝居に関してわけもわからなく、興味もなかったんですが、いつのまにか演劇が大好きになりました。それで、ずうーっと劇場へ行きたかった。でも、やっぱり行けました。初めて緊張がすごかった。この感動はいつまでも忘れません。とてもいいお芝居ありがとうございました。

（大阪市　川岸弘美）

●最近、新感線にコツこつ通っております。8月に大阪で〝ビデマロ3〟を観て、10月に東京へも観に行って…。東京公演は2回も最前列の真ん中で観ました。何と言っても、あの音響&照明と古田さんの迫力＋なぜか竹田さんがかわいかった。特に東京の日替わりは楽しかったですね。東京まで行った甲斐がありましたよ。

（大阪市　PN　芝居狂）

●大阪の「立身出世劇場&第2劇場」の〝パッスルヒロイン危機一髪〟はヒロイン役の役者さんがなかなかおもしろいのです。表情豊かで、存在感もあって…。舞台の真ん中に置いた石棺を大国主命の昔にも続くタイムマシンにしたりして、舞台装置の使い方なんかもよかった。ストーリーもしっかりしてたと思います。

（大阪市　PN　芝居狂）

●青い鳥の〝サイコロの責任〟は、いいお芝居でした。1回目観たときは「うーむ、むずかしい…」と考えこんでしまったのですが、その後、戯曲を何回か読んでから観たら、だいぶはっきりと見えてきました。やっぱりテーマは〝愛〟ですよね。とってもやさしくて暖かい…。それと同時に、「今の私たちはこのままでいいのか?何かがまちがっている」という大きな質問を投げかけてきたように思います。あと数回観たいなあ。それから、装置や小道具や舞台美術がとても美しくて、楽しくて、粋だなって思いました。青い鳥って本当に素敵ですよね。4月の〝青い実……〟まで待つの、ちょっと長くて寂しいけれど、今から心待ちにしています。

（川越市　PN　ぴいこ）

●この間クリティクス（影山民夫団体）で、谷川俊太郎が出て太田省吾の本をほめていた。うーん、あらためて考えると、劇場中継の〝水の駅〟はよく解らなかったが、何しろすごい人だったんだな。解散はおしいと思った。

（東村山市　斉藤紫葉）

●よく雑誌等を読んでいると、演劇評論のようなものが載ってたりする。それでよく「うーむ」とうなってしまうのですが…。観客一人ひとりがそれぞれ感動したり、またはその逆だったりもするかもしれないけど、それだけじゃいけないのかなあ?芝居を観て深く物事を考えず、感動してきてしまう私は、単なるおばかなのでしょうか?

（八王子市　PN　YUKI-KO）

●早稲田大学の大隈講堂のうらの広場（特設テントがあるところです）が、なくなってしまうというウワサを耳にしました。私の大好きな場所がひとつ消えてしまうのは残念です。そこでお願いがあります。大隈講堂裏特設テント出身の劇団と役者の特集をしてほしいのです。早稲田演劇ファンの人にとっては実現してほしい企画です、よろしくお願いします。

（つくば市　宮本礼子）

from EDITORS

最近演ぶ内でカメラが普及していて、きりがやサンはなにやらプロッぽいカメラを購入したと聞くし、やぎサンはカメラマンデビューをねらってるようだし、そのうちインタビュー自ら写真も撮るキマリになったどおしよお……。私はシャッターと一緒にカメラごと押し下げてしまうというタイプなのです。友達と2人で旅行に行くと悲惨です。カメラの持ち主である友達は、ほとんどぶれた写真しか残らない……ゴメンナサイ、悪気はないのよ。それに第一、インタビューの時にカメラのことまで気を配っていたら気が狂ってしまいます。もうお話しするだけでせーいっぱい、他のことは頭から飛んでいってしまうという私なのでした。慣れないなあ。

さて、今年もキャーキャー（高揚した気分をあらわしてるつもり）芝居をみます。真のよきミーハーを目指してがんばろっと。

今年もよろしくおねがいします。

（庭植奈穂子）

去年の東中野駅列車事故はちょうど締切で詰めてるときの出来事だった。事務所の目と鼻の先で起こった大事故なのに、大阪の田中さゆりさんから心配の電話をもらうまでうちの連中の誰もが知らなかった。落合君なんか事故の起こる1時間ほど前に同じ総武線でそこを通過したというニアピン賞もの。あれ以来吊り革を握る手も汗ばむという身構えぶりです。さて、次号は遊眠社、遊◉機械、ガジベリピンバなどを予定。（バイクササキ）

定期購読申込みのおすすめ

本誌を毎回確実に入手していただくために、定期購読をご利用下さい。
講読料金（600円＋送料100円）×6回＝4,200円
ハガキか電話でお申し込み下さい。本誌といっしょに郵便振替用紙をお送りします。

演ぶ広告欄を広告します

「演劇ぶっく」タテ1/8広告欄を、あなたの劇団のインフォメーションコーナーとして、公演予告や劇団員募集用に使ってみませんか。劇団関係の広告は4万円、問合わせは電話で。

演劇ぶっく第17号第3巻通巻17号　1989年1月6日発行
編集人　坂口真人　発行所　㈲演劇ぶっく社
〒164東京都中野区中野5-67-6-406
TEL03-228-2545　FAX03-388-1494
印刷所　文化印刷

STAFF
Editor／秋吉三鈴　梅本承平　木村益男　桐ヶ谷直美　榊原和子　佐々木秀隆　白鳥皓　庭植奈穂子　橋本克彦　飯田孝男　日吉真仁　やぎひさえ　山口猛　Photographer／青木司　伊東和則　神村光洋　羽鳥直志　八代田花恵
Art Direction／落合星文　Design／装文社（黒沢恭子　市川緑）　Business Department／手塚一弘　八田宏一郎　山河薫

戦後、一平（藤田まこと）は裏長屋で独身を守り通す。

大阪の、たぶん環状線の駅裏の屋台。年老いたラーメン屋さん、屋台ののれんに満州軒とある。わが藤田まことはこの屋台を引く老人で、そこにいろんなお客、ここらが商業演劇のいいところ、ひい、ふう、みい、ざっと二十人ほどの出演者が登場して、このあといっぱい出るんだろうなあと期待させて、これでオールキャストだったりする。

お話しは、年老いたラーメン屋さんの回想の物語。こういうイント口の景をしっかり設定しておくと舞台に混乱がおきない。

回想は昭和十七年、藤田まこと（役の名前は野呂一平、以下、登場する人物の役の名前は略す）は、そこそこ人気、女遊びに目のないボードビリアン。

いましも大阪の演芸場ではレビューのステージ。歌って踊って、時局がら敵性音楽で禁止されているジャズなんかもやる。若い読者は信じがたいだろうけれど、そのころ、踊り子は膝小僧からうえをだすとダメ、英語は敵性語でダメ、野球でもストライクは英語でダメ、審判は「よし、一本！」なんていわされておった。戦争やってるんだからパーマはだめ、ハイヒールはダメ、イヤリングはダメ、ダメ、ダメ、ダメの時代だった。劇場には警察官が立ちまわり、そういういいことをしていると、官憲の力によって禁止したのである。

演芸場で「ダイナ」を歌っていた藤田まことは官憲に逮捕され、六ヵ月間の出演禁止をくらう。といっても、もちろん演出は喜劇タッチ。このナツメロミュージカルを味わう共通の記憶と情緒が官憲の禁止で想い出ふうに確認された。

大衆の歓びは悲しみで味つけされる。

戦後四十四年、客席のオバちゃんやオジさんの平均年齢を五十代半ばとしても、戦争は少年少女の時代のはず。六十歳としたって、このころ十四、五歳である。

お客さんの記憶は、多感な思春期に重なり、時の流れに洗われて、淡い情緒となって、この舞台全体を悲しみ色にそめあげる。

ぼくらの歴史はほんの少しばかりさかのぼると悲しみ本線日本海。ということは、オバちゃん、オジちゃんたちの古い記憶は悲しみ色をしており、初恋の相手の特攻隊のお兄さんが空に散ったり、お父さんが満州（現中国東北部）で死んだり、あの中国に置き去りの残留孤児が妹だったりしている。四十四年前の戦争はなにもはるかに遠い話ではなくって、そこらのオッさんの胸のなかにある。その気持がそのころの流行歌をなつかしがる。ナツメロが生き続けるのはただ甘い想い出をほしがるからだけではない。悲しい歴史の記憶をしみじみと味わうことでしか、思春期の輝く感性の世界へ帰れないからである。そして歴史は、ぼくたちにとって歴史年表にあるのでなくって、そのころの気持ちを一瞬のうちに想いださせる流行歌のなかにあるものなんである。

といっている間に、藤田まことは満州慰問演芸団を率いてハルピンに到着した。

まあ、かわいくも成熟して色っぽくなった麻丘めぐみが登場する。彼女は満州育ちの看護婦さん。藤田まこととボードビルのコンビを組んでやってきた左とん平がジッポーの炎みたいにひと目で燃えあがる。とん平の役はお金に目のないけちんぼうで三枚目。藤田まこともめぐみ看護婦さんに魅かれるが、とん平に借金していた八百円（当時では家が買えるほどの大金）と引きかえで身を引く。

めぐみ看護婦さんに思いのたけを告げたいとん平だが、恋の手くだを知らない。そこで物かげにかくれる藤田まことのセリフにあわせて身振り手ぶり。

ご存知、シュラノ・ド・ベルジュラックの設定。

めぐみ看護婦は病院のテラスのうえ。下に立つとん平と、藤田まことのギャグのもっていき方はやはり客席をわかせる。こういう定形のコント、ギャグは客のほうもあらかじめ笑い場所、ズッコケのポイントをわきまえているだけに、芸は客の呼吸にシンクロしていないといけないもんだ。

千秋楽まぎわの昼の部、二人は決して熱演ではなく、むしろ芝居は流しめだったけれども、お見事。ああ楽しいな、おかしいな。凸凹コンビの笑いがたっぷりだった。

いきなりこちらも回想の喜劇シーンへ。

藤田まことの芸は関西仕立て、左とん平は関東ふう。

昔、関西キー局から全国ネットされた強力時代喜劇番組「こなもんや三度笠」があった。藤田まことは日木みのると組んでの道中股旅もので不動の人気を獲得する。昭和三十年代中期以降、テレビに出演する喜劇俳優たちはいずれも百戦練磨、一騎当千、舞台で育った芸の奥行き、くすぐりやアドリブの多彩さであっという間に茶の間を占領する。

とりわけ関西喜劇は強力で「スチャラカ社員」（ダイマル・ラケット）「トンマ天狗」（大村昆）「番頭はんと丁稚どん」（大村昆、芦屋雁之助　小雁ら）などはテレビ電波を通じて日本を爆笑の渦にまき込んだ。

一方、関東にも喜劇俳優は多士済々であった。榎本健一（エノケン）は健在だったし、古川緑波、柳家金語楼などの大看板はもとより、あきれたぼういず系の益田喜頓、坊屋三郎、脱線トリオの八波むと志、南利明、由利徹、三木のり平、逗子とんぼ、平凡太郎、いま思いつくままにあげているので大物が抜けているのはごめんね。ここへクレイジー・キャッツや、落語、漫才からも人材が供給されて喜劇は盛りあがっていたのだった。

ああ、あんなにすごい喜劇の時代は、二度と再びやってきはしない。なぜか？　芸を養う舞台がなくなったからである。

いま、タモリ、タケシ、さんまがおかしいのだけれども、笑いのタイプが消耗品モードなのである。テレビ媒体の特性からいって瞬間の反射的笑いのほうが面白く感じる。テレビで面白いのはなんといっても現場性を同時中継して、この現在の茶の間に直結する中味のときだ。大事故の現場、スポーツ中継、そして、笑いもその瞬間のまぢっかえし、咄嗟のシャレ、計算外のちぐはぐさなんかもっと面白い。二ュース番組のキャスターが、くしゃみ一発してくれたらどんなギャグより面白いに違いない。そんなわけで、テレビの笑いが一回性の笑いを追う方向へむかうのは当然のこと。

しかし、それだけが笑いじゃない。落語がそうであるように、よく仕込まれた喜劇的設定のうえで、客の笑いの呼吸、生理を相乗的に積みあげたくり返しの笑いは、おしっこちびりそうなほどのおかしさに変じるわけ。劇場空間が笑いを増幅し、隣の人が笑っているとつられて笑い、笑っている空気がつたわって、いよいよおかしい。

舞台のギャグは、ひとつの方向へタイミングよく積みあげられると、たまらなくおかしくなる。転んだ人が、立ちあがりざま壁にぶつかり、頭をかかえている間に自転車へぶつかり、ふらつく自転車が床屋へ飛び込み、といった笑いの連鎖が増幅効果を生みだし、それだけとりだしたらたわいもないことが笑いの爆発を続けさせるのだ。もう、そうなったら、死にそうにおかしく、いわゆる箸が転がっても、すべっても転んでも爆笑につぐ爆笑となるのは、人間の生理がそうなっているのであたり前なんである。

雲の上団五郎一座で、三木のり平と八波むと志が演じたお富さんの一場が、筆者の記憶する連続爆笑の典型例であった。

すっこけ切られ与三の三木のり平が、お富さんにインネンをつける。

「ええ、ご新造さんエ、お姐さんエ、いやさお富、久しぶりだなあ」

この一場の演出家が八波むと志。台本を持ってのり平に芝居をつける。のり平はまず右足と右手が一緒に出てしまって、乗り込みの初手から八波むと志に叱られる。

動きやセリフがドジなのり平のボケと、それを叱る八波の突っ込みとで「久しぶりだなあ」へ行きつくまでに、筆者ははっきりいって笑いしょんべんをちびった。これが笑いっ屁になれば死ぬと、兄弟から教えられていたので、笑いながら屁が出てしまわないかと本気でこわかった。ちなみに死を呼ぶ笑い屁は、赤い色がついているのだそうで、別名「赤屁」ともいい、劇場関係者には信じられている。

これがテレビでは望めない舞台の笑い。ただし、そんな連続爆発が起きなければ、恐ろしいほどのシラケが劇場を満たし、客は喜劇役者をギロチンにしていい権利を行使したくなる。

舞台は現在へ近づくほど悲しみ色に染まっていった。

藤田まことはぴたりと板について、こちらが安心して観ていられる芝居で奮闘を続けている。藤山一郎、灰田勝彦、ディック・ミネ、東海林太郎と披露する声態模写も大うけ、ときどき芝居に絡む元女形の陸軍二等兵、名古屋弁の南利明も、ひっ込み前のていねいな芝居でちゃんと仕事をしていた。

しかし、である。

筆者はこれら喜劇人たちの、客と一体となった爆発の舞台を知っているので、なんともさびしく感じるのだった。南利明も左とん平も、喜劇のいい台本にはまったら、こんなもんじゃありません。藤田、左、南、いずれも赤屁注意の才能である。

ステージ上のストーリーは、やがて藤田まことがめぐみ看護婦と結婚し、二人は幸福のくらしまい、藤田だけが大阪へ帰る。それもつかの間、戦争はなにもはるかに遠い話ではなくって、元女好きのボードビリアンは、心の妻めぐみにいつか会えるものと信じて、断固として独身を通し、ラーメンの屋台を引く身となる。

この間、舞台はS席六千四百円の値段を裏づけるように実物大のT34戦車が登場してボワンと戦車砲を撃ったり、戦後の混乱を群衆劇で処理したり、しっかりと進行する。

どんなに前衛的な芝居だって、しっかり構成しなければならんそなもし。イリュージョンを描くダリの絵がかっきりと描かれているがごとしで、大衆演劇が積みあげている技法はあだやおろそかに、つまり馬鹿にしてはいけないのである。いや、いくら馬鹿にしてもかまわないけれど、見るところは見ないと、表現の幅はものにできないはずである。

そして出ました織井茂子。歌うは戦後を代表する大ヒットドラマ「君の名は」の主題歌、そして副主題歌「黒ゆりの花」。

客席はこちらの流れを文字どおりナツメロ。ふうにうっとりと聞く。

続いて藤島桓夫。「恋の法善寺横町」はなんだか前よりいいみたい。

織井茂子も、ヒットした時代と現在との間に発生したに違いない大衆のなかの事件や、物語を抱きとって複層的な表現で歌う。これのできている歌手がナツメロを歌うとき、歌は微妙な輝きを発しだす。ここを勘違いする歌手はナツメロとしても生き残れない。やっぱり厳しいな、芸能は。

追憶は過去そのものとはまったく違うものだ。追憶のなかにまどろむとき、ぼくらはあらためて美しく過去を再構成している。その再構成の過程に、誰もがそうあってほしかった過去のイメージが浮かび出ている。

そして、この心理があぶないところ。歴史の書きかえが行われてしまったりする心理もこのあたりにうずくまっている。

ふと、中国侵略に関する教科書の書きかえ問題のことなぞを考えたりした。

いやなことは忘れたがり、想いだすときには美しく再構成するなんてことが、どの国の公式歴史にもたちあらわれることを、このナツメロミュージカルは暗示していた。なんていっちゃうと考えすぎかな。

たしかに、この芝居は過去を美しく再構成してはいる。だが、そんなにひどい戦争をしていないと書きたがる教科書とはずいぶん違う。

むしろ、あんな戦争をやっちゃって、またノンシャランとお金をもうけているけれど、なんだか大事なものを落っとしてきてしまったことを気にしていた。

ぼくらのいまの繁栄はどこか落ち着きがない。そこで、大事なもの＝妻への愛を守り続けて、戦後ひっそりと独身をとおして生きる主人公に同情する。

事実を書きかえるのではなく、いやな過去にまみれずに、そのなかで美しく生き得ている主人公に心優しく拍手を送る。オバちゃんたちは独身をとおす藤田まことを、ほとんど抱きしめている気分で舞台を見つめる。

すると、別れた妻にそっくりの女の子が屋台を訪ねてきた。

「あのとき、お母さんのお腹のなかに、私がいました。お父さん、お父さんですね」

いいんじゃないんですか？　こういうお話。やっぱり、最愛の妻は、娘が五つのときに死んでいたのだった。

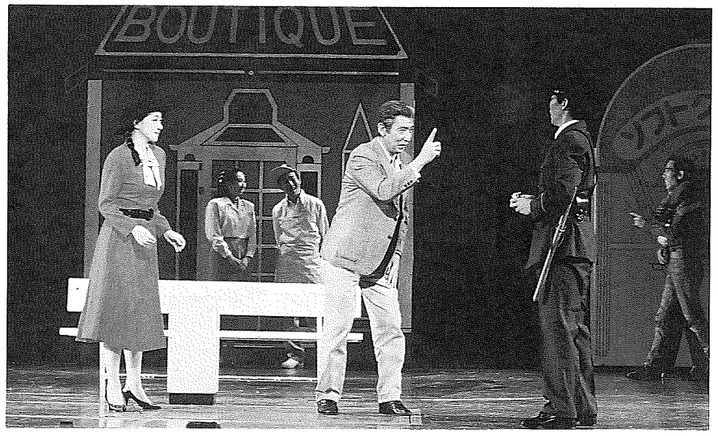
そして、娘は中国残留孤児訪日団の一人として父の国にやってきたのである。いいんじゃないですか？　貧しくても愛を守って、生き続けてくれていたお父さんだなんて、ステキじゃないですか。

娘は麻丘めぐみの二役。父は昔、ハルピンで歌った歌をうたう。娘は母に聞かされてその歌を知っていた。二人は一緒にうたう。

客席はすすり泣き。ハンカチが闇のなかにたくさん動いていた。

だが、娘は中国で愛する人と暮らすために帰っていく。

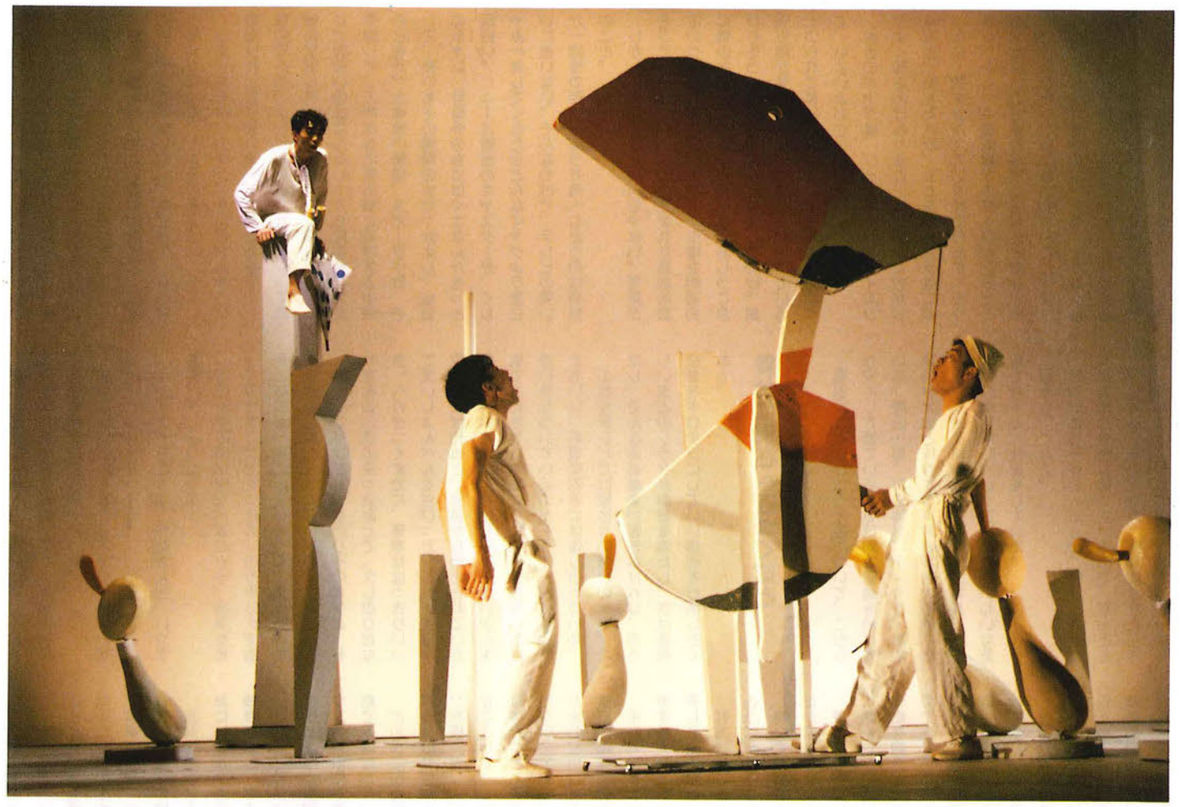
いろいろと笑ってきて、最後にしみじみ泣いて、オバちゃんたちは満足する。これだから大衆演劇は不滅なのだ。



妻は大陸で死に、中国残留孤児の娘が訪ねてきた。

藤田まことの恩恵となった東海林太郎の形態模写。

橋本克彦（はしもと　かつひこ）―1945年宮城県生まれ。1968年から98年前期にかけ2年間百五十本以上の演劇ウォッチングを重ねる。日大芸術学部演劇科を日大斗争により中退。以後、全国各地の補線作業の音頭を語った著書「練習上手の用が聞こえた」で第15回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。他に『バリケードを吹きぬけた風』などがある。



ババ・タラフマラ、空間冒険団

ババ・タラフマラ公演「海の動物園」より

一本の木があり、風がうたっている。
小石を集め、遊びだす動物がいる。
丘にのぼり、世界をみわたす男
笑い出す女。
群衆は心はずませ、

空に踊る鳥を眺める――空間を満たす音と、
僅かな言葉に促され、楽しく懐しい無数の物
語りが観客それぞれの胸で、自在な誕生を繰
りかえす。そしていつしか、地球を育む壮大
なエネルギーが観客をつつむ。

〝海の動物園〟。ミュージシャンとデザイナー
と、俳優と演出家が、素直な自己主張を持ち
寄り、追い求めた新しい空間の美学。それが
今、誕生した。　井上二郎

〔DATA〕構成・演出▶小池博史　出演▶小川原利子　清水啓司　吉井省也　松島誠　水谷亜紀　中山寧　今尾博之　梅原嘉起　笹田明子　梅村昇史　音楽▶菅谷昌弘　美術▶松島誠　梅村昇史　照明▶関根有紀子　衣装▶中務佳世　染色▶西垣聡子11月10日～14日◎吉祥寺パウスシアター

オブジェはオブジェのため、光は光のために。
音楽も人々も、それぞれ自身で輝くことを
少しも妨げられぬために。

Photographs▶青木司　小野寺宏友

KID
第13期
研究生応募要項

【資格】
16才以上、30才までの男女。ただし1989年度卒業見込みの方以外の高校在学生は原則として受験できません。
【応募締切】
2月15日(水)
【受験日】
1989年2月25日(土)／26日(日)
第2次試験：第1次試験の合格者のみ
3月4日(土)／5日(日)
【受験内容】
歌・感性テスト・面接
【応募手続】
受験希望者は、履歴書・写真・受験料(7000円)を同封の上、書留で送付のこと。折り返し、受験日・時間・会場等を通知します。

東京キッドブラザース　オーディションE係
〒150　渋谷区渋谷1-6-10　Qマンション5F
TEL. 03(498)0877

STAGE DOOR
キッド

劇場のかたすみで
泣いているのは誰れ?

1989年
1月17日(火)→21日(土)
東京郵便貯金ホール

開場6:00p.m. 開演6:30p.m.
前売Ⓢ3,500円Ⓐ3,000円
当日Ⓢ4,000円Ⓐ3,500円

お問い合せ
東京キッドブラザース—03(498)0877
チケットぴあ————03(237)9999

TOKYOKIDBROTHERS

宝塚星組バウホール公演

ミッドナイト シティ ロマンス

これからダッシュのキラキラ星二つ！

麻路さき・大輝ゆうインタビュー

いわゆる男役スターとして一人前になるという意味で、男役10年という言葉が宝塚にはある。たしかに、男役のスタイルを自然に、そしてあくまで美しく演じてのけるには、そのぐらいの年月は必要なのかもしれない。

今回、インタビューに登場する二人の若手男役スター、麻路さきは6年目(研6)、大輝ゆうは5年目(研5)。男役10年というなら、今、まさに折り返し地点を過ぎて、これから勝負のダッシュに入るところ。そして、そんな時期だからこその勢いと、未完成ゆえの危うい魅力も感じられて、とっても気になる人達なのだ。

そんな二人が主演したバウホール公演「ミッドナイト・シティ・ロマンス」は、そのまま二人の若さの力で突っ走ったボーイミーツガールの物語。キラキラものの恋か、シャレたセリフと優しい音楽がいっぱい詰まった、そのまんまリアルタイムのミュージカル。

♥フィナーレ　中央・大輝ゆう、麻路さき。

Text▶榊原和子　Photographs▶伊東和則

〔Data〕
'88年10月22日―11月7日　宝塚バウホール
作・演出▶中村暁
出演▶麻路さき　大輝ゆう　青山雪菜
茜このみ　乙原愛　千珠晄　花愛望都
稔幸　ほか宝塚歌劇星組

麻路さき(あさじささき)神奈川県出身。'83年4月初舞台。同期生は先頃退団した神奈美帆をはじめ、各組で活躍という粒ぞろいの学年。月組から'86年に星組へと組替え。いきなり峰さを理の役を新人公演で演じ注目される。12月東京でも公演した「戦争と平和」では、色事師のアナトリーという大役を演じた。バウでは、すでに「グリーンスリーブス」で主演。これが2度目の主役。

◆やっぱり輪ッカのドレスは憧れ！

――今回は出演者が若い人ばかりですね。

麻路　私より上の方は二人だけなんです。それで下は研2(舞台2年目)まで出てます。作品が青春ものでしょう、自分たちの年代に近いので、すごくみんな楽しんで、下級生の子たちも工夫しながらやってます。私が、もし舞台に出はじめたばかりだったら、こんな作品から入りたかったなって思うくらい。たとえば声でも、無理に男役って声を出さなくても自然にやってても、男の子に見えるから。

大輝　のびのびやってるんです。下の子たちが。それがすごくいいんですよ。

麻路　なんて言うと、私たちがすごく落ち着いて年寄りっぽい(笑)けど、私たちも、まだ、大劇場ではね(笑)。

大輝　そう、上級生のあとを必死になってついていってるんです。

――麻路さんと大輝さんは、星組若手のスターとして活躍中ですけど、デビューの頃の話から聞かせて下さい。

麻路　私は苦節時代があるんですよ(笑)。初舞台のあと一年ぐらいは本当に役に縁がなくって。宝塚って二本立てが多いでしょう。それのショーの方だけ。それもオープニングとフィナーレとラインダンスだけで(笑)。お芝居は陰でコーラスとかやってましたから、お芝居で役につくって大変なことなんだなあ、って思ってました。ずーっと。

――大輝さんは逆にすぐ抜擢されて。

大輝　一年目の時に考えられないような大きい役を新人公演でいただいちゃって、もう、とにかく覚えきれないくらいのセリフの量だったし、稽古しているうちに声はつぶれてくるし、なんか大変だった、という感じですね。ただ、今思えば、男役として全然何も出来なかったのに衣裳が歌舞伎みたいな大きな衣裳で、あれでずいぶん助けられました。体形もごまかせたし(笑)。

麻路　そう、女っぽいの。下級生の頃って。

大輝　ズボンは全然似合わないし、化粧もへンだし、顔は丸いし。

麻路　それに歩き方なんかも大股で歩けと言われると足だけ先に行って(笑)、上半身が残ってたりするんですよ。

――志望は、初めから男役でしたか？

麻路　それが私は女役になりたかったんです。なにしろ通くらさんのドレス姿に憧れていたんですから。素敵な男役さんの相手役として舞台に立ちたかったんですよ。受験当時、身長が167cmもあったんですけど、本人は、絶対娘役になれると思ってたんです。

大輝　輪ッカのドレスは、私も着たかった(笑)。でも、私の場合は、本当にどちらって考えないで入って、背だけで男役って決められたんです。この間ショーの中の一つの場面で初めて女役で日向薫さんと踊らせてもらったんですけど、なんかビデオで自分の姿を見たら、すごく気持ち悪かった(笑)。もうダメですね。

♥ビートは、無理にアレンを諦めたナンシーのために仲間と広告代理店に乗り込んで、真相をアレンに知らせる。左からサム・雅景、ビート・大輝ゆう、マック・絵麻緒ゆう。

大輝ゆう(だいきゆう)京都府出身。'84年4月初舞台。1年目に名作「我が愛は山の彼方に」に新人公演で抜擢。悲運の武将チャムガ役を演じ、一躍期待される存在となる。'87年には、オープンする日比谷シャンテのイメージガールとしてCMやポスターにも登場した。柔らかな美しさから少年役でヒットが多く、バウ初主役の「セレブレーション」も少年役だった。

♥フィナーレ　麻路さき。

――最近は、とても重要なポジションについているお二人ですが、その大変さなどは？

麻路　一年前くらいには想像のできなかった場面とか役ですからね。なんか周りの上級生の方達相手に演じていて、遠慮が出ちゃうみたいで、そのことを一番指摘されます。たとえば榛名由梨さんなんて、私がファンだった頃の大スターで、その方と「戦争と平和」ではケンカするんですよね。胸ぐらをつかまれて、その手をバッとはらうシーンなのに、思わず力を抜いたりしちゃうんですよ。なんか下級生根性が抜けないって叱られます。あと、たとえばダンスなんかは、やっぱりキャリアの差って出ますからね。上の人に技術的にかなわないところがあって。でも、最後は、若さで、がんばっているところを見てもらうしかないと思ってます。

大輝　ダンスなんか、今まで二列目とか三列目で踊っていたのが、いきなりポンと二人で前に出されちゃった、という感じなんです。しっかり前に人がいないのはツライですよ。責任感は覚えておかないといけないし(笑)。責任感は何倍にもなっちゃったという感じです。ただ、前に人がいないのは、やっぱり踊ってて気持ちがいいけど(笑)。

――期待されるということは、そのぶんプレッシャーにもなるわけで、落ちこむ時などは？

麻路　しょっちゅうです。もう、浮き沈みの激しい生活で(笑)。とにかく中途半端じゃない。稽古中の先生の一言で、もう体がカチカチになって動けなくなるぐらいダメージ受ける時もあるし。きっとせっぱつまった時に言われるから余計そうなるんだと思いますけど、周りに人がいなかったら、きっと泣いてますね。でも、自分のどこかに立ち直らなきゃ、という意志はあるんですね。だから、宝塚の他の組の公演みて励まされたり(笑)、一人で思いきり泣いて、次の日はすっかり元気になって。いつのまにか積み重ねて、自分を強くしてきたみたいです。

大輝　私は、なんか、あんまり落ちこまない。

麻路　強い人なんですよ。

大輝　なにかあっても、ごはん食べたり、一晩寝たりすると忘れちゃうんですよ。あれ？昨日なにかあったのになあ、あれっ(笑)、っていう感じなんです。プレッシャーというか、期待とかも、あんまり感じないようにして暮らしてますし(笑)。

麻路　本番前にも強いんですよ、全然変わらない。

大輝　開演が近づくと急にヘラヘラしだすんです(笑)。あんまり、どうしようって気持ちにはならないみたいです。

麻路　なんとかなりますよーって言うのね。

大輝　麻路さんを、「がんばってね」とか励ましたりしちゃうんです(笑)。

麻路　私って体が大きいから、みんなはそう思ってくれないし、気づかれないことが多いんですけど、実は「何分前です」とか言われると手は震えるし、落ちつきがなくなって、奈落とかに隠れちゃうんです。そうすると同期生が探しに来る(笑)。逃げるんじゃないかって思うらしいんです(笑)。

大輝　でも、いざという時には強くなれる人じゃないかと思いますよ。この公演なんか、すごく下級生から頼りにされていて、みんながついていくという感じですから。

麻路　すごく下級生が気になるんですよ。前に自分がダメになりそうな時に、上の人が声をかけてくれて、その時、本当に神さまみたいに思えたから、思わず声をかけちゃう。

◆三拍子プラス魅力。

――キャラクター的に麻路さんは男っぽくて、大輝さんは中性的なイメージという感じですが、お互いのことをどう見ています？

麻路　ちょっと前までは、わりと同じグループの青年とかが多かったのよね。

大輝　そう。最近ちょっと変わってきた？

麻路　うん。わりに、そういうふうに色わけされて言われることが多くなったみたいですね。ただ、まだ決められたくないというのはありますけど。でも、たしかに大輝さんには、私にはない妖精っぽさみたいなところ、たとえば人間でないような役でもやれちゃう魅力があるから、それは私も参考にしたい。それで、私が男っぽいって言われるんだったらそういう役が来たら、とことんやってやるぞ、みたいなファイトは持っていたいですしね。

大輝　麻路さんは人間味みたいなものが出せる人なんですよ。それと、これぞ宝塚の男役っていうところがあるから、それはすごい。私は少年役とかが多かったので、早く大人っぽい役を演じられるようになるのが課題だし、でも今のキャラクターも大事にしたい。

――宝塚の男役はダンス・歌・芝居と三拍子を要求されますけど、どれが一番好きですか？

麻路　今はやっぱりお芝居が好きかなあ。

大輝　私もお芝居。麻路さんはダンスがすごいんですよ。キレがいいし動きにムダがない。

麻路　そのぶん、私は人一倍稽古しないとダメなほうだからダンスはしんどいですよお。三拍子そろうって言いますけど、器用とか上手とかだけでもダメらしくて、やっぱり魅力的ってことが大事みたいで、たいへんですよ。

大輝　でも、楽しい。

麻路　そう、楽しいですよ、男役。

♥アレンは、ナンシーというかわいい娘と知り合う。彼女は兄と二人でレストランをきりもりしている働きもの。アレンは2階に間借りすることになる。一方チンピラ三人組のビートはナンシーが好き。左からアレン・麻路さき、ナンシー・青山雪菜、ビート・大輝ゆう。

♥ここはNYの広告代理店、仕事を探しにやってきたアレンは、パンダキャンペーンのコピーを作って、見事に採用される。左からシガニー社長・千珠晄、アレン・麻路さき。

追いかけて大恋愛

あの舞台に
また会おう
あの胸ときめく言葉を
また耳にしよう
初夏から秋へ
東京から大阪へ
追いかけて追いかけて
大恋愛

大恋愛　大阪公演

チェンジングメンバーを迎えて――

山下裕子・池田成志
渡辺いっけい・渡辺育子

五月の恵比寿ファクトリーで、11人の役者たちが魅力的に演じてくれた「大恋愛」が、2人の新たなメンバーに入れ替わって大阪公演へ。第三エロチカの郷田和彦のかわりに、劇団☆新感線出身の渡辺いっけい。チーボー重田千穂子の二つの役はザズウ・シアターの渡辺育子が。この両渡辺を迎えた稽古場は？そして大阪での舞台は？　秋の「大恋愛」はどう変わっていたのでしょうか。

なにネコかぶってるの

池田　今日はいっけいさんについて話をするそうです(笑)。

渡辺い　なんですか、それは(笑)。いや、久しぶりの稽古場ですから、初めの頃はコワかった。カンが鈍ってるんじゃないかと思って。まだ本調子じゃないですけどね。でも、こういうことを言うとウソっぽいと言われるんですけど、稽古することが楽しいんですよ。

――どのくらい舞台から離れてらしたんですか。

渡辺い　ちょうど一年ですね。でも、今回のこの公演ということで本当によかったと思う。篤もいますし、ツーカーですから。篤とばかり話さないようにと、それだけ考えてます(笑)。仲がいいというのとは違うんですよ。微妙なことなんですけど、よく知り合っているということで(笑)。この前の東京版では、篤と池田くんがツーカーだったそうですけど。篤の甘えを一身に背負っていたのではないかと。

池田　そうだったかなあ。そうだったのかもしれない(笑)。いっけいさんは、おとなしいんですよ、ネコかぶってモクモクとやってるんですから、稽古場では。

渡辺い　そりゃそうだよ。みんなは二回目でも、俺は初めてですから。じーっとセリフを反芻してるんですよ。そうすると池田くんがチャチャいれてくるの。なにネコかぶってるのって(笑)。俺って本当はいつもまじめなのよ。

――池田さんはチャチャ入れる人なんですか。

池田　違います。入れられる人なんですよ。

山下　そう。篤くんや古田さんに入れられるのがナルシで、それで負けると私たちの方にチャチャ入れにくるんです。

渡辺育　ハハハ。

池田　まずいなぁ、僕が卑怯みたいじゃない。でも、大きい意味では、きっと、いっけいさんの方が卑怯な人のような気がします。

渡辺い　知ってるように言うなよ(笑)。

小心者で気弱なザンパノ!?

――お芝居の内容は大きく変わりそうですか。

山下　私のところは相手役も変わらないし、セリフもあんまり変化ないと思うんですが、五月にやった時の反省点というのはいろいろ出しまして。基本ラインが五月だとすると、いかにそこからふくらませることができるかというのが課題で、喋り方とかを、自由に気持ち優先にして、たとえば笑ってやっても泣いてやっても成立する、みたいなところまでもっていきたい、ということなんです。

池田　僕の場合もモノローグなんかの部分は、五月の時と同じで、ふつうに言わない、みたいなことがやっぱり課題なんだと思う。ふつうのドラマみたいにやったら、いきなり木野さんにカットされちゃいますから。気持ちをつくるんじゃなくて、本当にその気持ちになったら、もっと狂ったり、嬉しがったりするんじゃないかと、そういうことなんでしょう。

山下　そう。計算とかが見えるのがキライなんですよ。木野さんは。

池田　計算したらいきなり怒られますよ。ここはこうなるみたいな、ふつうのお芝居みたいなことをするとダメで。類型的じゃない、その人に本当に合った演技をさせたいんじゃないかな。

――育子さんは、チーボーのかわりに入るわけですが。

渡辺育　みどりさんの方は、あの中ではふつうっぽいというか設定が普通だから、やりやすいかなって思ってます。セリフはたぶんあまり変わらないと思うけど、前と同じにはならないんじゃないか、と。なんかいろいろなことが経験できればいい。とにかく外部でやるというのが初めてですから。

――いっけいさんは郷田さんのザンパノ役。

渡辺い　あの役ね、僕は正直いって郷田さんと体型も違うし、他の役がくるのかなと思ってたんです。だからどひゃーっとびっくりして。僕なりに木野さんの演出の線で少し変えてゆくことになるとは思うんですけどね。基本的なところは変わらないと思います。ただ僕はなにしろ小心者で気弱なものですから(笑)。そのへんだけでも、大分変わるんじゃないかと。

――この作品は、役者さんの魅力でみせる芝居ですよね。

山下　そうなんです。木野さんの演出のしかたとして、一応芝居の構成というものはあっても、一番に、それぞれの役者がイキイキしてこなきゃだめ、ということで、役者がとにかく面白くて魅力あればいいってことなので、それがすごくたいへんですよね。

渡辺育　なんかダンスの方が心配なんですよ(笑)。ふだん少しでもやっていれば全然違うんでしょうけど、一回、前に踊ったことがあって、その時、あまりにもヘタで(笑)。とにかく素質がないんです。長野さんとか、ずいぶん教えてくれるんですけど。なんか、まちがえそうで。

――いっけいさん、ダンスは？

渡辺い　僕はうまいです(笑)。昔はヘヴィメタギンギンの舞台で力こぶで押しまくるというのを、二年ほどやりましたから(笑)。ただ、この三年、まったく離れてましたからね。笑われないように、顔ですごんで威圧しながら踊ろうと思ってます(笑)。

カッちゃんのスキンシップとは

――稽古場の雰囲気はどうですか？

山下　一回やったメンバーが多いですから、控え室なんかなごやかですよ。でも会話はまだそんなに多くなくて、なにしろ寝てる人もいるし(笑)、ね。

渡辺育　寝てるんじゃないんです。ゴロゴロしてるんです。控え室が畳だから(笑)。でも、だいたいいつもそうなんです。ザズウ・シアターでは、だいたいバラバラでボーっとしてたりが多いから。

――演技のこと考えたりとか？

渡辺育　そういうこともあるし―、別のこともあるし―(笑)。

池田　会話は聞こえてるんだよね。

渡辺い　そうそう。

山下　面白いこというと反応するのね。

池田　笑うだけだけどね。

渡辺い　笑い方がすごいね。ハハハッハッハッハ(低い声で)。

山下　寝てる人もいれば、ネコかぶって黙って稽古してる人もいるし(笑)。

池田　勝村なんか体ばっかり動かしてるしね。

山下　運動部ノリなんですよ、彼は。

渡辺い　僕が入ったばかりの頃、話しかけずにいきなりプロレス技かけてきて、それがあの人のスキンシップの方法だったらしくて(笑)。かわいいんです、すごく。

渡辺育　私には、プロレスワザはなかったけど、ダンス教えてくれました(笑)。

池田　それはスキンシップじゃなくて、たんなるスケベなだけだよ。そう解釈したほうが正しいと思うよ(笑)。

――池田さんと育子さんは大阪公演は初めてだそうですね。

池田　そうです。

渡辺育　公演は初めてですけど、でも、母が大阪出身なので、おばあちゃんはいるし。だから、そんなに知らない土地じゃないから。

山下　テンション高いんですよ、お客さんが。なんでもかんでも、ちょっとおかしいことあると乗り出して笑うんです。で、面白かったのかなと思って、あとで聞くと、つまんなかったって言われたことあるんです(笑)。とにかくお金払ったから、そのぶん笑ってやろうみたいな感じがある。

渡辺い　それは東京からというので、すごく期待しているんじゃないんですか。ちょっと片ひじはって観てるから、無理して、ちょっとしたことで笑ってくれる。でも、それとは別に、お笑いに関しては根深いものがあって、それがあるだけに、逆にお芝居自体を見たがってる面もあると思うし。けっこう大阪のお客さんって複雑なものがあるみたい。

――大阪の街自体も楽しみですね、いっけいさんには地元のファンも多いでしょうし。

渡辺い　ファンなんてそんなものいません。せいぜい大学の後輩がくるだけです(笑)。

池田　まあ、古田も篤もいるし、いっけいさんもいますから、あんまり地元の人たちにつられて遊ばないようにしたいです(笑)。

池田成志　福岡県出身。'82年早大劇研入り。'84年まで第三舞台に所属。'84年旅上げした山の手事情社のメインとして活躍してきたが、昨年秋退団。現在はフリー。当分の間はどこにも所属しない予定。最新出演作は、ザズウ・シアターの「NORD〈北へ〉」。

渡辺育子　東京出身。早大入学と同時に劇研入り。ザズウ・シアターの前身大／早稲田攻社「うたかたの日々」でデビュー。以来、一貫してザズウの主宰者鈴木勝秀の実学を演じきる。そんなただものでない舞台上の姿からは想像できないほどおっとりした素顔。

渡辺いっけい　名古屋出身。大阪芸大在学中に、いのうえひでのり率いる劇団☆新感線で活躍。卒業と同時に東京へ。状況劇場に3年程参加。その後、一人で出来る活動を、とフリーになる。関西一の卑怯役者と呼ばれたユニークなキャラクターと演技力は定評がある。

山下裕子　東京出身。'82年早大劇研入り。初舞台以来第三舞台に所属。パワーと演技力と背の高さで、観客の目を奪う存在。三枚目からテーマを背負う役まで、高いテンションで演じ切る。フジＴＶ「いただきます」月曜日のレギュラーとして出演中。

池田成志・渡辺いっけい・渡辺育子・山下裕子

劇団一跡二跳　第八回公演

さよなら最後の応援団AGAIN

作・演出　古城十忍

1989年2月23日(木)▼26日(日)
■PM7時開演(土・日は2時あり)

新宿シアターモリエール
☎03・354・6568

■前売・電話予約¥1800
当日¥2000
高校生以下¥1500

■前売券取扱所
チケットぴあ
03-237-9999
チケットセゾン
03-5990-9999

■電話予約・お問合わせ
劇団一跡二跳
03-391-6242

パルテノン多摩小劇場フェスティバル'89参加
■1989年2月13日(月)
■PM7時開演
■前売1500円
当日1800円
びあ・セゾンにて発売中

劇団員募集
一跡二跳では男・女優ともに若干名募集します。オリジナリティあふれるレッスンシステムで基礎から教えます。2月末までに履歴書を送って下さい。
〒167 杉並区清水1-8-4 カーザミアア荻窪B1
劇団一跡二跳

オフィス・ザ・サードステージ・プロデュース
第2回大阪公演・近鉄小劇場提携公演『大恋愛』

Text▶榊原和子

追いかけて 大恋愛

Photographs▶伊東和則

❶「ハバネラ」で踊る出演者たち。左から筒井真理子、池田成志、筧利夫、古田新太、山下裕子、長野里美、渡辺いっけい、渡辺育子、勝村政信。
❷ちょっとマンネリだけど仲のいい恋人同士のふたりは、ピクニックにやってきた。「ホカ弁もいいけど手造りのお弁当がいいな、リンゴのウサギやウインナのタコ」渡辺育子、池田成志。
❸旅芸人のザンパノは力自慢、鎖を胸で切る。ジェルソミーナは太鼓を叩いて客寄せをする。「始まるよー、始まるよー」渡辺いっけい、筒井真理子。
❹「ひらけーゴマ」青年と少女がたどりついたのは廃墟となってしまった劇場。大高洋夫、樫尾佳代子。
❺好きな人をデイトに誘うなら、まず動物園。ヒロちゃんの手ほどきを受けるケンタ。「ヤキソバ買ってくるからここで待ってろよ」勝村政信、山下裕子。
❻「パ・イ・タ」オセロはデスデモーナが不倫をしたと告げ口され、売女と罵る。しかし彼女は身に覚えがない。古田新太、渡辺育子。
❼中学生の姪が上京してきた。東京ディズニーランドに連れていっているうちに、なんだか一緒に高揚してしまう若い叔父さん。「野放しなんだよね、感情が」筧利夫。
❽仕事に打ち込んでいてもどこか空しい、どこかで劇的な出会いが待っているのかも。「そんなに遠くばかり見てないで、たまには身近なところも見てみろよ」ショーウインドゥのデザイナーの女と男。長野里美、古田新太。

●第三舞台公演予定「宇宙で眠るための方法について　序章」　東京・2月11日㈯～3月12日㈰紀伊國屋ホール　大阪・4月2日㈮～4月13日㈫近鉄小劇場　問劇団03-367-0292

いっけいさんのザンパノは…、育子さんのみどりさんやデスデモーナは…。もちろん他の9人の役者さんたちは、前回よりいっそう面白い舞台を見せてくれるに違いない。そう考えたら、見ないわけにはいかない！　というわけでやって来た上本町の近鉄小劇場。

なんといっても一大変化があったのは筧さん。九州弁じゃない！漂準語だけどちょっとおかしな語り口。そして、中学生の姪とディズニーランドに行った話をする前ふりの話が、アナーキーなアドリブ。それも日がわりというぜいたくさだそうで、この日演じたカクテキとナムルとパチンコ玉の交換の話は、抱腹絶倒。涙がでる程おかしかった。

地元だからというわけではないけれど、前にも増して元気だったのが古田さん。オセロの嫉妬はますます激しく、小柄な育子さんをかかえ投げるだけでは足らずに、大声で罵りながら袖にひっこんだと思ったら客席に出てきたり、バルコニーに出たりの神出鬼没。本領発揮という感じ。

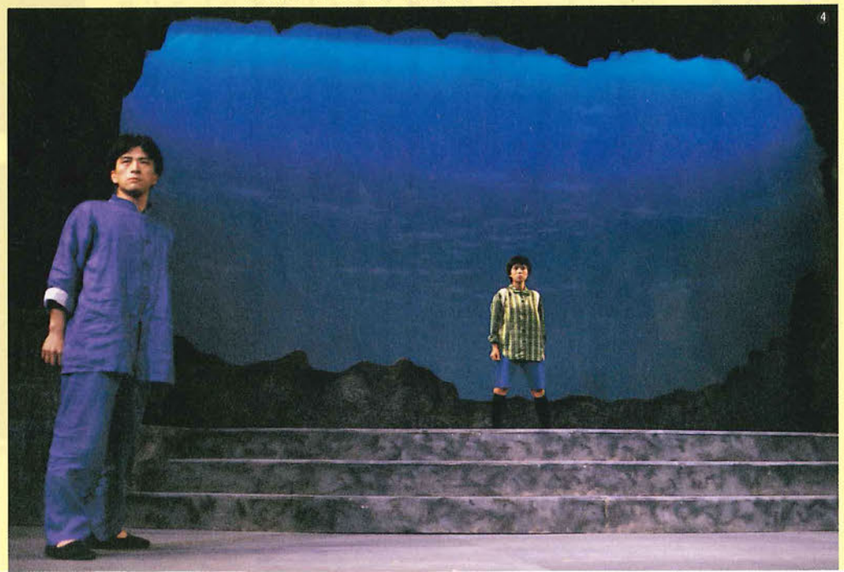
その古田さんと並ぶと本当に華奢で小さくみえる育子さんは、古田さんにふり回されるだけではなく、池田さんと一緒の場面では走り回る。そのうち筒井さんのジェルソミーナの太鼓を池田さんと二人で追いかけて走り回る。育子さんもこれほど体力勝負とは、思ってもいなかったにちがいない。

"注目"のいっけいさん。その卑怯さはさっそくジェルソミーナいじめの太鼓の叩き方で見せてくれた。あまりにもムチャクチャなアドリブ。そのばちが当たったのか、この日、胸で切るはずの鎖が、なんとその前に切れてしまうというハプニング。それでも慌てず騒がず、なんとか胸で切ったようにやり直してしまったところなど、小心者ならぬ大胆な舞台度胸。

ところで、この劇場ではファクトリーの時と違って大高・樫尾さんの歩くところが普通の客席通路。楽しかった鉄棒すべりなんかは当然なくなっていて、残念だったけれど、そのぶん大高・樫尾コンビが本当にすぐそばを通っていく。一番はしの席に坐った人はとっても幸せそうだった。

それにしても、五月の東京から十月の大阪へ。場所は変わっても再演ということにかわりはない。そして再演はつねに、初演より良くなることを要求される。そのために役者たちをさらに自由に豊かに動かす仕事をした演出の木野さん、お疲れさまでした。そして、それに応えて、前よりいっそう自分たちの言葉で感情で"恋愛"を演じてくれた役者さんたち、本当に素敵だった。再び、廃墟の劇場でめぐりあったあの空。あの空は前にも増して胸にしみる青さでした。

〔Data〕10月21日～29日　上本町近鉄小劇場　構成・演出▶木野花　出演▶大高洋夫　筧利夫　勝村政信　長野里美　山下裕子　筒井真理子　池田成志　古田新太　渡辺いっけい　樫尾佳代子　渡辺育子



ふりむけば青き地球の物語

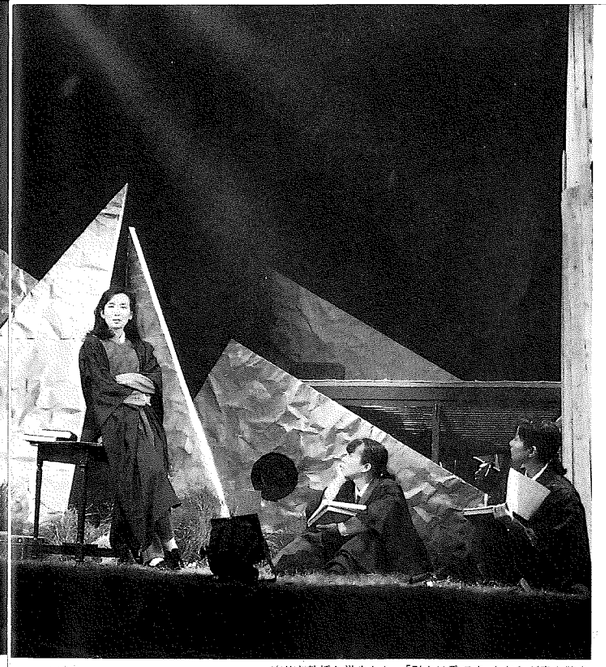
劇団青い鳥

美しき天然紀行

サイコロの責任

今生きているこの世界のわからなさに気づいてしまった自分をみつめるのは哀しいことかもしれない。けれど、空や星や木や風が愛しいことに気づいた時、この宇宙の溢れんばかりのあたたかさを知った時…青い鳥はとてつもなくやさしい…。

Text▶きりがやなおみ　Photographs▶青木 司



ゆりあ教授と学生たち。「引力は愛です。あなたが森を散歩した時には。あなたの体の細胞ひとつひとつは森の大気、木々とひき合っているのです。明日の朝、あなたが暖かいお茶を飲む時、その森のすべての木が暖まるのです」

〔Data〕
10月13日～29日　新宿紀伊國屋ホール
作・演出▶市堂令
出演▶天衣織女　伊沢磨紀　上村柚梨子
葛西佐紀　芹川藍

光輝く扉が開かれて『サイコロの責任』は始まる。そして芝居のラストでも扉が開かれたことを知っていましたか？　科学者たちが客席にふり向くと、ユーリズミックスの There Must be an Angel という曲がかかる。そして扉は開かれた。あいにくとその扉は客席の後方の扉だったから、舞台から目を離して振り向く人なんて、めったにいやあしなかったけれど。

さて、毎日その扉を開けていた私は、この役目がとても好きでした。扉の向こう側には地球が描いてあって、ライトがあたるとともに美しいのです。誰も気づかなくても地球はきれいで、そこにあるってことが、もう嬉しくてしかたなかったのです。世の中で一番見たい景色が宇宙から見た地球である私は、なんというか、言葉にするとたいへん照れくさいのだけれど、この青き地球に恋してしまったみたいです。必要以上に早く扉の裏にスタンバイする私を他のスタッフは笑うのでした。

「まだ早いよ」と笑う音響助手のイサシさんが、ふたつあった扉のもう片方を開けました。芝居って本当にいろんな人がいろんな仕事をして、それでひとつの舞台ができあがるのですね。扉あけ係および座席案内人の謎のカリアゲ音響師のイサシさんは、『サイコロの責任』の公演のあとキチンと音響の仕事をしました。そして謎の演劇ぶっくライターきりがやをその芝居に招待してくれました。銀座小劇場の彼女は少しだけプロの顔つきになっていました。土曜のマチネの回だったのでそのあと映画を見ました。映画館に向かう晴海通りには、ちょっとびっくりするくらい枯葉が舞っていて、思わず上を見ると秋の空があったのです。ビルばかりだと思っていたこの通りもちゃんと秋になっていたことがなんだか嬉しいのは、『サイコロの責任』を見たからかもしれません。その日に見た『ベルリン・天使の詩』はとてもやさしくなれる映画でした。心やさしき天使のおじさんたちは髪の毛をうしろでむすんでいました。あれ、『サイコロの責任』の科学者たちと同じだ。病気のゆりあを一生懸命救おうとしていた彼女たちもまた天使だったのかもしれません。誰も見ていないと思っていた客席の後ろの青き地球は、少なくとも四人の天使が舞台の上からみつめていたんだな。

天使たちにみつめられて、地球はきっと幸福だったにちがいない…。

★

インタビューは天使の話から始めよう

——『ベルリン・天使の詩』見ましたか？

芹川　見ました。

——『サイコロの責任』の科学者たちと天使のおじさんは同じ髪型だったから…。

葛西　稽古の時にね、みんなちょっと髪の毛長くなっちゃったからしばってたのね。そしたらなんだかカワイクて、今回こうしようかって言ってて映画見たらそうだったからびっくりしたの。

芹川　天使がおじさんたちだったでしょ。あのやさしさっていうのかなぁ、あのおじさんたちがカワイクてさ、すごく悲しさみたいなものをしょっててね。あの映画を見た時にさ、この映画は…とか思うんじゃなくて自分を思う、自分を知ろうとする映画のように思える。人がみんな寂しくてね、どっかが。ふるえてて…そういうのがあの映画を見た時に一瞬とまるっていうかね、そういう感じがした。

——『サイコロの責任』にもそういう感じってありますね。

天衣　わからない人には全然わかんないんじゃないかっていうような不安はあるけどね。

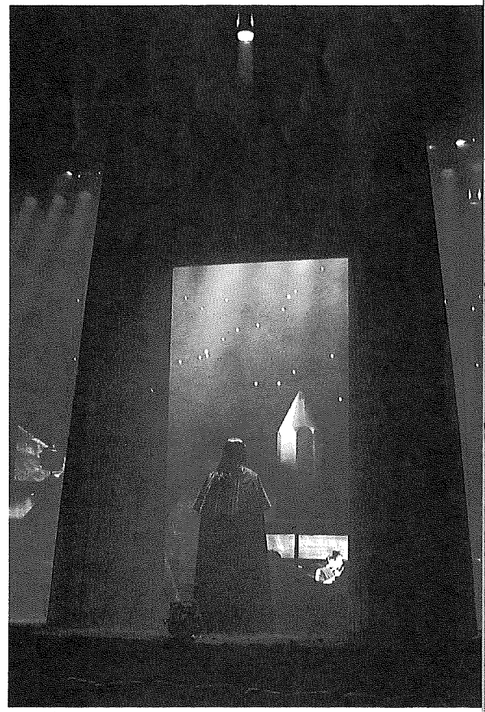
——人それぞれ感じ方もちがうから、わからない人も当然いると思うけど、何も感じない人はどうしたらいいんだろう……。

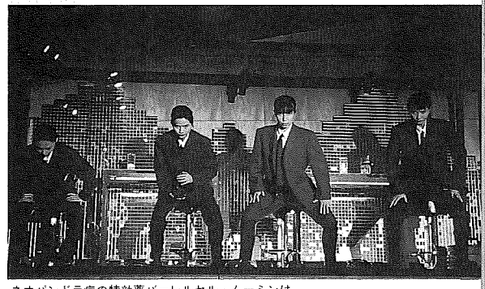
芹川　どうしたらいいんだろうねー。

——たとえば、北海道の知床の原生林を切っちゃったりする人たちはきっと『サイコロの責任』を見ても何も感じないと思う。でも、そういう人たちにこそ、何かを感じてほしいと思うんですけど…。

上村　でもさ、私たちだってわかってないこ

扉は開かれた





ネオパンドラ症の特効薬パーレルセル・ムーミンは完成した！　いざ、腰をあげん！とする科学者たち！

〈実験Ⅰ・福助の健やかな香り〉嗅覚によるパーレルセル・ムーミンの効きめはいかに？「ゆりあさん、桑田と長嶋、どっちが好きですか？」

最後の実験は開始された。嵐の前兆の中、ネオパンドラ症のゆりあは木に包帯を巻き、博士達はジェイソン君になった。チェーンソーは叫び、木の葉は落ちていく。

〈実験Ⅱ・スーパー・サウンド・ストラビンスキーの健やかなしらべ〉聴覚に訴えるパーレルセル・ムーミンの効きめはいかに？「ゆりあさん、博多どんたくと青森のねぶた祭り、どっちが好きですか？」

とってたくさんあるじゃない。私たちは生まれた時からある、物の中で生活してるわけじゃない。なんで羽田空港を作ったんだってことを考えても、私たちは確かに便利だっていう恩恵を被っているんだけど、東京湾を埋め立てる前はもっとステキだったかもしれないよね。

芹川　そういうジレンマみたいな芝居でもあったでしょう。科学者をだしてね。ゆりあも科学者も私たちなんだけどさ。そういうジレンマを考えるとどうしたらいいかわかんなくなっちゃうんだよね。わかんないことっていっぱいあるよね。

★

それからみんなで、ツキノワぐまの話と日本の最北端のサルの話とエスキモーが助けた鯨の話をした。どうしたらいいかわからないことは本当にいっぱいある…。

★

天衣　こういうミーティングしてたんだよ。

全員　そうそうそうそうそう。

天衣　わかんないーって。ナメクジがわかんないー！って。

——今回の芝居は青い鳥にしてはめずらしくキタナイ話もしてましたね。

天衣　けっこう普段はそういう話するよね、どっちがイヤかって(笑)。

上村　四畳半いっぱいのゴキブリの部屋と××の部屋と△△の部屋とヘビの部屋。

葛西　ひとつ選ぶの、どれなら耐えられるか。けっこう真剣だよね(笑)。

天衣　あたしゴキブリ。バッタの親戚だもん。

葛西　ねえねえ、ゴキブリよく観察したことあるの。バッタと全然ちがうよ。あの、オ・ナ・カ！　ウワー、イヤ！

天衣　でも虫じゃない。

伊沢　あたしは…ヘビ…かな。

芹川　なんでー。

伊沢　意外とカワイイんじゃないかなって…。

全員　いっぱいいるんだよぉー。

天衣　ちっちゃいのやおっきいのや、こおーんなにいるんだよ。

伊沢　ゴキブリよりは耐えられそうな気がする。

葛西　×××は？×××の方がまだいいよぉ。

天衣　エー！　あたし耐えらんない。

上村　自分のでも？

天衣　ダメ！　だってたまってるんでしょ。

葛西　そう、上からドボンって入るの。

……しばらくお待ち下さい……

——今回の芝居ができたキッカケは。

芹川　切実感があったよね。今回の芝居って見てる人もやってる人も、自分がここにいるっていう、自分をわかるために芝居を見るみたいな感じがする。青い鳥っていうのは芝居が自分と離れているんじゃないのね。自分たちは今こういう状態なのに、自分の感情とは裏腹に何かをやるとか、そういうつくり方をしてないんだね、きっと。

上村　昔みたいにさ、いろいろあるけど元気になろうよっていう感じにはならなくて、いろんなものを背おいながらやっていくっていうのがきっと本当なんだろうなと思うの。

葛西　自分っていうのが必要不可欠な存在であるっていうのを日常のこの生活の中で感じて生きていくっていうのも大切なことなんだけれども、もっとそれを大きく見た時に、宇宙の始まりとか地球の誕生とか、そういうところにつながるものとしてここにいるんだってことを感じたいなぁっていうことなの。

●次回公演「青い実をたべた」再演
青山円形劇場　4月上旬～下旬

劇団・冒険物語三周年記念 第七回公演
作・演出・うちやま きよつぐ
―名探偵・蘭光太郎―
「朝に別れのギムレットを」
最強の敵に敢然と立ち向う我らが名探偵、蘭光太郎と
超娯楽アクション巨編！
セーラー服探偵団十女子大生探偵団再び登場!!
★キャスト★
村上冬樹●美樹
夏山美●悟
古澤瑞樹●祐一
今佳●子
大曽根智美●子
早川喬●彦
増田義●子
栗田静●すみ
渡瀬夏●まゆみ
後藤●光宏
野口博昭
佐々木誠一
佐藤竜男志(「旭」)
高橋幸子●
安原葉子(冒険団)●
西原千雪●
内山清次●
1・12(木)→16(月)
青山円形劇場
開演●午後7時(14日(土)15日(日)マチネ3時開演あり)・(16日(月)マチネ2時・ソワレ6時開演)
開場＝開演30分前
料金●2,200円(自由席定員制)
電話予約・お問合せ 03-634-7352
劇団冒険物語OFFICE
劇団・冒険物語OFFICE
〒135 東京都江東区常盤1-16-2
TEL (03) 634-7352

Stage Photograph

「エイズ日記」帝国が築かれるための時間・その風景のざわめき

パルコ十第三エロチカプロデュース公演

帝国エイズの逆襲

「帝国エイズの逆襲」の稽古は、京浜急行線の青物横丁駅から歩いて5・6分の、元ガラス製造会社のビルの一室で、約一ヵ月半に渡って行なわれた。回りの幼稚園やスポーツセンターで日常的生活が為される傍ら、密かに非日常空間が同時進行していた。

Text▶長坂まき子　Photographs▶宮内勝

鬼猫家に迷い込んだ沖は、次々と不気味な人物に遭遇する。左から、コレラ(黒澤幸代)ペスト(有薗芳記)沖直人(大谷亮介)レプラ(宮島健)

〔Data〕
10月15日～26日　パルコ・スペース・パート3
作・演出▶川村毅
出演▶大谷亮介　西山水木　篠井英介　海老原洋之
宮島健　黒澤幸代　笠原真志　哀藤誠司　舞坂ゆい
郷田和彦　有薗芳記　深浦加奈子

〔稽古の進行〕

この作品は、今までのエロチカの戯曲に比べ、ストーリーの展開にきっちりした型があり、勢いで見せるタイプのものではない。人物設定にしても、ドラキュラ伯爵さながらの鬼猫明、典型的な魔性の女鬼猫ひとみ、謎めく程の純粋さ故の残酷さを持つ娘さやか、キザを絵に書いた様なナルシストの作家沖直人、決して人間の域を越えない正義の味方島村孝二と、皆、正統派で古典的な型にはまっている。そういうクラシックな感覚と、現代病であるエイズとのミスマッチが、この物語の一番の面白さだ。そして、客演である四人の役者がメインキャストで登場するのもなかなか興味深い。

稽古は、まず本読みから始まった。しかしそれは四時間程で終り、すぐに立ち稽古に入ってしまった。この段階で、川村氏からの細かい指導はほとんど無い。脚本が上った段階で、ある程度の演出作業は完了しているからなのだろう。本の中に、全体的な彼の演出意図が容易に読み取れるのだ。稽古に入ると、彼は、与える側から受け手へと転身する。役者の自由な演技を受け止め、整理し、ひとつの物語にまとめていくのが川村演出のやり方なのだ。細かい動き、セリフの言い回し等は、すべて個々の役者に任され、余計なものが持ち込まれれば排除するが、始めからあらゆる限定を与える事は無い。そういうやり方は、役者にとって、時に演り易く、時に非常に演りにくい。今回は、説明的なセリフが多少多いため、セリフに添った動きが見付けにくいのか、川村氏の書くセリフに慣れているエロチカの役者陣も、どうしても動きが堅くなってしまう様に思えた。しかし、稽古七日目に音響が入り、曲を流して動いてみると、その立ち姿、静かな動きが美しく見え始めたから不思議だ。しっとりとした芝居の流れが、今まではどこかたるく、煮え切らない様で不満だったが、それが実に心地良く感じられる様になり、イメージがどんどん広がっていくのだ。エロチカの芝居の中で、音楽、音響がいかに重要なポイントとなっているかを痛感させられた。稽古場に持ち込んだカセットデッキから最大のボリュームで吐き出される曲は、テープが使い古され、日に日に音が悪くなるにつれ、まるで古い映画の擦り切れた映像の様に、趣と迫力を増していったのだった。

〔客演四人のプロセス〕

そんな状況の中で、客演の四人の役者は悪戦苦闘していた。東京壱組の大谷亮介は、本を読んだ時点で、沖直人という人物にあまり

若きベストセラー作家沖直人（大谷亮介）は、毎週影博士(哀藤誠司)の元へエイズ検診にやって来る。

ひとみ(篠井英介)の助言も聞かず、鬼猫明(郷田和彦)はチョチョリーナの歴史を語り続ける。

ビデオ界のスター森本かなえ(舞坂ゆい)も、沖を追って鬼猫の館へやって来る。

ラストのどんでん返し。新たなるエイズ王の誕生。

満月の夜にさやか(西山水木)を診察する医師島村(海老原洋之)

「待ってるなんてもういやよ。」愛する島村と共にエイズと闘う決心をする英子。(深浦加奈子)

「あたし達は、栄えある滅びの種族なのだから！」気高く美しい夜の姉妹ひとみ(篠井英介)とさやか(西山水木)

●第三エロチカ次回公演
「近代能楽集」
原作▶三島由紀夫
演出▶川村毅
4月5日～9日
新宿南口　スペースゼロ

共感を覚えられなかったため、まずは〝沖直人像〟をくずす事から役作りが始まった。外側から新しい個性を沖に加えるのだ。そうやって、自分と沖との接点を探していたのだろう。稽古終了後も、一人で残って自主稽古をしたり、稽古場近くのミスター・ドーナッツで、数人の役者と〝帝国エイズ論〟を闘わせたりと稽古熱心だった。

さやか役のEDメタリックシアターの西山水木は、年下の演出家と組むのは初めてで、〝お姉さんなんだから色々教えてあげなきゃ〟と思っていたが、自分の事で精一杯でそれどころじゃなかったと笑っていた。稽古が始まって間もない頃、「さやか、ちょっと可愛いすぎるよ。」という川村氏のダメ出しに喜んで、西山演じる〝少女さやか〟はますます可愛らしくあどけなく仕上っていった。

花組芝居の篠井英介は、最近は男ばかりで芝居を作っていたため、久々の女優との共演で自分がどういう女に見えるか不安だった様だが、〝どんな役を演じていても、常に〝自分は篠井英介だ〟という意識を持ち続けている彼は、稽古期間中、決して自分のペースを乱す事は無かった。独自の古風な魅力はまさにひとみという役柄そのもので、与えられた役柄の中で自由に遊び回る彼は常に生き生きしていた。

ビデオ女優森本かなえ役の舞坂ゆいは実際にビデオ界のアイドル。芝居は初めてという事もあり、本読みの時など、一言のセリフにも躊躇し、緊迫したシーンの稽古で笑ってしまう事も度々で、いつも不安そうにテレた笑顔でとまどっていた。しかし初日の舞台では、稽古とはまったく異り、のびのびとした思い切りの良い演技をしているのを見て、観客は、役者を成長させる一番の要因なのだとつくづく感じた。

なんとか無事に初日を迎える事が出来た訳だが、本番に入ってからも芝居はどんどん変化した。稽古の末に本番があっても、それは決して結論でも、完成品でもないからだ。舞台は、日々観客の目に審査されるオーディションの様なもの。自分の可能性との限り無い闘いなのだ。

芝居に魅入られる安西水丸。人間との関わりが底抜けに面白いのだ。

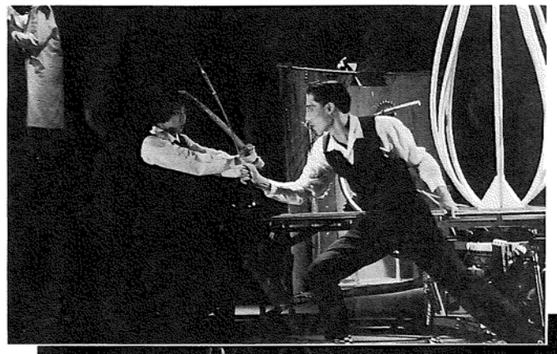
月蝕歌劇団

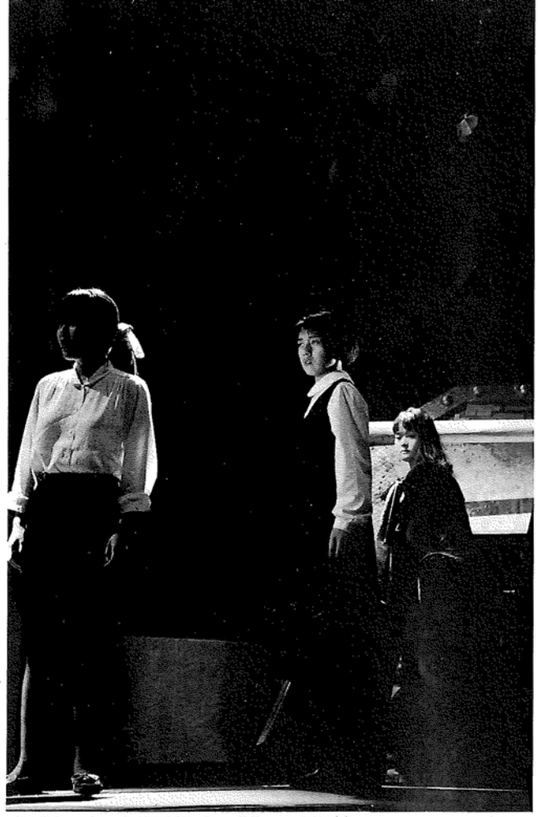
若草物語 ―マックスウェルの悪魔

美しい４人姉妹と狂信的な教育学者の父とが織りなす、時空を超える少女オペラ。
乾いたイラストでお馴染みの異才が綴る、演出初体験記。

Text▶安西水丸

女子高の反乱。ファシスト教官・矢野（津田卓也）と令子（戸村由香）の対決。





教育学者の父（上野有薔）の束縛の中、三姉妹は煩悶を続ける。どこかチェーホフの舞台のようだ。この三姉妹が、父の手から自由を奪い返そうとする戦いと、女子高の反乱とがＳＦ的に交錯し、ファンタジーワールドをつくり出す。経歴では60年代学生運動の事例も用いて、戦後教育を批判する。吉本隆明の「くらい戦いの続きもの」を見るという言葉を思い出すような、熱望と失意が入りまじる作者の筆致は、いつもながら好調だ。

〔Data〕
11月18日～23日　吉祥寺バウスシアター
作▶高取英　演出▶安西水丸
出演▶戸村由香　津田卓也　吉見絹　田中こずえ　他

異様な厳格さにつつまれる女子寄宿舎の食卓風景。牛乳が嫌いな子には恐しい体罰ナノダ。そして、いつしか生徒達の血液は牛乳に……藤原新也の「乳の海」を想わせる展開だ。

高取英の作による「若草物語―マックスウェルの悪魔」は、ぼくにとってはじめての演出だった。

彼の作品は今までに何度か目にしているし、公演のポスターや舞台美術なども手がけたことがあった。そういった高取英との関わりが、今度の演出ということに結びついたのだとおもう。

演出するということが本決りになってから、よく友人に「演出をやるって、稽古中に灰皿を投げつけたりするの」などと言われた。どういうわけか、日本の演出家というのはそんなふうにおもわれがちなようだ。

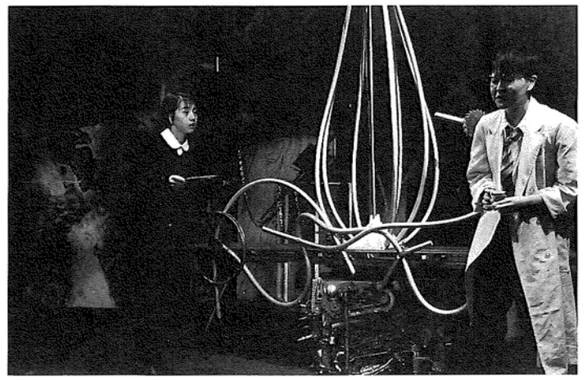
ぼくが灰皿など投げるわけがない。

とにかく芝居の稽古は九月末からはじまった。稽古場はいろいろな事情があって、あちこちを転々として行った。「月蝕歌劇団」の役者たちは、アルバイトや学生などもいるため、はじめはきちんとそろうことがなかったが、主力になっている津田卓也、戸村由香、吉見絹は、はじめから熱い視線をおくっていた。いつもそうだけれど、稽古は準備運動、発声練習からはじまる。これは「月蝕歌劇団」の習慣らしい。この時は津田卓也の声に合わせて行う。こういったこともぼくにとってははじめてのことで、はじめとまどったがすぐに慣れた。

はじめの稽古でやったのは、プロローグの暗転の終ったつぎのシーンからだった。つまり高取の脚本ではここがいちばん先にできた。ということになる。

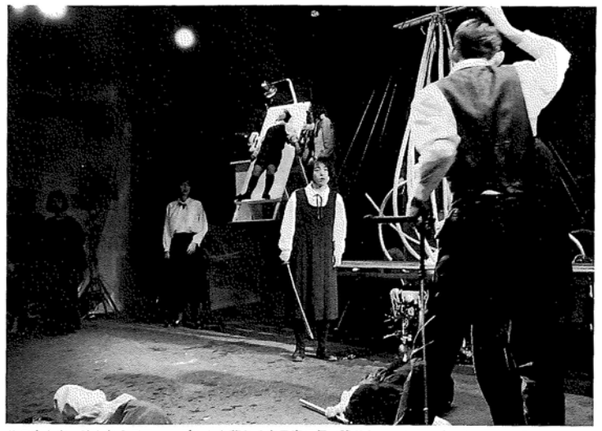
ツクツクボウシが鳴いて、純子と二葉の会話からはじまる。この段階ではまだ一人一人の役を誰れそれと決めず、かわりばんこにいろんな役を与えてセリフをおぼえさせた。

「若草物語―マックスウェルの悪魔」は、一九八六年の六月に「帝国人形病院」を上演した時から高取英があたためていた作品だという。美しい四人姉妹と、狂言的な教育者、シュレーバー博士とのからみが血塗られた幻想的な世界を描き出す。



四人姉妹の行手に立ちふさがる助手・外村（有村肯也）。令子は父の実験に狂気を感じとる。

教育実習生・永島（田中こずえ）も自由を求めて学校に反発。と、拷問に……セットもなかなかの迫力。



父の家を出、時を超えてファシズムふき荒れる女子高に舞い降りたジャンヌ・ダルク。戸村由香。

「月蝕歌劇団通信」なるものを見ると、この劇団に対するアンケートの結果が載っていて、「月蝕歌劇団」のイメージとして、〈少女　血〉、〈暗黒〉、〈昭和史〉、〈軍隊〉、〈不思議　光〉、〈幻想　寺山修司　戸村由香〉、〈月夜　高取英〉などとなっている。このあたり、このアンケート結果は高取英の演劇をよく表現しているとおもう。

それでぼくとしても、ここは高取英の持っている彼の世界を、より鮮烈におもいっきり舞台に表現できたらいいなあとおもった。

シュレーバー博士、これは津田卓也しかいないだろうとはじめから考えていた。彼の陰影のある表情と、体形をうまく扱いたいとおもった。四姉妹の中でもっとも動きを必要とし、セリフも多い令子は、このところ「月蝕歌劇団」の顔にもなっている戸村由香が決った。この役者はいろんな役ができることと、はじめ見えないところにいて、それが少しずつ見えてきて、やがて見る人をぐんぐんと引きずり込んでいくといった魅力を持っている。

途中からゲスト出演の田中こずえが参加し、稽古は盛り上っていった。田中こずえは「月蝕歌劇団」にはあまりいない長身で、明治学院大の教育実習生永島の役にぴったりだった。笑った顔は手塚治虫さんの描く少女のようだ。

「リボンの騎士」でもやらせたい顔をしている。とにかく彼女ははじめからとてもよく劇団員になじんで稽古をしてくれた。

舞台美術としては、右手上にハンス・ベルメールの関節人形ふうのオブジェをつるし、火花を出して回転するタイム・マシーン（これはなかなかよくできた）、それにこの劇にとってもっとも大切な役をする調教具と、ものものしい設備で舞台はいっぱいになった。おそらく今までの「月蝕歌劇団」の公演で、いちばん大がかりな舞台装置だったろう。

音楽はおなじみの、J・A・シーザー氏だ。プロローグの暗転前に、仙女たちの灯りを持って歌い踊るシーンは、これからはじまる闇の世界を出したかった。「すずらん咲くのは何のため……」と歌うこの曲はすごくよかった。気持の中に残る曲だ。

仙女、子供貯金のおばさん、佐伯の別れた妻（大阪公演のみ）の吉見絹を、役どころとしてもうひとつ生かせなかったことは心苦しい。この役者はいいものを持っている。また、今回は外村役を与えた有村肯也が成功した。この公演を見た友人たちからも、有村肯也の評判を耳にしている。

いろんな事情があって、稽古日の全日程に顔を出せず高取英にだいぶ負担をかけた。機会が与えられるのなら、もう一度この芝居で、形を変えて演出してみたい。はじめてのことで、あれよあれよとおもううちに日がすぎてしまった。

一人一人名前を上げられないのが残念だが、役者たちはみんなとてもよくやってくれた。またいっしょになにかやってみたいものだ。

●公演予定
「原子心母シジフォス」
7月12日～18日　下北沢ザ・スズナリ

遊人ハウス

「母に捧げるバラード」
作・演出MASAYA

だれもがみんな
あなたになったつもりでいる
あなたにあまえ
たすけられたこともわすれて
てんやわんやがつづくなか
ははをはなれるひが
やってくるのだ

（出演）
戸野雅也
岩瀬秀一
覚前夏江
近江幸代
増谷洋子
堺屋光丸
神名良二
新井新二
○
西沢　勉
○
家入賢二
（しゅうくりー夢）
他

前売り￥1200
当　日￥1500

2/24（金）→27（月）

問い合せ
319-4352
遊人ハウス

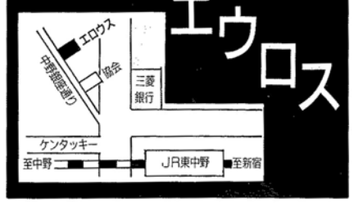
※７月公演7/19―23
12月公演12/13―17

（出演者も募集致します
資格20歳→50歳　男女）

あなたも大衆的演劇に
参加しませんか！

364-4092

ART GROUND エウロス



歌舞伎座百壱年

初春大歌舞伎

1月2日初日↓26日

◆昼の部（午前十一時開演）

一、歌舞伎十八番の内 毛抜 一幕 歌右衛門
二、ぢいさんばあさん 森鷗外原作 宇野信夫作・演出 二幕三場 高根宏浩美術 相馬清恒照明 梅幸 羽左衛門
新版歌祭文 芝翫 扇雀
三、野崎村 一幕 福助
四、乗合船恵方萬歳 常磐津連中 門之助 左團次 藤十郎 段四郎 歌六 幸四郎 團十郎 吉右衛門 東蔵 松江 秀太郎 我當 宗十郎 猿之助 雀右衛門 延若 仁左衛門

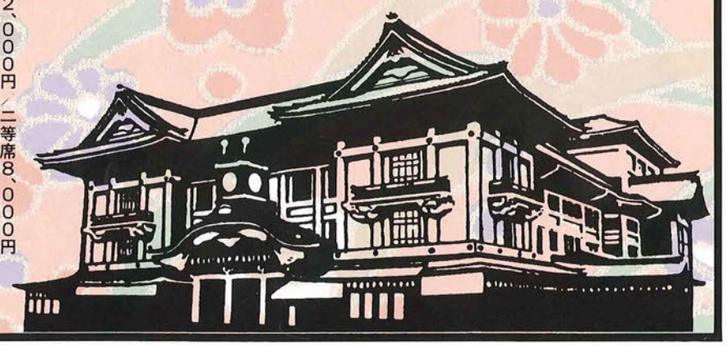
大入叶

◆夜の部（午後四時半開演）

一、恋女房染分手綱 一幕 重の井子別れ 秀山十種の内 松浦の太鼓 二幕
二、廓三番叟 長唄囃子連中 藤間勘十郎振付 高根宏浩美術
三、連獅子 長唄囃子連中 藤間勘斎振付 河竹黙阿弥作

●御観劇料
一等席12、000円／二等席8、000円
三階Ⓐ席4、000円／三階Ⓑ席2、000円
（一階桟敷席）14、000円
（二階桟敷席）12、000円

好評前売中！
電話予約センター☎03(545)1151



歌舞伎座
地下鉄「東銀座」駅下車／☎03(541)3131(代)

パルテノン多摩小劇場フェスティバル'89

七不思議

SEVEN DRAMATIC COMPANIES

若手七劇団が織りなす、劇的な夢七夜、七不思議。

出演劇団▶劇団しゅうくりー夢(11日)▶劇団一跡二跳(13日)▶劇団ONLYクライマックス(15日)
▶月蝕歌劇団(19日)▶THE・ガジラ(21日)▶劇団21世紀FOX(23日)▶新宿梁山泊(25日)

'89年2月11日[土]—25日[土]

パルテノン多摩・小ホール
京王線・小田急線/多摩センター駅前

開演 7:00PM(19日(日)・25日(土)は2:00PM)
料金 前売1,500円・当日1,800円

電話予約お問合せ先 パルテノン多摩予約センター☎0423-76-8181(代)/チケットパルテノン(パルテノン多摩2F)/チケットぴあ☎03-237-9999
チケットセゾン☎03-5990-9999

制作協力/(有)演劇ぶっく社・奥さまもしもし新聞

主催/財団法人多摩市文化振興財団 〒206 多摩市落合2-35 ☎0423-75-1414

理創ぶっく No.17
発行＝前溪創ぶっく社　〒164東京都中野区中野5-67-6-406 TEL03-228-2545 FAX03-388-1494　編集・発行人＝坂口真人　1989年1月6日発行　定価600円 〒250円

三井農林株式会社

暮らしがもっとおいしくなる
NITTOH

コットンに着がえました。

ペーパーからニューコットンフィルターへ。

①ピュアな香りと味を引きだす「ニューコットンフィルター」を採用。ナチュラルな綿素材だから、ペーパーフィルター特有の紙臭がありません。②贅沢な2.5g入りのティーバッグ。これまでより茶葉を25%(当社比)も増量。深いコクと上品な香りが素早くたのしめます。③厳選されたエステート(茶園)から、新鮮な茶葉を直輸入。④鮮度を保つ適量サイズの1箱10バッグ。本格的でフレッシュな紙茶をいつでもたのしめます。

日東紅茶 エステートシリーズ。ダージリン、インディア、セイロン。

紅茶の国から
日東紅茶

新発売 ESTATE

雑誌 02064-2　隔月刊(次号3月6日発行)　Printed in Japan